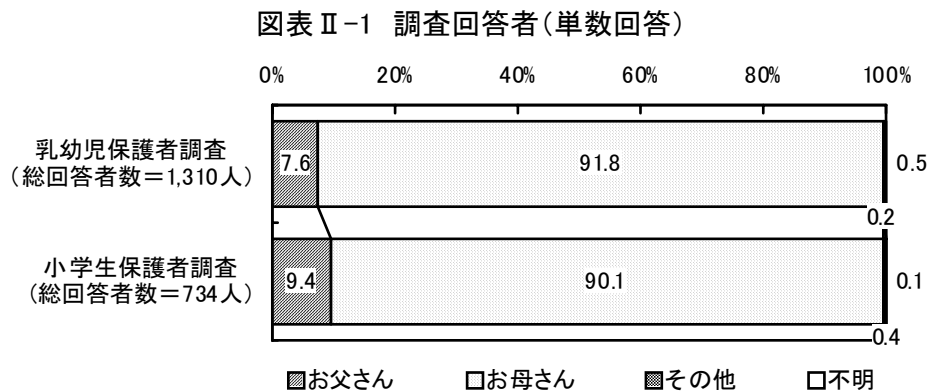


11. 調査結果報告①・②
—乳幼児及び小学生保護者調査—

1. 基本属性

(1) 調査回答者(乳幼児・小学生:問1)

この調査に回答いただく方は、あて名のお子さんからみて、どなたですか。(1つに○)



[乳幼児保護者調査]

0歳～6歳の就学前の子どもを持つ保護者を対象とする「乳幼児保護者調査」の回答者は、「お母さん」が91.8%を占め、「お父さん」は7.6%となっている。

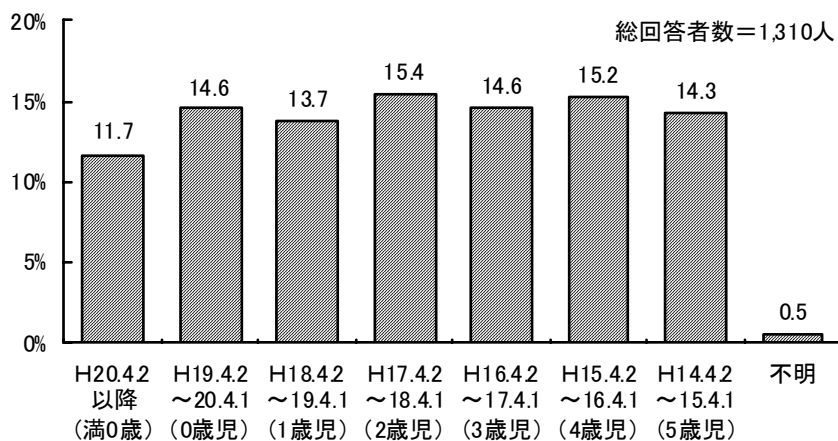
[小学生保護者調査]

小学校1年生～6年生の子どもを持つ保護者を対象とする「小学生保護者調査」の回答者は、乳幼児保護者調査の回答者と同様に、「お母さん」が約9割を占める。「お父さん」は9.4%であった。

(2)子どもの年齢(乳幼児:問2)

あて名のお子さんの生年月日は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

図表Ⅱ-2 子どもの誕生日(単数回答)



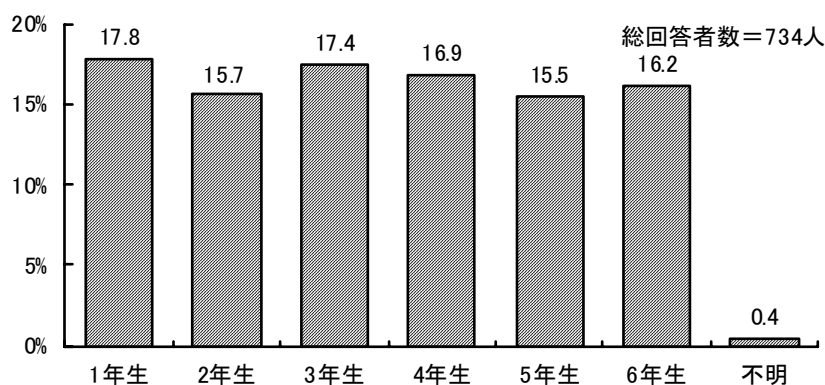
[乳幼児保護者調査]

乳幼児保護者調査回答者の子どもの誕生日から平成20年4月1日年齢をみると、満0歳から5歳児まで各1割台となっている。

(3)子どもの学年(小学生:問2)

あて名のお子さんは、現在何年生ですか。(1つに○)

図表Ⅱ-3 子どもの学年(単数回答)



[小学生保護者調査]

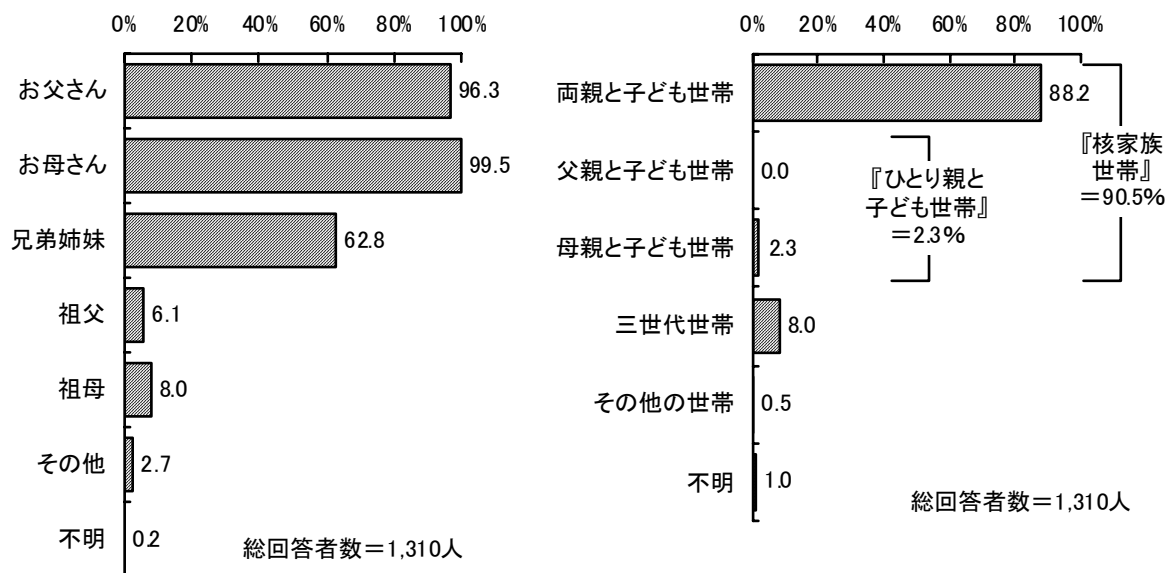
小学生保護者調査回答者の子どもの学年は、「1年生」から「6年生」まで各1割台となっている。

2. 家族の状況

(1) 家族形態(乳幼児・小学生:問4)

あて名のお子さんといっしょに暮らしているご家族は、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

図表Ⅱ-4 同居者(複数回答)・家族形態(単数回答)

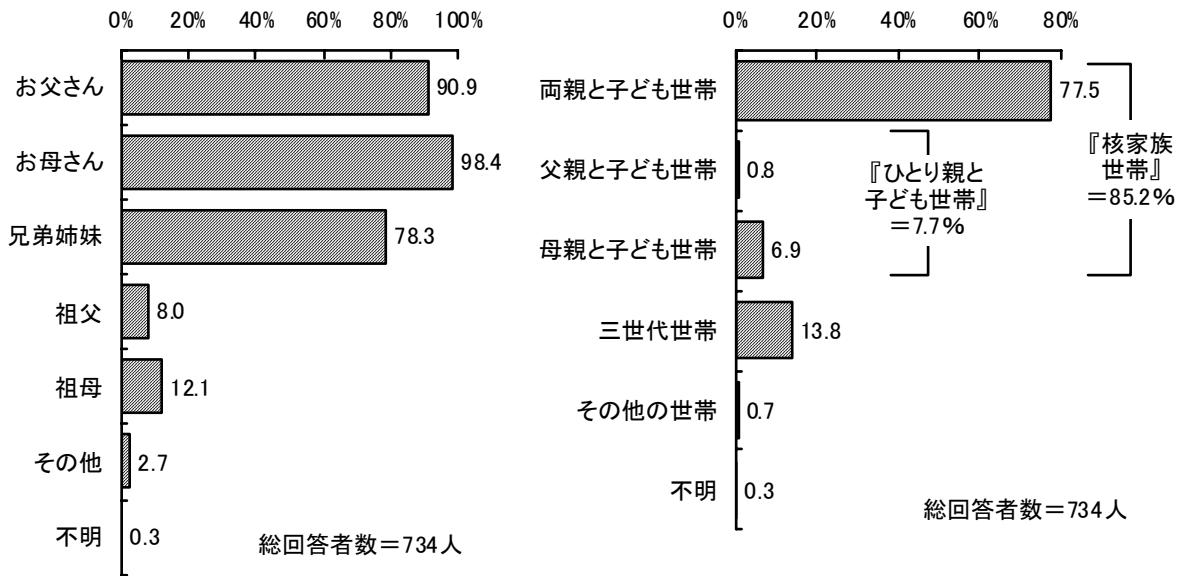


[乳幼児保護者調査]

乳幼児保護者調査回答者の子どもからみた同居者は、「お母さん」は 99.5%、「お父さん」は 96.3%であり、このほか「兄弟姉妹」62.8%、「祖母」8.0%、「祖父」6.1%などとなっている。

家族形態は、88.2%が「両親と子ども世帯」である。『ひとり親と子ども世帯』である「母親と子ども世帯」は 2.3%であり、これに「両親と子ども世帯」を合わせた『核家族世帯』が全体の約 9 割を占める。「三世代世帯」は 8.0%であった。

図表Ⅱ-5 同居者(複数回答)・家族形態(単数回答)



[小学生保護者調査]

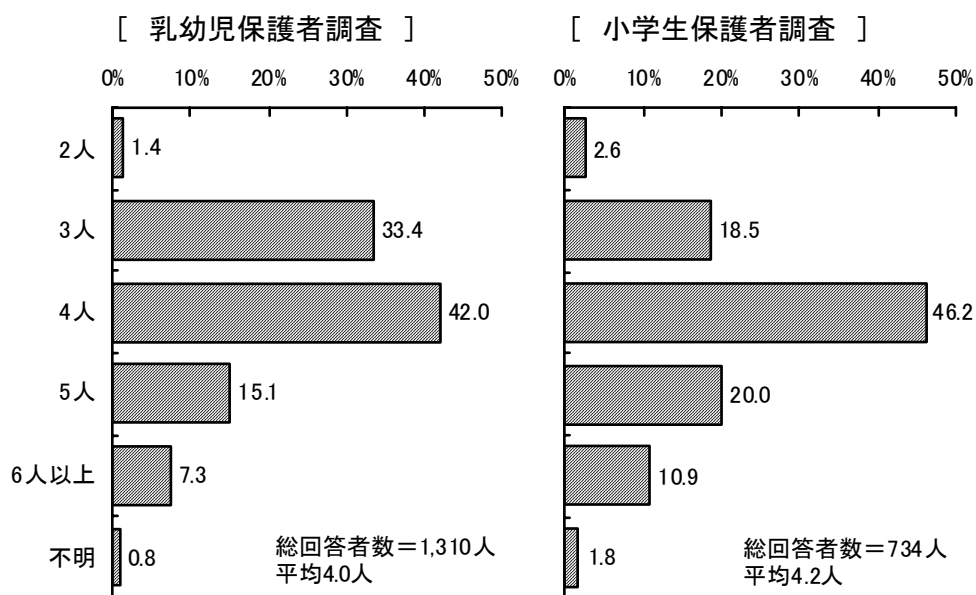
小学生保護者調査回答者の子どもからみた同居者は、「お母さん」98.4%、「お父さん」90.9%と、乳幼児保護者調査結果に比べて父母が同居している割合は少なくなるが、「兄弟姉妹」「祖母」「祖父」の割合は、いずれも乳幼児保護者調査の結果を上回っている。

家族形態は、「両親と子ども世帯」が77.5%、「父親と子ども世帯」0.8%、「母親と子ども世帯」6.9%を合わせた『ひとり親と子ども世帯』が7.7%であり、『核家族世帯』は85.2%となっている。「三世代世帯」は13.8%であり、乳幼児保護者調査結果に比べると、「両親と子ども世帯」の割合が低く、『ひとり親と子ども世帯』と「三世代世帯」の割合が高くなっている。

(2) 家族数(乳幼児・小学生:問5)

あて名のお子さんといっしょに暮らしているご家族は、あて名のお子さんも含めて全員で何人ですか。(数字を記入)

図表Ⅱ-6 家族数(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

乳幼児保護者調査回答者の家族数は、「4人」42.0%がもっとも高く、次いで「3人」33.4%、「5人」15.1%の順であり、平均家族数は4.0人となっている。

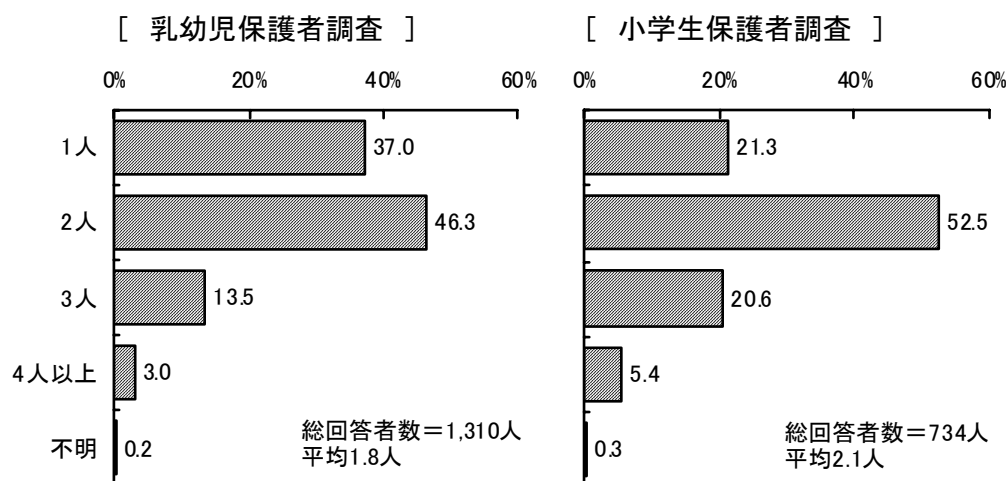
[小学生保護者調査]

小学生保護者調査回答者の家族数は、「4人」46.2%に次いで、「5人」20.0%の割合が高く、平均家族数は4.2人と、乳幼児保護者調査結果に比べて0.2人多くなっている。

(3)子どもの人数と末子の年齢(乳幼児・小学生:問3)

あて名のお子さんを含め、おさんは全部で何人いらっしゃいますか。(数字を記入)
2人以上の場合は、末子の年齢(平成20年4月1日現在の年齢)も記入してください。

図表Ⅱ-7 子どもの人数(単数回答)



図表Ⅱ-8 子どもが2人以上の場合の末子の平均年齢

	総回答者数	末子の平均年齢
乳幼児保護者調査	823人	2.0歳
小学生保護者調査	576人	6.5歳

[乳幼児保護者調査]

乳幼児保護者調査回答者の子どもの人数は、「2人」が46.3%と半数近くを占め、次いで「1人」37.0%と、これらを合わせた『1~2人』である割合が83.3%を占める。平均子ども数は1.8人であり、子どもが2人以上いる場合の末子の年齢は平均2.0歳となっている。

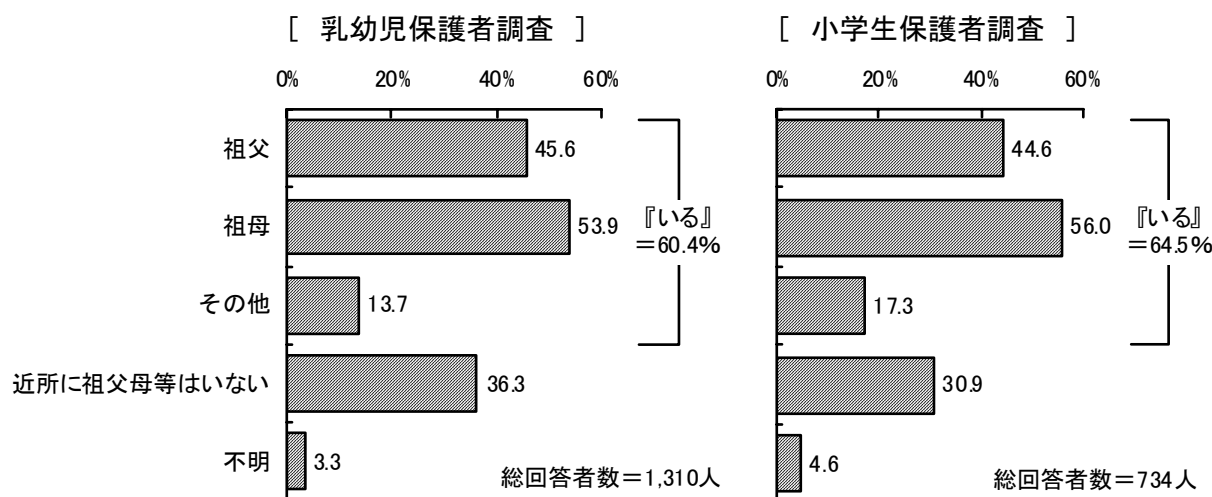
[小学生保護者調査]

小学生保護者調査回答者の子どもの人数は、「2人」が52.5%と半数強を占め、次いで「1人」が21.3%となっている。『1~2人』は73.8%と、乳幼児保護者調査結果に比べて3人以上いる割合が高い。平均子ども数は2.1人であり、子どもが2人以上いる場合の末子の年齢は平均6.5歳となっている。

(4) 祖父母等の親族との近居の状況(乳幼児・小学生:問6)

おおむね 30 分以内程度に行き来できる範囲(近所)に、祖父母等の親族の方はいらっしゃいますか。あて名のお子さんからみた続柄でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図表Ⅱ-9 祖父母等の親族との近居の状況(複数回答)



[乳幼児保護者調査]

乳幼児保護者調査回答者の祖父母等の親族との近居の状況は、「近所に祖父母等はいない」は36.3%であり、60.4%が近所に祖父母等が『いる』(100%から「近所に祖父母等はいない」と「不明」を除いた割合)と回答している。近所に住んでいる親族は、「祖母」53.9%、「祖父」45.6%、「その他」13.7%となっている。「その他」は、「おじ・おば」などとなっている。

[小学生保護者調査]

小学生保護者調査回答者の祖父母等との近居の状況は、「近所に祖父母等はいない」は30.9%であり、近所に祖父母等が『いる』は64.5%と、乳幼児保護者調査に比べて4.1ポイント高くなっている。

図表Ⅱ-10 祖父母等の親族との近居の状況

		総回答者数(人)	祖父	祖母	その他	近所に祖父母等はいない	不明	『いる』	
乳幼児保護者調査	全体	1,310	45.6	53.9	13.7	36.3	3.3	60.4	
	居住地域別	Aブロック	143	49.7	62.2	13.3	30.1	2.8	67.1
		Bブロック	155	52.9	60.6	14.2	29.0	3.9	67.1
		Cブロック	119	49.6	63.0	22.7	23.5	3.4	73.1
		Dブロック	164	39.6	48.2	11.0	40.9	5.5	53.6
		Eブロック	172	50.6	58.1	12.8	30.2	3.5	66.3
		Fブロック	178	44.9	51.1	13.5	43.3	1.1	55.6
		Gブロック	168	45.8	51.8	13.1	41.7	0.0	58.3
		Hブロック	202	37.6	44.6	12.9	46.0	2.5	51.5

※:『いる』=100%-「近所に祖父母等はいない」-「不明」

[乳幼児保護者調査]

居住地域別にみると、近所に祖父母等の親族が『いる』割合は、Cブロック居住者の7割台、A・B・Eブロック居住者では7割弱を占める。一方で、Dブロック及び南部のF・G・Hブロック居住者においては5割台となっている。

図表Ⅱ-11 祖父母等の親族との近居の状況

		総回答者数(人)	祖父	祖母	その他	近所に祖父母等はいない	不明	『いる』	
小学生保護者調査	全体	734	44.6	56.0	17.3	30.9	4.6	64.5	
	居住地域別	Aブロック	92	42.4	60.9	19.6	26.1	2.2	71.7
		Bブロック	86	44.2	53.5	18.6	26.7	5.8	67.5
		Cブロック	67	52.2	65.7	17.9	23.9	7.5	68.6
		Dブロック	80	43.8	55.0	13.8	32.5	8.8	58.7
		Eブロック	103	53.4	65.0	20.4	22.3	2.9	74.8
		Fブロック	111	43.2	57.7	23.4	28.8	2.7	68.5
		Gブロック	92	34.8	48.9	16.3	43.5	3.3	53.2
		Hブロック	99	45.5	45.5	8.1	43.4	2.0	54.6

※:『いる』=100%-「近所に祖父母等はいない」-「不明」

[小学生保護者調査]

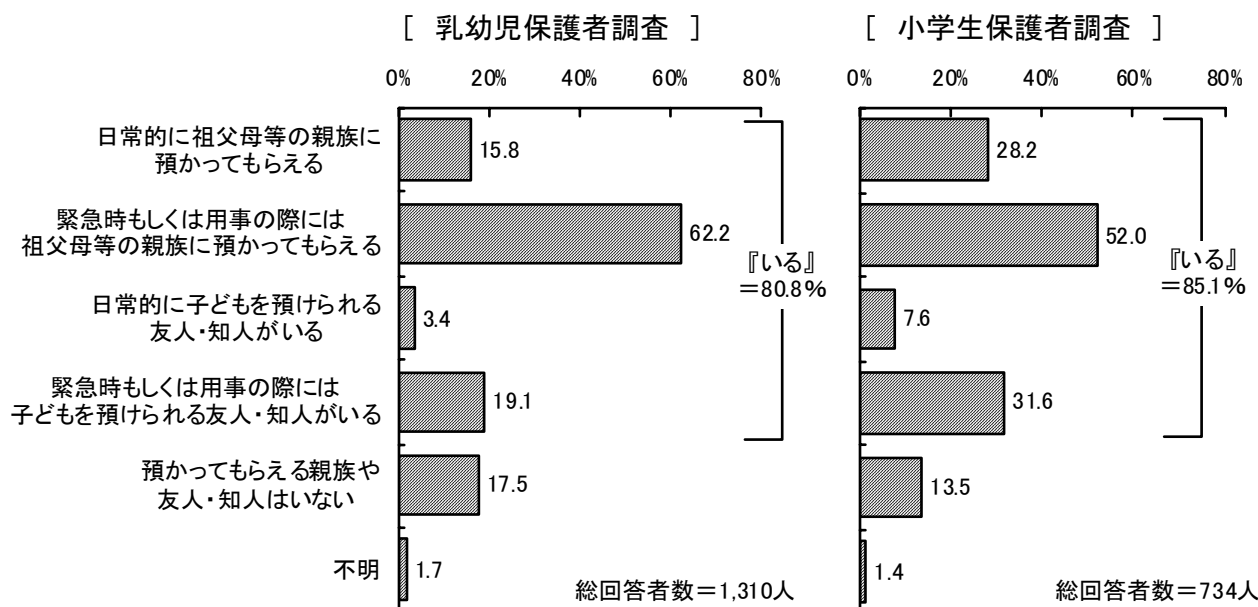
居住地域別の近所に祖父母等の親族が『いる』割合は、A・Eブロック居住者において7割を超え、他の地域居住者に比べて高い割合となっている。反対に、D・G・Hブロック居住者においては5割台と、他に比べて低い割合である。

(5)子どもの預け先の状況(乳幼児・小学生:問7～問7-2)

①子どもを預かってもらえる人の有無

日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

図表Ⅱ-12 子どもを預かってもらえる人の有無(複数回答)



[乳幼児保護者調査]

乳幼児保護者調査回答者における子どもを預かってもらえる親族や友人の有無をみると、「預かってもらえる親族や友人・知人はいない」は17.5%であり、預かってもらえる親族や友人・知人が『いる』(100%から「預かってもらえる親族や友人・知人はいない」と「不明」を除いた割合)が約8割を占める。

祖父母等の親族に関しては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が62.2%であり、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」は15.8%となっている。友人・知人に関しては、「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」が19.1%であり、「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」は3.4%であった。

[小学生保護者調査]

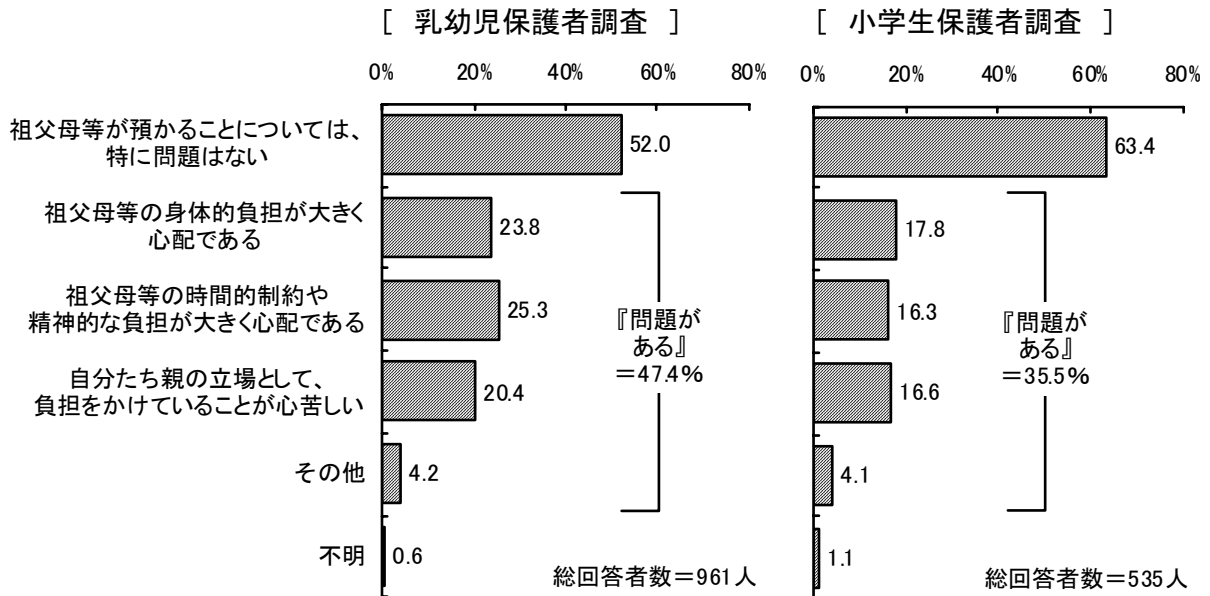
小学生保護者調査回答者における子どもを預かってもらえる親族や友人の有無をみると、「預かってもらえる親族や友人・知人はいない」は13.5%であり、預かってもらえる親族や友人・知人が『いる』が85.1%と、乳幼児保護者調査の結果に比べて高い割合となっている。

祖父母等の親族に関しては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」52.0%、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」28.2%となっている。友人・知人に関しては、「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」31.6%、「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」7.6%となっている。

②祖父母等に預かってもらうことに対する意識

「1」または「2」に○をした方にうかがいます。
 祖父母等に預かってもらう状況について、あてはまるものすべてに○をしてください。

図表Ⅱ-13 祖父母等に預かってもらうことに対する意識(複数回答)



「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」と回答した人に、祖父母等の親族に預かってもらうことに対する意識をたずねた。

[乳幼児保護者調査]

乳幼児保護者調査回答者の意識をみると、「祖父母等が預かることについては、特に問題はない」が52.0%と半数強を占め、『問題がある』(100%から「祖父母等が預かることについては、特に問題はない」と「不明」を除いた割合)と回答した人の割合は47.4%となっている。

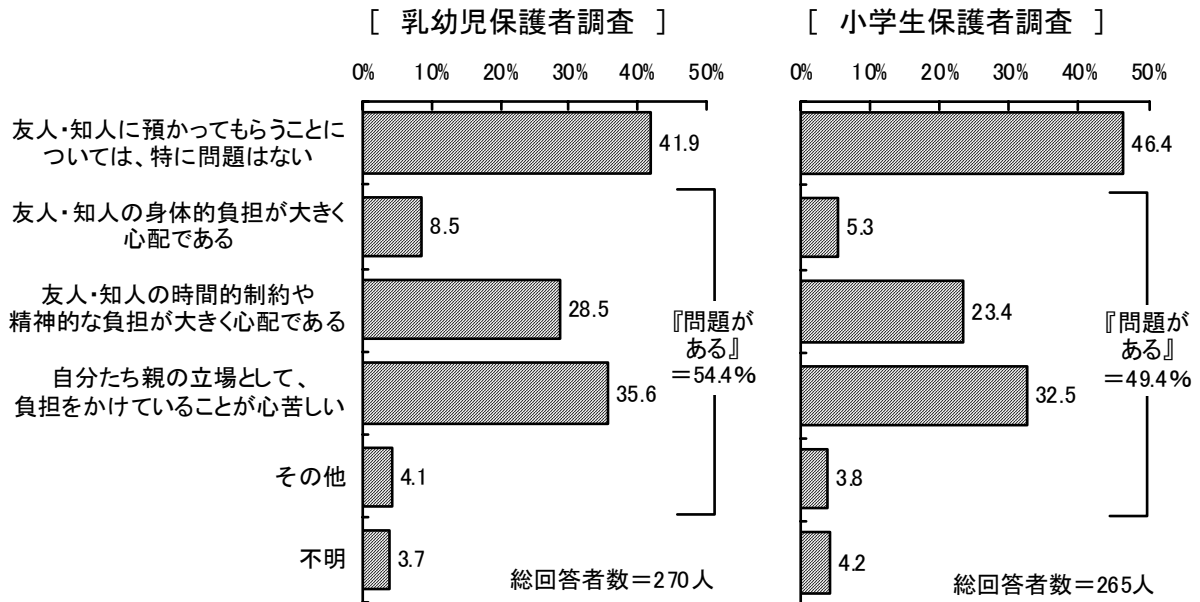
[小学生保護者調査]

小学生保護者調査回答者の意識をみると、「祖父母等が預かることについては、特に問題はない」が63.4%を占め、『問題がある』は35.5%となっている。

③友人等に預かってもらうことに対する意識

「3」または「4」に○をした方にうかがいます。
友人や知人に預かってもらう状況について、あてはまるものすべてに○をしてください。

図表Ⅱ-14 友人等に預かってもらうことに対する意識(複数回答)



「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」と回答した人に、友人・知人に預かってもらうことに対する意識をたずねた。

[乳幼児保護者調査]

乳幼児保護者調査回答者の意識をみると、「友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない」は41.9%であり、54.4%が『問題がある』(100%から「友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない」と「不明」を除いた割合)と回答している。

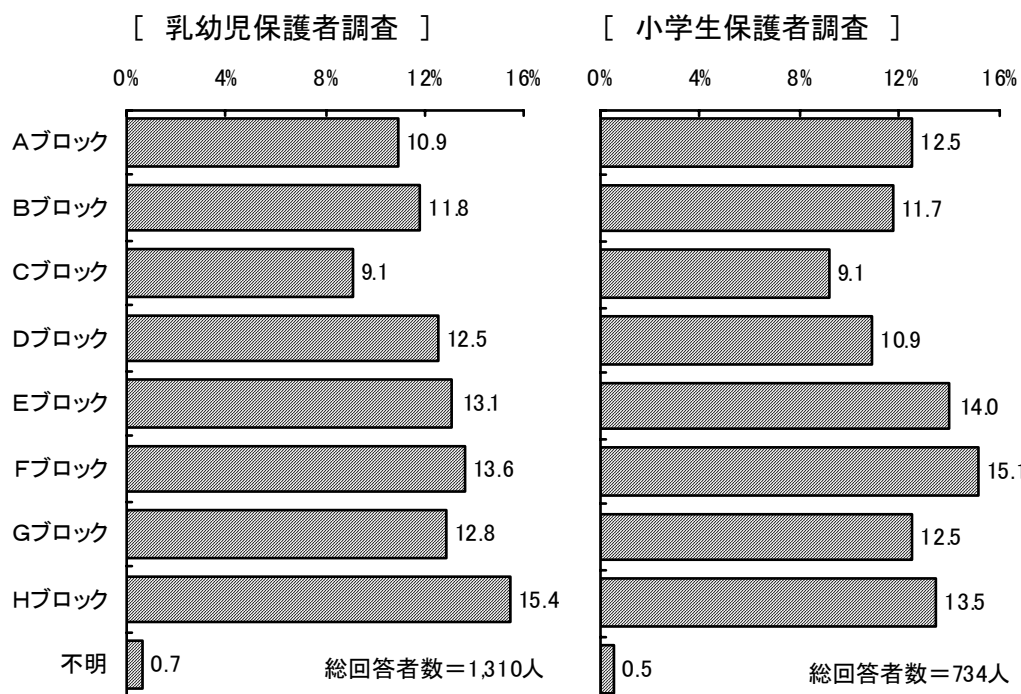
[小学生保護者調査]

小学生保護者調査回答者の意識をみると、「友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない」は46.4%であり、『問題がある』は49.4%、約半数となっている。

(6) 居住地域(乳幼児・小学生:問9)

あなたは、墨田区のどの地域に住んでいますか。(1つに○)

図表Ⅱ-15 居住地域(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

乳幼児保護者調査回答者の居住地域は、「Hブロック」15.4%がもっとも高く、「Fブロック」13.6%、「Gブロック」12.8%と、これらを合わせた南部地域居住者が41.8%を占める。

北部地域居住者では、「Eブロック」が13.1%、「Dブロック」12.5%、「Bブロック」11.8%、「Aブロック」10.9%、「Cブロック」9.1%となっている。

[小学生保護者調査]

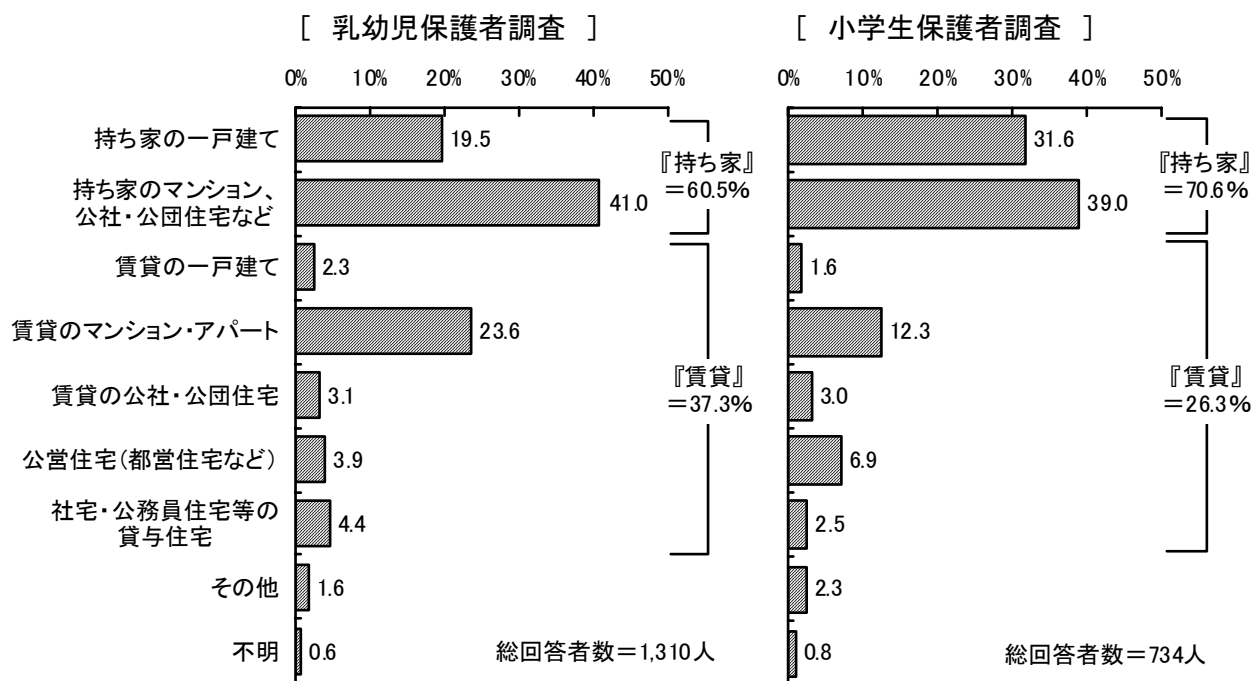
小学生保護者調査回答者の居住地域は、「Fブロック」がもっとも高い15.1%、次いで「Eブロック」14.0%、「Hブロック」13.5%、「Aブロック」「Gブロック」各12.5%の順となっている。

F～Hブロックの南部地域居住者の割合は41.1%、A～Eブロックの北部地域居住者の割合は58.2%となっている。

(7)住宅形態(乳幼児・小学生:問10)

現在のお住まいは、次のどれですか。(1つに○)

図表Ⅱ-16 住宅形態(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

乳幼児保護者調査回答者の住宅形態は、「持ち家のマンション、公社・公団住宅など」41.0%がもっとも高く、次いで「賃貸のマンション・アパート」23.6%、「持ち家の一戸建て」19.5%の順となっている。「持ち家のマンション、公社・公団住宅など」と「持ち家の一戸建て」を合わせた『持ち家』は60.5%を占め、『賃貸』37.3%を23.2ポイント上回っている。

[小学生保護者調査]

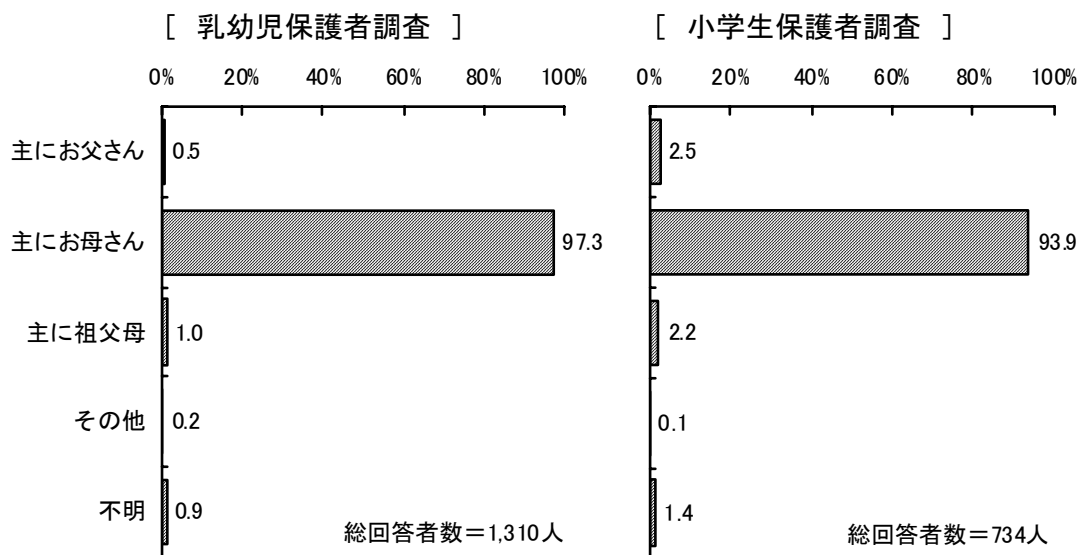
小学生保護者調査回答者の住宅形態は、「持ち家のマンション、公社・公団住宅など」39.0%がもっとも高く、次いで「持ち家の一戸建て」31.6%、「賃貸のマンション・アパート」12.3%となっている。『持ち家』は70.6%であり、乳幼児保護者調査結果に比べて10.1ポイント高い。

3. 父と母の状況

(1) 子どもの主たる養育者(乳幼児・小学生:問8)

あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしているのは、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。(1つに○)

図表Ⅱ-17 子どもの主たる養育者(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

乳幼児保護者調査回答者における子どもの主たる養育者は、「主にお母さん」が97.3%と圧倒的多数を占める。次いで、「主に祖父母」1.0%、「主にお父さん」0.5%となっている。

[小学生保護者調査]

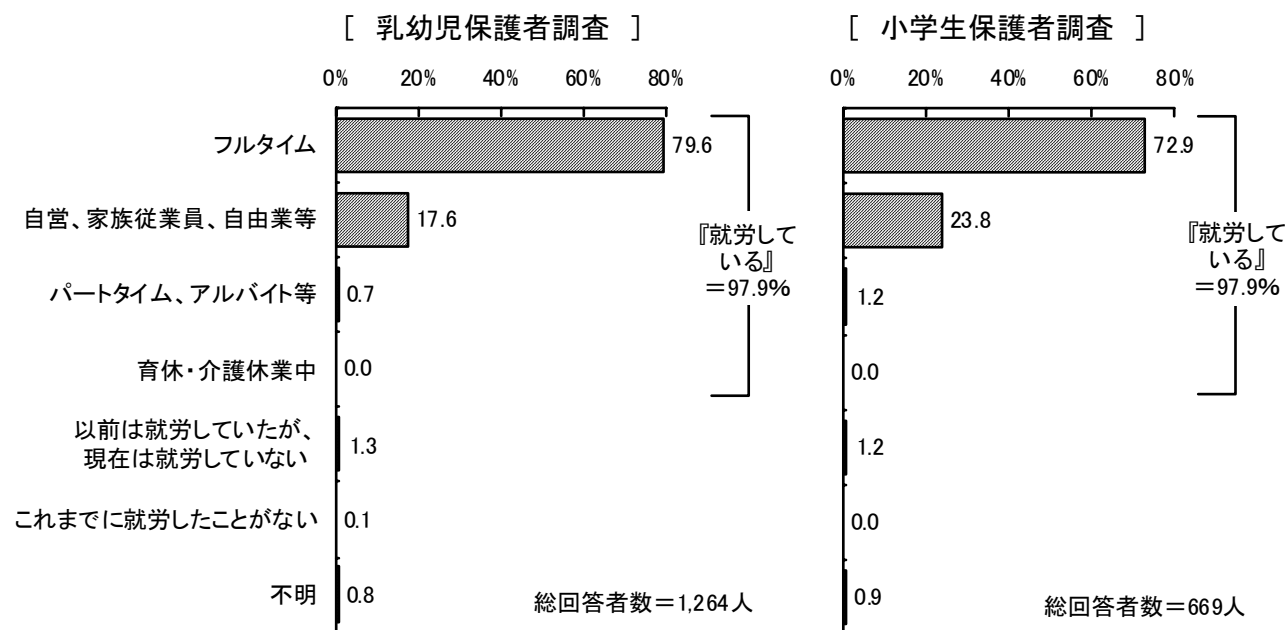
小学生保護者調査回答者における子どもの主たる養育者は、「主にお母さん」が93.9%を占め、次いで、「主にお父さん」2.5%、「主に祖父母」2.2%となっている。

(2) 父親の就労状況(乳幼児・小学生:問11～問11-2)

① 父親の就労形態

あて名のお子さんのお父さんについて、現在の就労状況をお答えください。(1つに○)

図表Ⅱ-18 父親の就労形態(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

乳幼児の父親の就労形態は、「フルタイム」79.6%に次いで、「自営、家族従業員、自由業等」17.6%となっている。「パートタイム、アルバイト等」は0.7%、「育休・介護休業中」0.0%であり、これらを合わせた『就労している』割合は97.9%となっている。

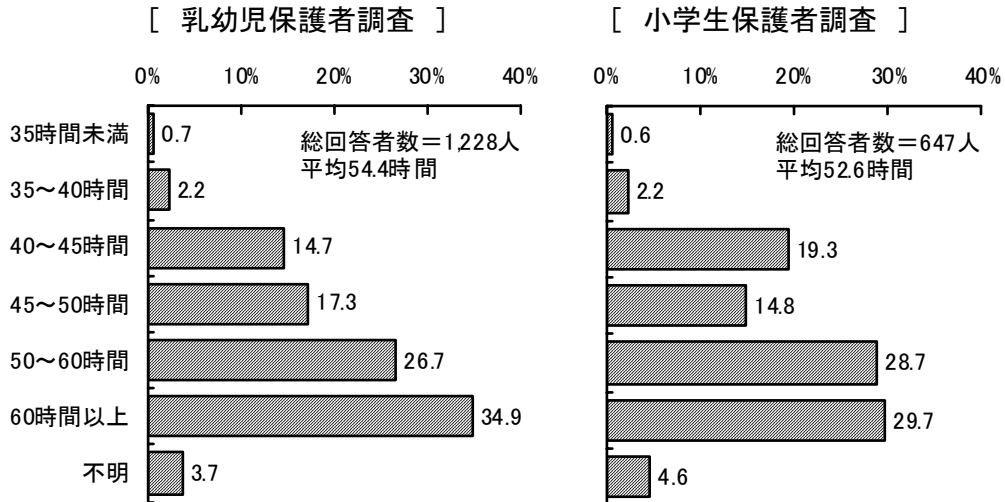
[小学生保護者調査]

小学生の父親の就労形態は、「フルタイム」72.9%、「自営、家族従業員、自由業等」23.8%となっている。これに、「パートタイム、アルバイト等」1.2%を加えた『就労している』は、乳幼児保護者調査と同様に97.9%となっている。

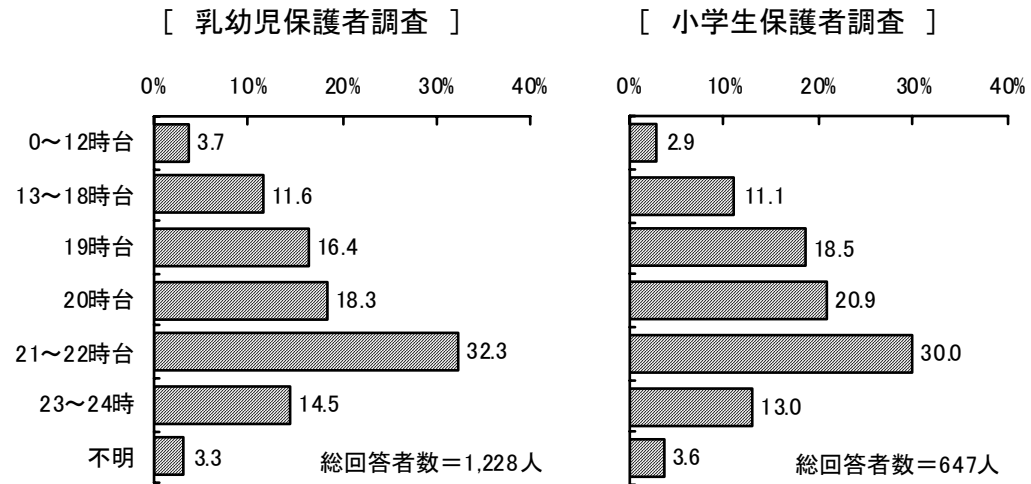
②フルタイム就労者の就労状況

「1」または「2」に○をした方にうかがいます。①1 週間あたりの平均就労時間、②働いている日の平均的な帰宅時間をご記入ください。(数字を記入)

図表Ⅱ-19 フルタイム就労者の平均就労時間(単数回答)



図表Ⅱ-20 フルタイム就労者の平均帰宅時間(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

「フルタイム」「自営、家族従業員、自由業等」と回答した乳幼児の父親の週の就労時間は、約6割が『50時間以上』であり、平均54.4時間となっている。

帰宅時間は、「21~22時台」32.3%がもっとも高い割合を占める。

[小学生保護者調査]

「フルタイム」「自営、家族従業員、自由業等」と回答した小学生の父親の週の就労時間は、58.4%が『50時間以上』であり、平均52.6時間となっている。

帰宅時間は、「21~22時台」30.0%に次いで、「20時台」が20.9%が続いている。

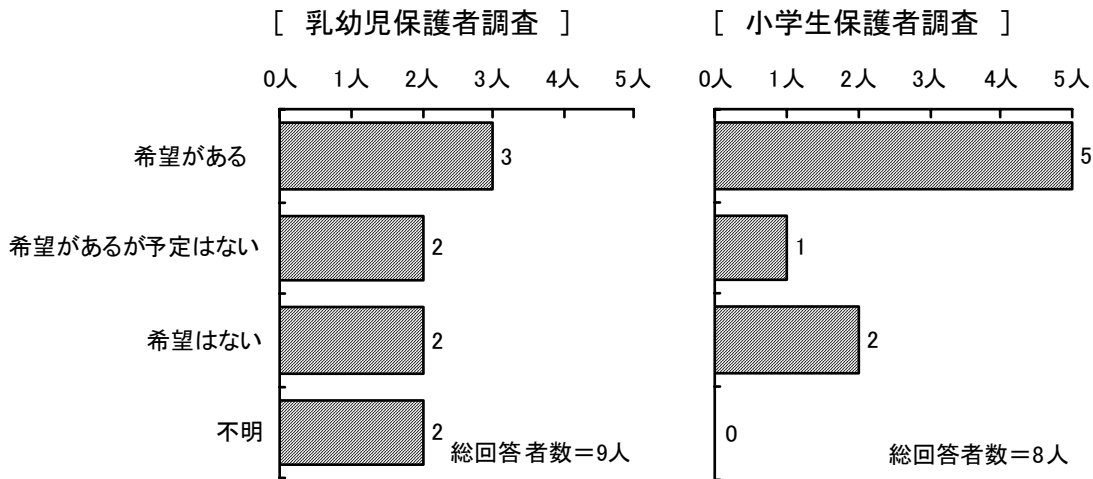
③パートタイム就労者の就労状況およびフルタイムへの転換意向

「3」に○をした方にうかがいます。
 1週間あたり就労日数・1日あたり就労時間をご記入ください。(数字を記入)
 フルタイムへの転換希望がありますか。(1つに○)

図表Ⅱ-21 パートタイム就労者の就労状況

	総回答者数	1週間あたり 平均就労日数	1日あたり 平均就労時間
乳幼児保護者調査	9人	5.1日	9.3時間
小学生保護者調査	8人	4.9日	7.2時間

図表Ⅱ-22 パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

「パートタイム、アルバイト等」と回答した乳幼児の父親の週の就労日数は平均 5.1 日、1 日の就労時間は平均 9.3 時間となっている。

フルタイムへの転換希望については、「希望がある」が 3 人、「希望があるが予定はない」2 人、「希望はない」2 人となっている。

[小学生保護者調査]

「パートタイム、アルバイト等」と回答した小学生の父親の週の就労日数は平均 4.9 日、1 日の就労時間は平均 7.2 時間となっている。

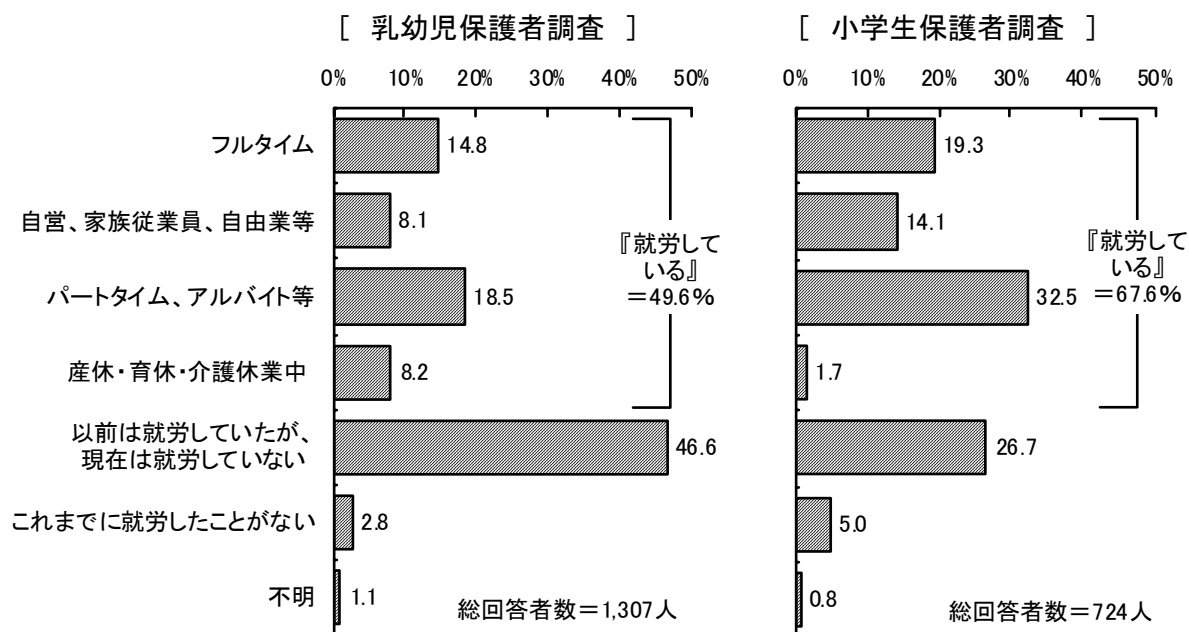
フルタイムへの転換希望については、「希望がある」が 5 人、「希望があるが予定はない」1 人、「希望はない」2 人となっている。

(3) 母親の就労状況(乳幼児・小学生:問12～問12-2)

① 母親の就労形態

あて名のお子さんのお母さんについて、現在の就労状況をお答えください。(1つに〇)

図表Ⅱ-23 母親の就労形態(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

乳幼児の母親の就労形態をみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が46.6%を占め、『就労している』は49.6%、約半数である。

就労形態としては、「パートタイム、アルバイト等」18.5%がもっとも高く、「フルタイム」14.8%、「産休・育休・介護休業中」8.2%、「自営、家族従業員、自由業等」8.1%となっている。

[小学生保護者調査]

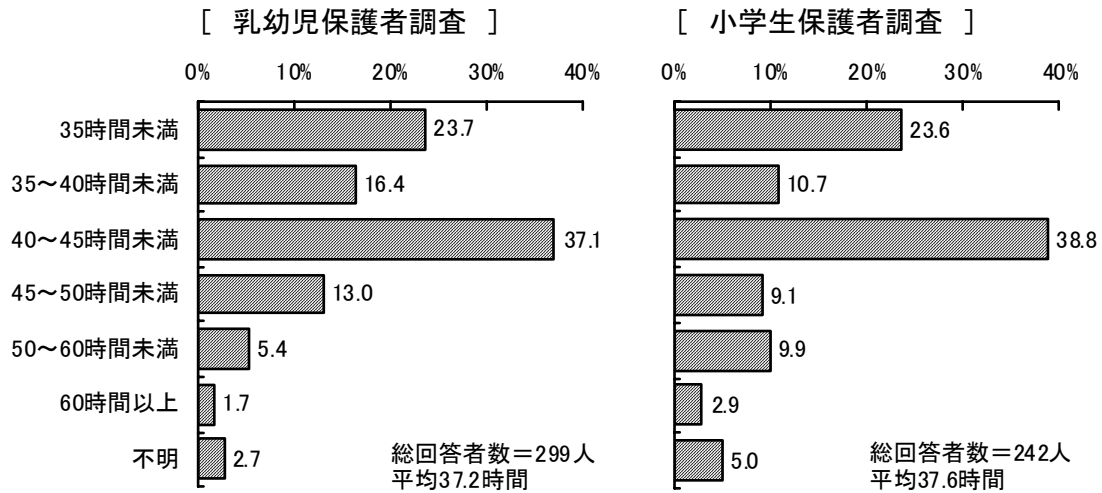
小学生の母親の就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」32.5%がもっとも高く、『就労している』は67.6%と、乳幼児保護者調査結果に比べて18.0ポイント高くなっている。

「フルタイム」の割合は19.3%、「自営、家族従業員、自由業等」は14.1%、「産休・育休・介護休業中」は1.7%であった。

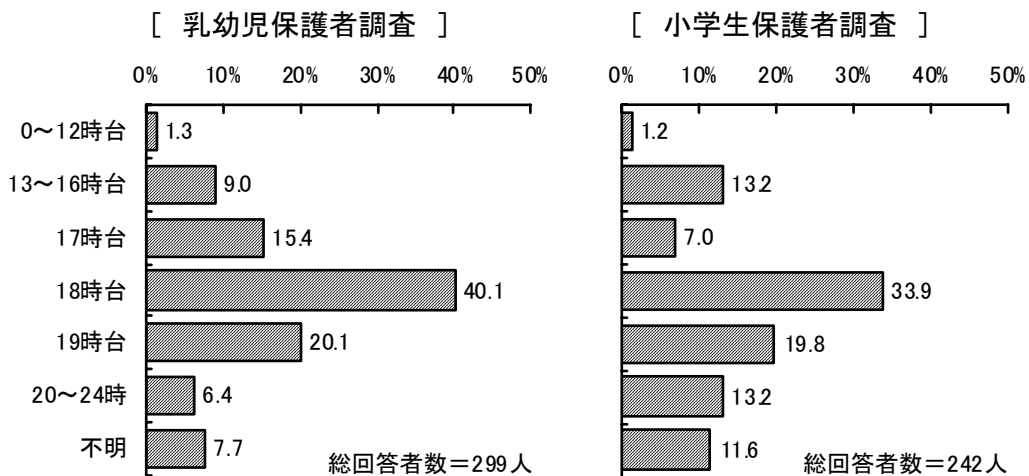
②フルタイム就労者の就労状況

「1」または「2」に○をした方にうかがいます。①1週間あたりの平均就労時間、②働いている日の平均的な帰宅時間をご記入ください。(数字を記入)

図表Ⅱ-24 フルタイム就労者の平均就労時間(単数回答)



図表Ⅱ-25 フルタイム就労者の平均帰宅時間(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

「フルタイム」「自営、家族従業員、自由業等」と回答した乳幼児の母親の週の就労時間は、「40～45時間未満」が37.1%を占め、平均37.2時間となっている。

帰宅時間は、「18時台」40.1%がもっとも高い割合を占める。

[小学生保護者調査]

「フルタイム」「自営、家族従業員、自由業等」と回答した小学生の母親の週の就労時間は、「40～45時間未満」が38.8%を占め、平均37.6時間となっている。

帰宅時間は、「18時台」33.9%、次いで「19時台」19.8%、「20～24時」13.2%となっている。

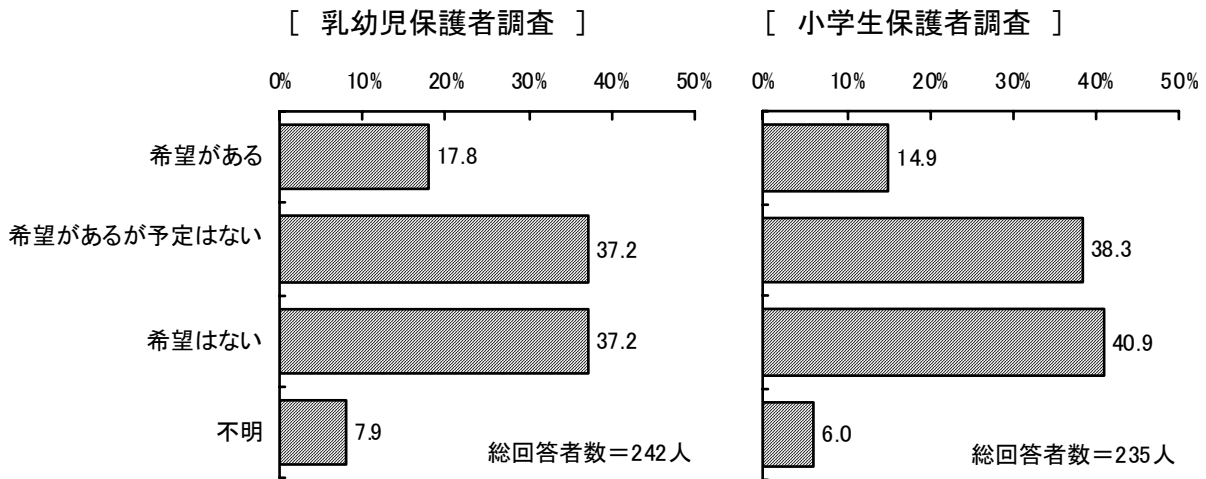
③パートタイム就労者の就労状況およびフルタイムへの転換意向

「3」に○をした方にうかがいます。
 1週間あたり就労日数・1日あたり就労時間をご記入ください。(数字を記入)
 フルタイムへの転換希望がありますか。(1つに○)

図表Ⅱ-26 パートタイム就労者の就労状況

	総回答者数	1週間あたり 平均就労日数	1日あたり 平均就労時間
乳幼児保護者調査	242人	4.2日	5.3時間
小学生保護者調査	235人	4.2日	5.2時間

図表Ⅱ-27 パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

「パートタイム、アルバイト等」と回答した乳幼児の母親の週の就労日数は平均4.2日、1日の就労時間は平均5.3時間となっている。

フルタイムへの転換希望については、「希望があるが予定はない」「希望はない」が各37.2%であり、「希望がある」は17.8%、2割弱となっている。

[小学生保護者調査]

「パートタイム、アルバイト等」と回答した小学生の母親の週の就労日数は平均4.2日、1日の就労時間は平均5.2時間と、乳幼児保護者調査とほぼ同様の結果となっている。

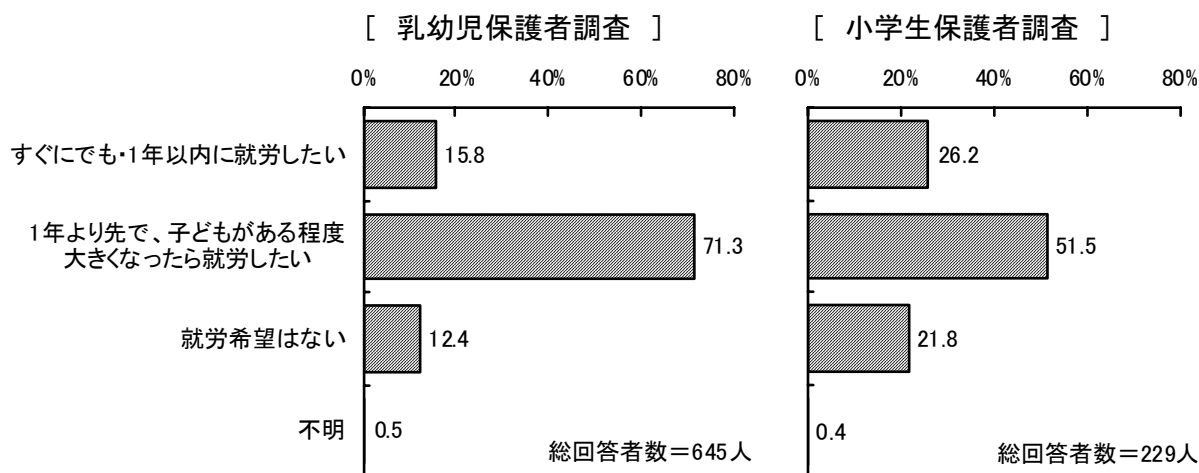
フルタイムへの転換希望については、「希望はない」が40.9%を占め、次いで「希望があるが予定はない」38.3%、「希望がある」14.9%となっている。

(4) 就労していない母親の就労意向(乳幼児・小学生:問13～問13-4)

① 就労していない母親の就労意向

現在就労していない方(問12で「5」または「6」に○)にうかがいます。
現在、就労したいという希望はありますか。(1つに○)

図表Ⅱ-28 就労していない母親の就労意向(単数回答)



「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまでに就労したことがない」と回答した母親に、就労希望をたずねた。

[乳幼児保護者調査]

乳幼児の母親の就労希望は、「1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい」が71.3%、「すぐにも・1年以内に就労したい」が15.8%と、これらを合わせた87.1%が就労希望を示す結果となった。

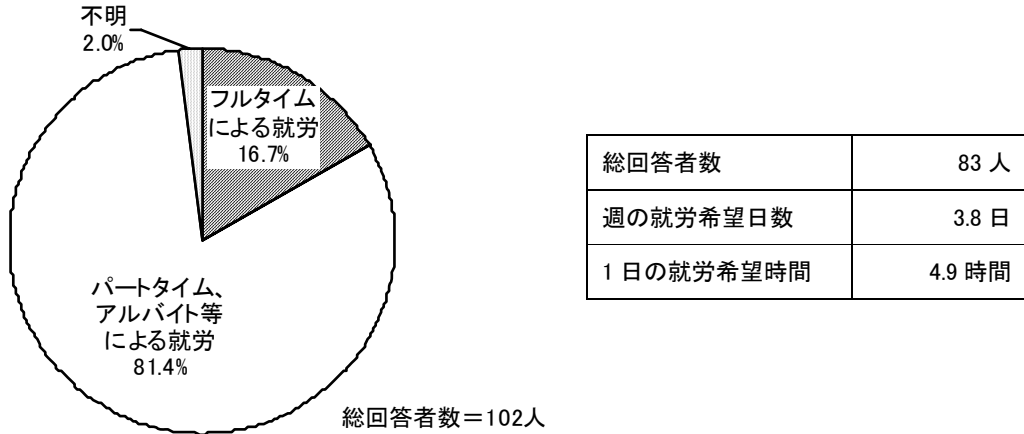
[小学生保護者調査]

小学生の母親の就労希望は、「1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい」51.5%、「すぐにも・1年以内に就労したい」が26.2%と、これらを合わせた77.7%が就労希望を示す結果となった。

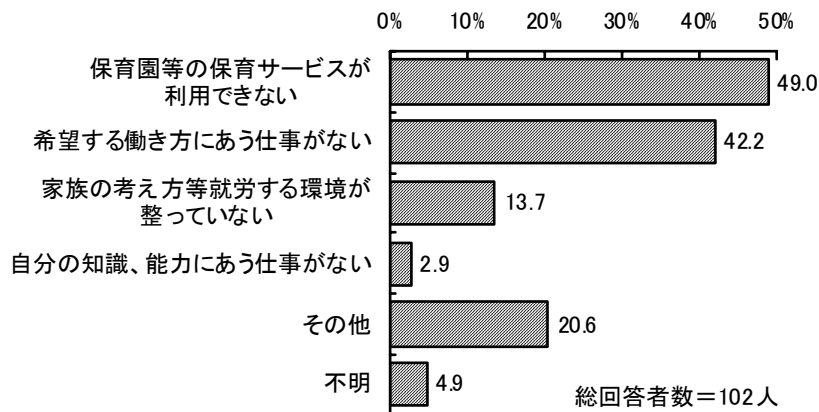
②すぐにでも就労したい場合の希望就労形態

どのような就労形態を希望しますか。(1つに○)
 パート、アルバイト等を希望の方は、就労希望日数・時間も記入してください。
 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表Ⅱ-29 希望就労形態(単数回答)・パート、アルバイト等希望者の就労希望日数・時間



図表Ⅱ-30 現在働いていない理由(複数回答)



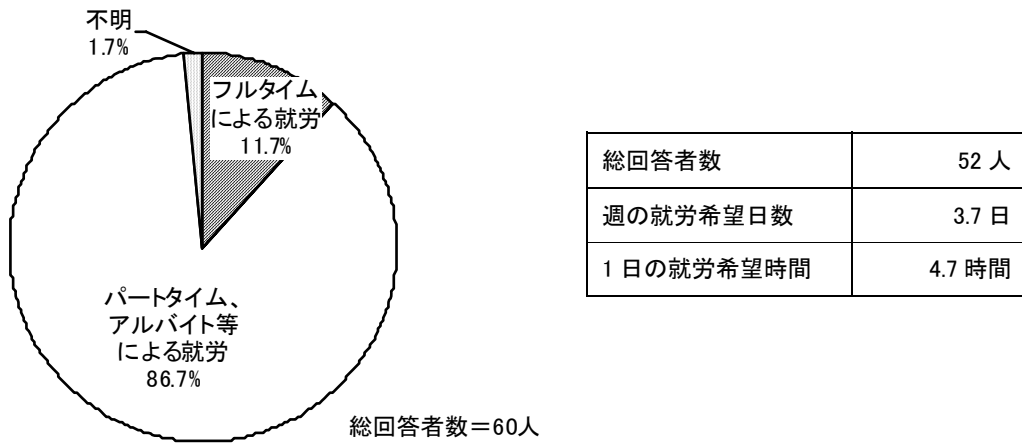
[乳幼児保護者調査]

「すぐにでも・1年以内に就労したい」と回答した乳幼児の母親の希望就労形態は、「パートタイム、アルバイト等による就労」が8割強を占め、「フルタイムによる就労」は16.7%となっている。

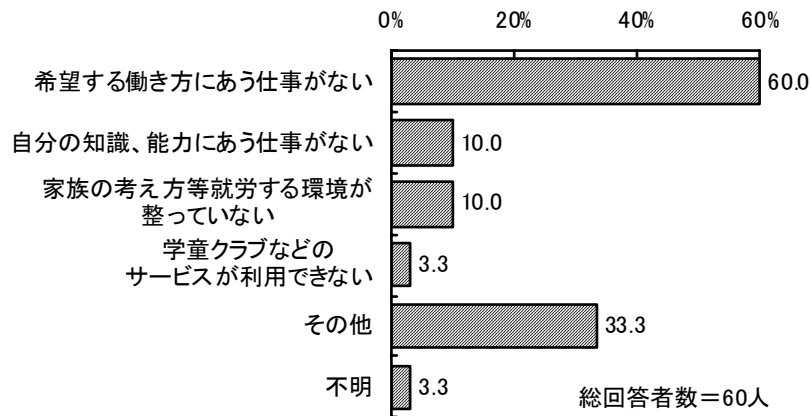
「パートタイム、アルバイト等による就労」を希望する人の、週の就労希望日数は平均3.8日、1日の就労希望時間は平均4.9時間となっている。

就労希望があるにも関わらず現在働いていない理由としては、「保育園等の保育サービスが利用できない」49.0%、「希望する働き方にあう仕事がない」42.2%と、保育サービスの問題、働き方の問題がともに4割台からあげられている。「その他」は、「子どもを預けるのに不安がある」「子どもが小さい」「不況で仕事がない」などとなっている。

図表Ⅱ-31 希望就労形態(単数回答)・パート、アルバイト等希望者の就労希望日数・時間



図表Ⅱ-32 現在働いていない理由(複数回答)



[小学生保護者調査]

「すぐにも・1年以内に就労したい」と回答した小学生の母親の希望就労形態は、「パートタイム、アルバイト等による就労」が86.7%を占め、「フルタイムによる就労」は11.7%となっている。

「パートタイム、アルバイト等による就労」を希望する人の、週の就労希望日数は平均3.7日、1日の就労希望時間は平均4.7時間となっている。

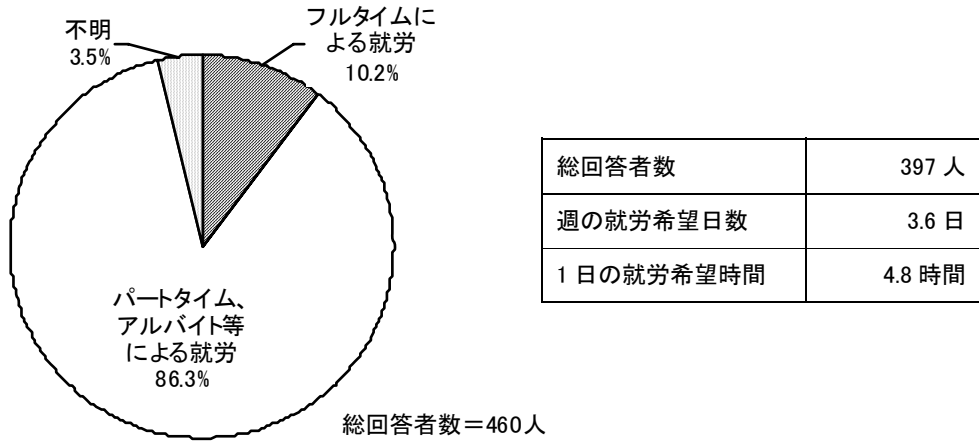
就労希望があるにも関わらず現在働いていない理由としては、「希望する働き方にあう仕事がない」60.0%、「その他」33.3%、「自分の知識、能力にあう仕事がない」「家族の考え方等就労する環境が整っていない」各10.0%の順であり、「学童クラブなどのサービスが利用できない」は3.3%であった。

「その他」は、「下の子が保育園に入れない」「病気のため」「ブランクがあり働く自信がない」などとなっている。

③1年より先に就労したい場合の希望就労形態

どのような就労形態を希望しますか。(1つに○)
 パート、アルバイト等を希望の方は、就労希望日数・時間も記入してください。
 あて名のお子さんも含めて、一番小さい子が何歳になったときに就労したいですか。

図表Ⅱ-33 希望就労形態(単数回答)・パート、アルバイト等希望者の就労希望日数・時間



図表Ⅱ-34 就労希望時期の末子の平均年齢

総回答者数	460人
末子の平均年齢	6.1歳

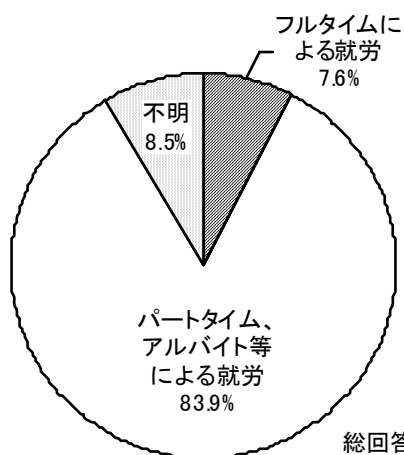
[乳幼児保護者調査]

「1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい」と回答した乳幼児の母親の希望就労形態は、「パートタイム、アルバイト等による就労」が86.3%を占め、「フルタイムによる就労」は約1割であった。

「パートタイム、アルバイト等による就労」を希望する人の、週の就労希望日数は平均3.6日、1日の就労希望時間は平均4.8時間となっている。

就労を希望する時期の末子の年齢は、平均6.1歳となっている。

図表Ⅱ-35 希望就労形態(単数回答)・パート、アルバイト等希望者の就労希望日数・時間



総回答者数	99人
週の就労希望日数	3.6日
1日の就労希望時間	4.9時間

図表Ⅱ-36 就労希望時期の末子の平均年齢

総回答者数	118人
末子の平均年齢	9.3歳

[小学生保護者調査]

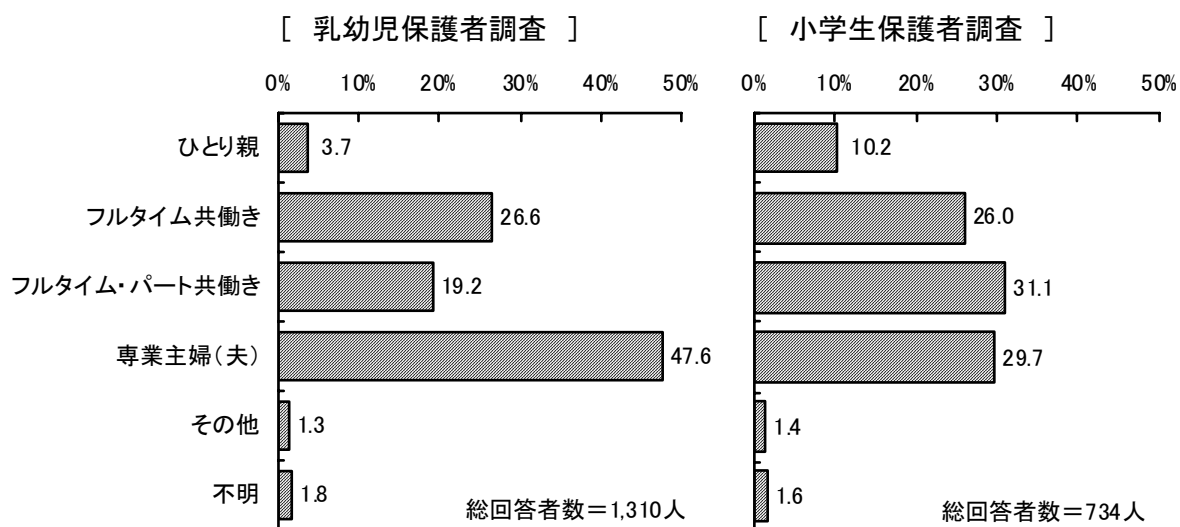
「1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい」と回答した小学生の母親の希望就労形態は、「パートタイム、アルバイト等による就労」が83.9%を占め、「フルタイムによる就労」は7.6%であった。

「パートタイム、アルバイト等による就労」を希望する人の、週の就労希望日数は平均3.6日、1日の就労希望時間は平均4.9時間となっている。

就労を希望する時期の末子の年齢は、平均9.3歳となっている。

(5) 両親の就労形態

図表Ⅱ-37 両親の就労形態(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

乳幼児の両親の就労形態は、「専業主婦(夫)」家庭が47.6%と半数近くを占め、次いで「フルタイム共働き」26.6%、「フルタイム・パート共働き」19.2%の順に割合が高い。「ひとり親」家庭は3.7%となっている。

[小学生保護者調査]

小学生の両親の就労形態は、「フルタイム・パート共働き」家庭がもっとも高い31.1%、次いで「専業主婦(夫)」家庭が約3割、「フルタイム共働き」家庭が2割台となっている。「ひとり親」家庭は10.2%と、乳幼児保護者調査の結果に比べて6.5ポイント高い。

図表Ⅱ-38 両親の就労形態

		総回答者数(人)	ひとり親	フルタイム共働き	フルタイム・パート共働き	専業主婦(夫)	その他	不明	
乳幼児保護者調査	全体	1,310	3.7	26.6	19.2	47.6	1.3	1.8	
	子どもの年齢別	満0歳	153	2.0	30.7	5.2	58.8	3.3	0.0
		0歳児	191	1.6	30.9	9.4	55.5	1.0	1.6
		1歳児	180	4.4	28.3	12.2	52.8	1.7	0.6
		2歳児	202	3.0	28.2	17.8	47.0	1.5	2.5
		3歳児	191	3.1	23.0	30.4	40.8	1.0	1.6
		4歳児	199	6.0	24.1	29.1	37.7	0.5	2.5
		5歳児	187	5.3	21.4	26.7	43.3	0.5	2.7
		居住地域別	Aブロック	143	7.0	22.4	23.8	44.1	0.7
	Bブロック		155	4.5	20.0	26.5	47.1	1.9	0.0
	Cブロック		119	3.4	27.7	20.2	45.4	1.7	1.7
	Dブロック		164	2.4	28.7	18.3	48.8	0.6	1.2
	Eブロック		172	4.1	35.5	19.8	37.8	0.6	2.3
	Fブロック		178	0.0	33.1	14.6	48.3	2.2	1.7
	Gブロック		168	6.0	23.8	17.3	51.8	0.6	0.6
Hブロック	202		2.5	22.3	15.8	56.9	2.0	0.5	

[乳幼児保護者調査]

子どもの年齢別にみると、子どもが満0歳～1歳児の場合には5割台と過半数が「専業主婦(夫)」家庭であるが、2歳児以上になるとその割合は減少する。共働き家庭の割合をみると、満0歳・0歳児では「フルタイム共働き」が約3割で、「フルタイム・パート共働き」は1割を下回るが、1歳児以上になると「フルタイム共働き」の割合は減少し、3・4歳児では約3割、5歳児では2割台が「フルタイム・パート共働き」となっている。

居住地域別にみると、G・Hブロックは「専業主婦(夫)」家庭が5割を超え、他に比べて割合が高い。また、A・B・Cブロックは「フルタイム・パート共働き」、E・Fブロックは「フルタイム共働き」の割合が、それぞれ他の地域に比べて高くなっている。

図表Ⅱ-39 両親の就労形態

		総回答者数(人)	ひとり親	フルタイム共働き	フルタイム・パート共働き	専業主婦(夫)	その他	不明	
小学生保護者調査	全体	734	10.2	26.0	31.1	29.7	1.4	1.6	
	子どもの学年別	1年生	131	6.1	31.3	29.0	33.6	0.0	0.0
		2年生	115	6.1	26.1	33.0	33.9	0.9	0.0
		3年生	128	6.3	21.1	29.7	38.3	2.3	2.3
		4年生	124	12.9	25.8	33.9	22.6	1.6	3.2
		5年生	114	19.3	28.9	25.4	21.9	3.5	0.9
		6年生	119	11.8	23.5	34.5	26.9	0.0	3.4
	居住地域別	Aブロック	92	16.3	19.6	37.0	22.8	2.2	2.2
		Bブロック	86	2.3	20.9	43.0	29.1	2.3	2.3
		Cブロック	67	17.9	35.8	25.4	19.4	0.0	1.5
		Dブロック	80	12.5	30.0	33.8	22.5	1.3	0.0
		Eブロック	103	8.7	35.0	22.3	33.0	1.0	0.0
		Fブロック	111	9.9	26.1	30.6	32.4	0.0	0.9
		Gブロック	92	9.8	21.7	29.3	37.0	1.1	1.1
		Hブロック	99	7.1	22.2	29.3	37.4	3.0	1.0

[小学生保護者調査]

子どもの学年別にみると、子どもが1～3年生の場合は「専業主婦(夫)」家庭が3割台でもっとも高い割合を占める。4・6年生では「フルタイム・パート共働き」、5年生では「フルタイム共働き」世帯がもっとも高い。また、1～3年生では1割を下回るが、4年生以上になると1割台が「ひとり親」家庭となっている。

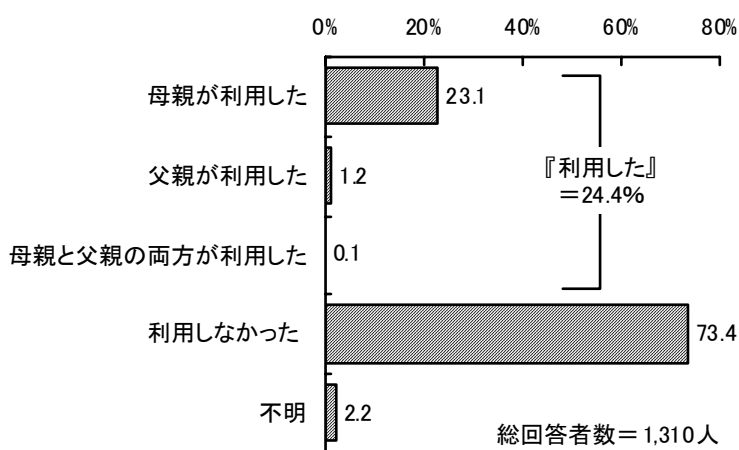
居住地域別にみると、A・B・Dブロックは「フルタイム・パート共働き」、C・Eブロックは「フルタイム共働き」、F・G・Hブロックの南部地域は「専業主婦(夫)」家庭が、それぞれもっとも高い割合を占める。また、「ひとり親」家庭の割合は、他に比べてA・C・Dブロックにおいて高くなっている。

(6) 育児休業制度の利用状況(乳幼児:問28～問28-3)

① 育児休業制度の利用状況

あて名のお子さんについて、母親または父親が育児休業制度を利用しましたか。(1つに○)

図表Ⅱ-40 育児休業制度の利用状況(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

乳幼児の保護者の育児休業制度の利用状況をみると、「利用しなかった」が73.4%を占め、『利用した』(100%から「利用しなかった」と「不明」を除いた割合)は24.4%、およそ4分の1となっている。利用者は、「母親が利用した」が23.1%、「父親が利用した」が1.2%、「母親と父親の両方が利用した」が0.1%であった。

図表Ⅱ-41 育児休業制度の利用状況

		総回答者数(人)	母親が利用した	父親が利用した	母親と父親の両方が利用した	利用しなかった	不明	『利用した』	
乳幼児保護者調査	全体	1,310	23.1	1.2	0.1	73.4	2.2	24.4	
	子どもの年齢別	満0歳	153	30.7	1.3	0.0	64.7	3.3	32.0
		0歳児	191	26.7	1.6	0.5	70.2	1.0	28.8
		1歳児	180	25.0	0.6	0.0	71.7	2.8	25.5
		2歳児	202	24.3	1.0	0.0	74.3	0.5	25.2
		3歳児	191	22.0	3.1	0.0	73.3	1.6	25.1
		4歳児	199	17.1	1.0	0.0	79.9	2.0	18.1
		5歳児	187	16.6	0.0	0.0	79.1	4.3	16.6

※:『利用した』=100%-(「利用しなかった」-「不明」)

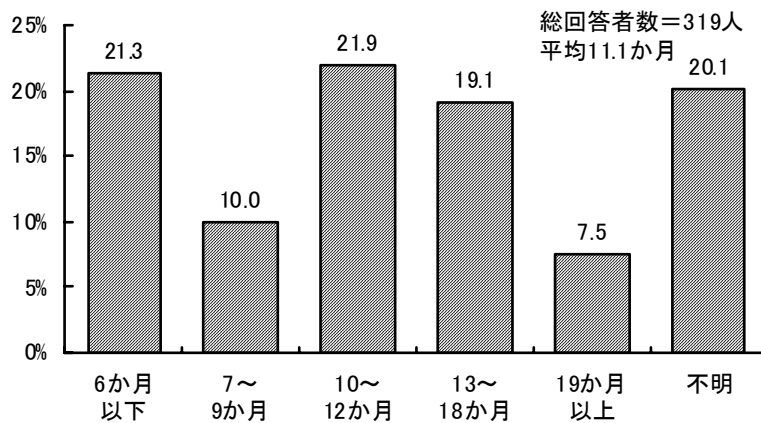
[乳幼児保護者調査]

子どもの年齢別にみると、育児休業制度を『利用した』割合は、子どもの年齢が低いほど高く、満0歳の場合では3割台、0～3歳児では2割台、4・5歳児では1割台となっている。

②育児休業復帰時の子どもの月齢

育児休業から復帰なさったとき、お子さんの月齢は何ヶ月でしたか。(数字を記入)

図表Ⅱ-42 育児休業復帰時の子どもの月齢(単数回答)



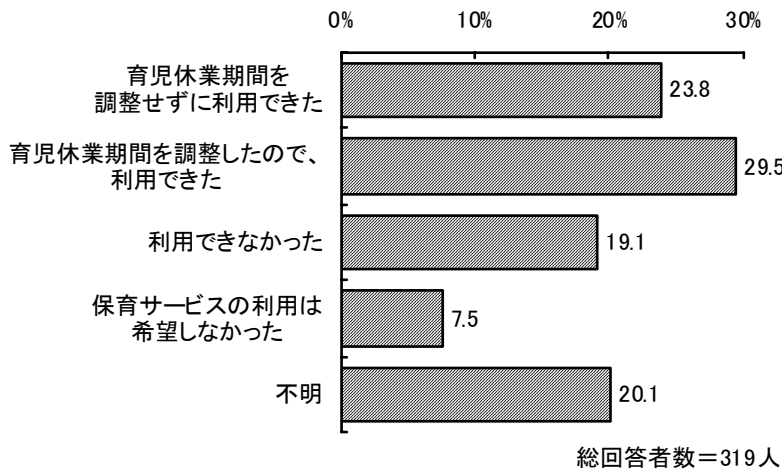
[乳幼児保護者調査]

育児休業制度を『利用した』と回答した人に、育児休業復帰時の子どもの月齢をたずねたところ、平均 11.1 か月であった。

③育児休業復帰時の保育サービス利便性

育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できましたか。(1つに○)

図表Ⅱ-43 育児休業復帰時の保育サービス利便性(単数回答)



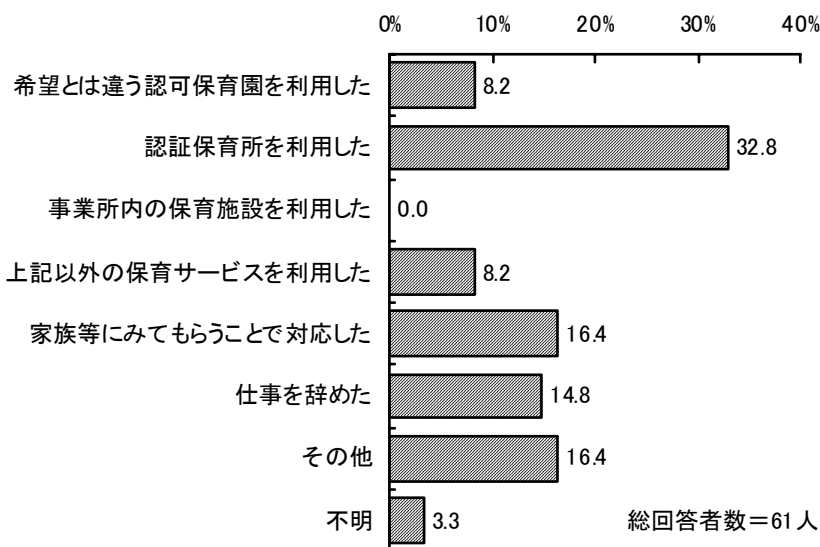
[乳幼児保護者調査]

育児休業制度を『利用した』人に育児休業復帰時の保育サービス利便性をたずねたところ、「育児休業期間を調整したので、利用できた」がもっとも高く 29.5%と約3割を占め、次いで「育児休業期間を調整せずに利用できた」23.8%となっている。また、19.1%が「利用できなかった」と回答している。

④希望する保育サービスを利用できなかった際の対応

「3. 利用できなかった」に○をした方にうかがいます。どのように対応しましたか。(1つに○)

図表Ⅱ-44 希望する保育サービスを利用できなかった際の対応(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

希望するサービスを「利用できなかった」際の対応は、「認証保育所を利用した」がもっとも高い32.8%、次いで「家族等にみてもらうことで対応した」16.4%、「その他」16.4%、「仕事を辞めた」14.8%の順となっている。

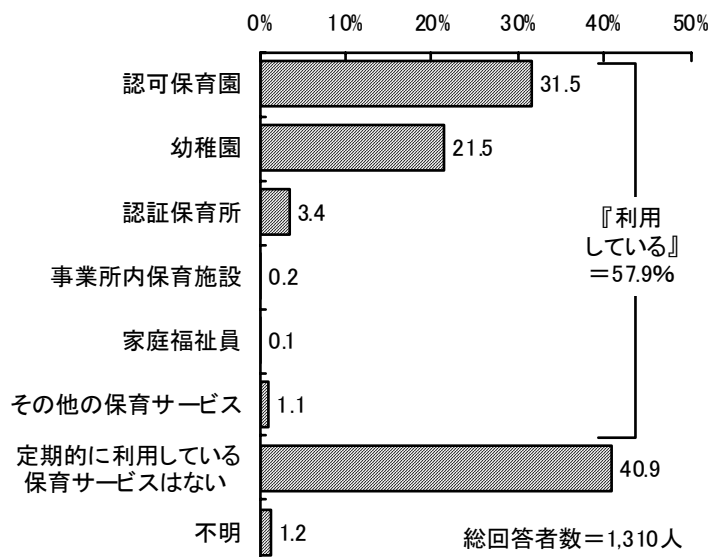
「その他」は、「職場に連れて行った」「仕事を休業した」などとなっている。

4. 乳幼児の日常生活と保育サービス等の利用状況・利用意向

(1) 保育サービスの利用状況(乳幼児:問14)

日ごろ、あて名のお子さんは定期的に保育サービス等を利用していますか。
(主なもの1つだけに○)

図表Ⅱ-45 保育サービスの利用状況(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

定期的な保育サービスの利用状況については、「定期的に利用している保育サービスはない」が約4割を占め、保育サービスを定期的に『利用している』(100%から「定期的に利用している保育サービスはない」と「不明」を除いた割合)は、57.9%となっている。

具体的には、「認可保育園」31.5%、「幼稚園」21.5%、「認証保育所」3.4%の順となっている。

子どもの年齢別にみると、「定期的に利用している保育サービスはない」割合は、満0歳の9割台から2歳児では約半数となる。保育サービスの利用状況をみると、0歳児の約2割、1歳児の約3割、2歳児の4割弱が「認可保育園」を利用していると回答している。3歳児以上では「幼稚園」がもっとも高い割合を占め、3・4歳児では4割台、5歳児では5割台となっている。

居住地域別にみると、「認可保育園」を利用している割合は、A・B・C・Eブロック、「定期的に利用している保育サービスはない」は、D・F・Hブロックが、それぞれ、他の地域に比べて高い割合となっている。

両親の就労形態別にみると、フルタイム共働き家庭の6割台、ひとり親及びフルタイム・パート共働き家庭の5割台が「認可保育園」を利用していると回答している。専業主婦(夫)家庭では「定期的に利用している保育サービスはない」が6割台、次いで「幼稚園」が3割強となっている。

図表Ⅱ-46 保育サービスの利用状況

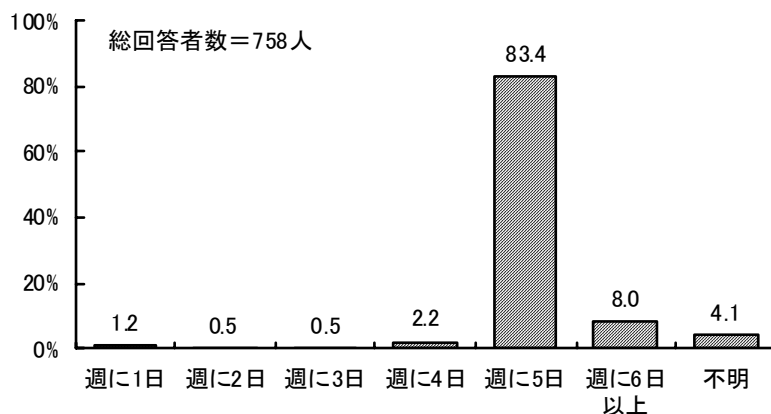
		総回答者数(人)	認可保育園	幼稚園	認証保育所	事業所内保育施設	家庭福祉員	その他の保育サービス	定期的に利用している 保育サービスはない	不明	『利用している』	
乳幼児保護者調査	全体	1,310	31.5	21.5	3.4	0.2	0.1	1.1	40.9	1.2	57.9	
	子どもの年齢別	満0歳	153	3.9	0.0	2.0	0.0	0.0	1.3	91.5	1.3	7.2
		0歳児	191	19.9	0.0	5.8	0.0	0.0	0.0	73.3	1.0	25.7
		1歳児	180	30.6	0.0	5.6	0.0	0.0	2.8	59.4	1.7	38.9
		2歳児	202	37.6	3.0	6.4	1.0	0.5	1.5	49.5	0.5	50.0
		3歳児	191	40.3	40.3	3.7	0.0	0.0	1.0	13.1	1.6	85.3
		4歳児	199	44.7	47.2	0.5	0.0	0.0	1.5	5.0	1.0	94.0
		5歳児	187	37.4	55.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	1.1	92.5
	居住地域別	Aブロック	143	44.8	16.8	1.4	0.0	0.0	1.4	35.7	0.0	64.3
		Bブロック	155	36.8	21.3	0.6	0.6	0.6	0.0	38.1	1.9	60.0
		Cブロック	119	35.3	24.4	1.7	0.0	0.0	0.0	37.0	1.7	61.3
		Dブロック	164	25.6	20.7	6.1	0.6	0.0	0.6	45.7	0.6	53.7
		Eブロック	172	34.9	24.4	2.9	0.0	0.0	0.0	37.8	0.0	62.2
		Fブロック	178	24.2	20.8	5.1	0.0	0.0	2.8	45.5	1.7	52.8
		Gブロック	168	28.0	27.4	5.4	0.0	0.0	1.8	36.3	1.2	62.5
		Hブロック	202	27.2	17.3	3.5	0.0	0.0	2.0	48.0	2.0	50.0
	両親の就労形態別	ひとり親	48	56.3	12.5	2.1	0.0	0.0	4.2	22.9	2.1	75.0
		フルタイム共働き	348	64.9	3.2	5.7	0.3	0.0	1.7	24.1	0.0	75.9
		フルタイム・パート共働き	251	54.2	24.3	6.4	0.4	0.4	0.4	13.1	0.8	86.1
		専業主婦(夫)	623	2.4	31.8	0.8	0.0	0.0	1.0	62.6	1.4	36.0
その他		17	17.6	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0	52.9	11.8	35.3	

※:『利用している』=100%-「定期的に利用している保育サービスはない」-「不明」

(2) 保育サービスの利用日数(乳幼児:問15)

問 14 で○をした保育サービスは、1 週間あたり何日利用していますか。(1つに○)

図表Ⅱ-47 保育サービスの利用日数(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

保育サービスを定期的に『利用している』と回答した人の利用頻度は、「週に5日」が83.4%を占める。また、「週に6日以上」という回答が8.0%みられた。

図表Ⅱ-48 保育サービスの利用日数

		総回答者数(人)	週に1日	週に2日	週に3日	週に4日	週に5日	週に6日以上	不明
乳幼児保護者調査	全体	758	1.2	0.5	0.5	2.2	83.4	8.0	4.1
	認可保育園	413	0.7	0.0	0.0	2.7	82.8	11.4	2.4
	認証保育所	45	4.4	4.4	2.2	11.1	62.2	11.1	4.4
	家庭福祉員	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	事業所内保育施設	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	幼稚園	282	0.7	0.0	0.4	0.0	91.5	1.4	6.0
	その他の保育サービス	15	13.3	13.3	13.3	0.0	26.7	20.0	13.3

[乳幼児保護者調査]

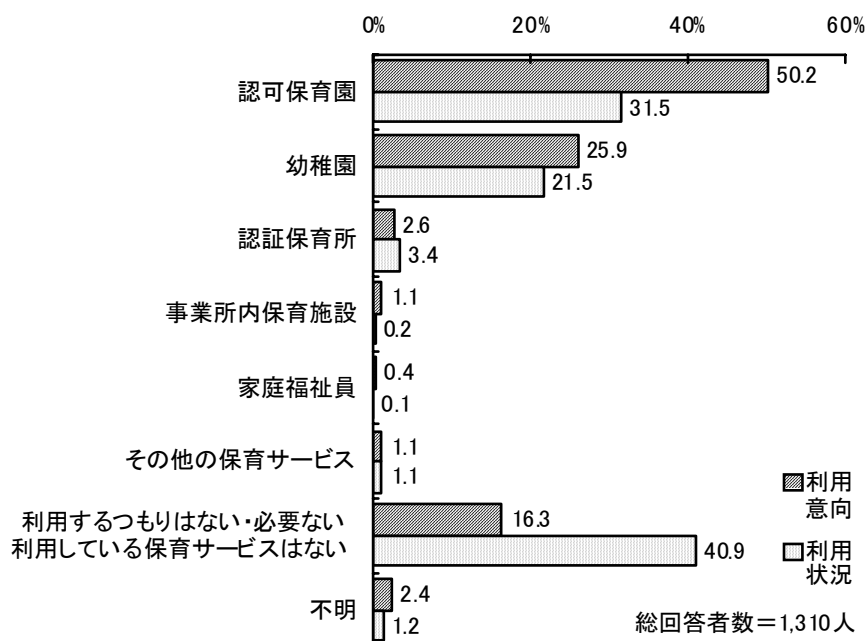
保育サービスの利用状況別にみると、認可保育園利用者は「週に5日」が8割台であり、また、11.4%が「週に6日以上」と回答している。幼稚園利用者は91.5%が「週に5日」となっている。

(3) 今後の保育サービス利用意向(乳幼児:問17～問17-2)

①保育サービスの利用意向

あて名のお子さんの、定期的な保育サービスの利用について、実際にはどのようにしたいと考えていますか。現在の状況を続けたい場合は現在と同じ番号に○、今は預けていないができれば預けたい、預け先を変更したい場合は、主な希望1つだけを選び○をしてください。

図表Ⅱ-49 保育サービスの利用意向(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

定期的な保育サービスの利用意向をみると、50.2%と約半数が「認可保育園」を希望しているのに次いで、「幼稚園」が25.9%、「認証保育所」が2.6%となっている。

定期的な保育サービスを「利用するつもりはない・必要ない」は16.3%であり、実際の利用状況に比べて、認可保育園をはじめとする保育サービスの利用意向が高いことがわかる。

子どもの年齢別にみると、満0歳・0歳児では「認可保育園」を5割台が希望しており、定期的な保育サービスを「利用するつもりはない・必要ない」は3割台となっている。1歳児では6割が「認可保育園」を希望している。2～4歳児では「認可保育園」希望者の割合は4割台、「幼稚園」希望者の割合が3～4割台となる。5歳児では「幼稚園」を5割強、「認可保育園」を4割弱が希望している。

居住地域別にみると、「認可保育園」希望者は、A・B・C・E・Hブロックで5割台を占め、他の地域に比べて高い割合となっている。「幼稚園」希望者は、Gブロックがもっとも高く3割台を占める。

両親の就労形態別にみると、フルタイム共働き家庭の8割台、ひとり親家庭の7割台、フルタイム・パート共働き家庭の6割台が「認可保育園」の利用を希望している。専業主婦（夫）家庭では「幼稚園」を約4割が希望しているのに次いで、「利用するつもりはない・必要ない」が約3割となっている。

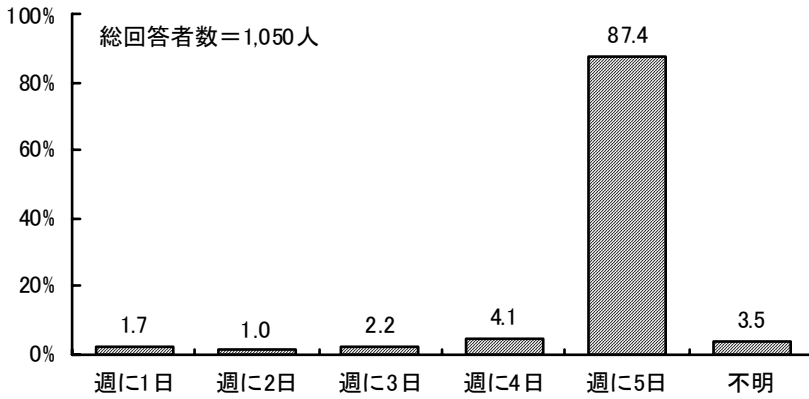
図表Ⅱ-50 保育サービスの利用意向

		総回答者数(人)	認可保育園	幼稚園	認証保育所	事業所内保育施設	家庭福祉員	その他の保育サービス	利用するつもりはない・必要ない	不明	
乳幼児保護者調査	全体	1,310	50.2	25.9	2.6	1.1	0.4	1.1	16.3	2.4	
	子どもの年齢別	満0歳	153	56.2	0.7	2.6	0.0	0.0	0.7	38.6	1.3
		0歳児	191	56.0	1.0	4.2	2.6	0.5	2.1	31.9	1.6
		1歳児	180	60.0	0.6	5.6	0.0	0.6	1.7	28.3	3.3
		2歳児	202	48.0	32.7	3.0	1.5	0.5	1.5	10.9	2.0
		3歳児	191	46.1	41.4	2.1	1.6	1.0	1.0	4.2	2.6
		4歳児	199	48.7	45.7	0.5	1.0	0.0	0.5	2.5	1.0
		5歳児	187	38.0	52.4	0.5	1.1	0.0	0.5	3.7	3.7
	居住地域別	Aブロック	143	53.8	23.8	1.4	1.4	0.0	1.4	16.1	2.1
		Bブロック	155	53.5	21.3	1.3	1.3	0.6	1.3	18.1	2.6
		Cブロック	119	51.3	28.6	1.7	1.7	0.0	0.8	11.8	4.2
		Dブロック	164	44.5	28.0	4.3	0.6	0.0	0.0	20.1	2.4
		Eブロック	172	52.3	26.2	1.7	1.2	0.0	0.0	14.5	4.1
		Fブロック	178	49.4	28.1	3.4	0.6	0.6	0.6	16.3	1.1
		Gブロック	168	42.9	32.1	3.6	1.2	0.0	3.0	17.3	0.0
		Hブロック	202	54.0	19.8	3.0	1.5	1.5	2.0	15.8	2.5
	両親の就労形態別	ひとり親	48	77.1	10.4	2.1	0.0	0.0	2.1	4.2	4.2
		フルタイム共働き	348	84.8	4.0	3.2	1.4	0.3	0.6	4.3	1.4
		フルタイム・パート共働き	251	64.5	23.9	2.8	1.2	0.0	0.4	4.4	2.8
専業主婦(夫)		623	23.4	39.8	2.2	1.0	0.6	1.8	29.1	2.1	
その他		17	52.9	23.5	5.9	0.0	0.0	0.0	11.8	5.9	

②保育サービス等の利用希望頻度と時間帯

預け(続け)たいと思う日数・時間帯はいつですか。現在利用できる(している)状況にかかわらず、①～③それぞれについて希望をお答えください。

図表Ⅱ-51 ①平日利用希望頻度(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

保育サービスの定期的な利用意向を示した人の平日の利用希望頻度は、「週に5日」が87.4%を占める。

図表Ⅱ-52 ①平日利用希望頻度

		総回答者数(人)	週に1日	週に2日	週に3日	週に4日	週に5日	不明
乳幼児保護者調査	全体	1,050	1.7	1.0	2.2	4.1	87.4	3.5
	認可保育園	657	1.4	1.2	2.1	5.3	87.7	2.3
	認証保育所	34	11.8	2.9	11.8	8.8	58.8	5.9
	家庭福祉員	5	20.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0
	事業所内保育施設	15	6.7	0.0	13.3	6.7	73.3	0.0
	幼稚園	339	0.9	0.6	0.9	1.2	90.6	5.9

[乳幼児保護者調査]

保育サービスの利用意向別にみると、認可保育園希望者では9割弱、幼稚園希望者では約9割が、「週に5日」の利用を希望している。

図表Ⅱ-53 平日希望開始時間

		総回答者数(人)	7時以前	7時台	8時台	9時台	10時台	11時以降	不明
乳幼児保護者調査	全体	1,013	0.3	12.0	35.0	47.1	2.9	1.1	1.6
	保育サービスの利用意向別								
	認可保育園	642	0.5	17.3	44.7	34.0	1.7	0.6	1.2
	認証保育所	32	0.0	12.5	34.4	37.5	12.5	3.1	0.0
	家庭福祉員	5	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	事業所内保育施設	15	0.0	26.7	20.0	33.3	13.3	0.0	6.7
幼稚園	319	0.0	0.9	16.0	75.5	3.8	1.6	2.2	

[乳幼児保護者調査]

平日の希望開始時間を保育サービスの利用意向別にみると、認可保育園希望者は「8時台」「9時台」の順に割合が高い。また、2割弱が『8時以前』（「7時以前」と「7時台」を合わせた割合）を希望している。幼稚園希望者は7割台が「9時台」を希望している。

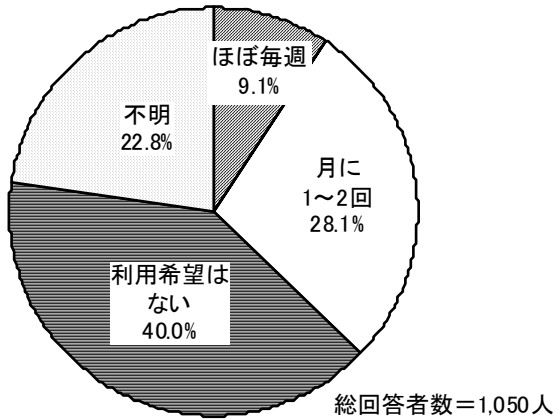
図表Ⅱ-54 平日希望終了時間

		総回答者数(人)	15時以前	15時台	16時台	17時台	18時台	19時以降	不明
乳幼児保護者調査	全体	1,013	10.2	15.1	13.6	22.1	22.6	14.7	1.7
	保育サービスの利用意向別								
	認可保育園	642	1.7	2.8	11.8	28.2	33.2	21.0	1.2
	認証保育所	32	6.3	3.1	25.0	18.8	21.9	25.0	0.0
	家庭福祉員	5	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	事業所内保育施設	15	0.0	20.0	6.7	13.3	20.0	33.3	6.7
幼稚園	319	27.9	40.8	16.6	10.0	1.9	0.3	2.5	

[乳幼児保護者調査]

平日の希望終了時間を保育サービスの利用意向別にみると、認可保育園希望者は「18時台」「17時台」の順に割合が高く、また、「19時以降」を2割強が希望している。幼稚園希望者は「15時台」が4割を占め、次いで「15時以前」が続いている。

図表Ⅱ-55 ②土曜日利用希望頻度(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

保育サービスの定期的な利用意向を示した人の土曜日の利用希望は、「利用希望はない」が4割を占め、「月に1~2回」28.1%、「ほぼ毎週」9.1%を合わせた37.2%が利用意向を示している。

図表Ⅱ-56 ②土曜日利用希望頻度

		総回答者数(人)	ほぼ毎週	月に1~2回	利用希望はない	不明
乳幼児保護者調査	全体	1,050	9.1	28.1	40.0	22.8
	保育サービスの利用意向別					
	認可保育園	657	11.6	30.4	36.5	21.5
	認証保育所	34	11.8	17.6	35.3	35.3
	家庭福祉員	5	0.0	40.0	40.0	20.0
	事業所内保育施設	15	13.3	33.3	46.7	6.7
	幼稚園	339	4.1	24.2	46.9	24.8

[乳幼児保護者調査]

保育サービスの利用意向別にみると、認可保育園希望者の42.0%、幼稚園希望者では28.3%が土曜日の利用を希望している。

図表Ⅱ-57 土曜日希望開始時間

		総回答者数(人)	7時以前	7時台	8時台	9時台	10時台	11時以降	不明
乳幼児保護者調査	全体	391	0.3	9.7	31.2	48.1	4.9	1.0	4.9
	保育サービスの利用意向別								
	認可保育園	276	0.4	12.7	37.3	42.0	3.3	0.7	3.6
	認証保育所	10	0.0	10.0	10.0	20.0	20.0	10.0	30.0
	家庭福祉員	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	事業所内保育施設	7	0.0	28.6	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0
幼稚園	96	0.0	0.0	15.6	69.8	7.3	1.0	6.3	

[乳幼児保護者調査]

土曜日の希望開始時間を保育サービスの利用意向別にみると、認可保育園希望者は「9時台」「8時台」の順に割合が高い。『8時以前』（「7時以前」と「7時台」を合わせた割合）の希望は1割強である。幼稚園希望者は約7割が「9時台」を希望している。

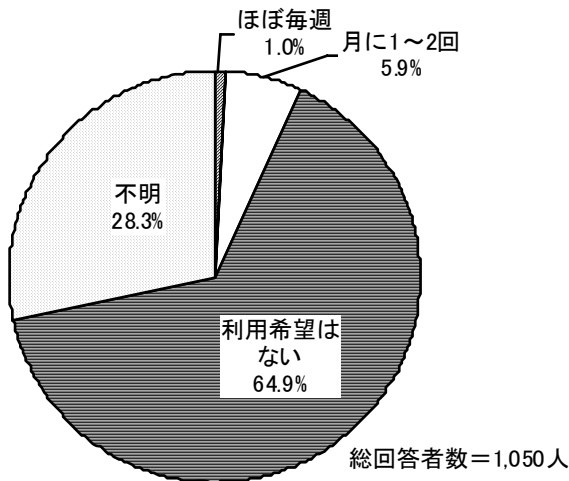
図表Ⅱ-58 土曜日希望終了時間

		総回答者数(人)	15時以前	15時台	16時台	17時台	18時台	19時以降	不明
乳幼児保護者調査	全体	391	17.6	9.2	14.1	24.0	19.2	11.0	4.9
	保育サービスの利用意向別								
	認可保育園	276	5.1	5.8	15.2	30.1	25.4	14.9	3.6
	認証保育所	10	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	10.0	30.0
	家庭福祉員	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	事業所内保育施設	7	14.3	28.6	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0
幼稚園	96	56.3	18.8	9.4	8.3	1.0	0.0	6.3	

[乳幼児保護者調査]

土曜日の希望終了時間を保育サービスの利用意向別にみると、認可保育園希望者は「17時台」「18時台」の順に割合が高い。また、「19時以降」の希望は14.9%である。幼稚園希望者は過半数が「15時以前」となっている。

図表Ⅱ-59 ③日曜日利用希望頻度(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

保育サービスの定期的な利用意向を示した人の日曜日の利用希望は、「利用希望はない」が64.9%を占め、利用意向を示した人の割合は「月に1~2回」5.9%、「ほぼ毎週」1.0%を合わせた6.9%となっている。

図表Ⅱ-60 ③日曜日利用希望頻度

		総回答者数(人)	ほぼ毎週	月に1~2回	利用希望はない	不明
乳幼児保護者調査	全体	1,050	1.0	5.9	64.9	28.3
	認可保育園	657	1.4	8.1	62.1	28.5
	認証保育所	34	0.0	2.9	52.9	44.1
	家庭福祉員	5	0.0	0.0	60.0	40.0
	事業所内保育施設	15	0.0	20.0	60.0	20.0
	幼稚園	339	0.3	1.5	71.7	26.5

[乳幼児保護者調査]

保育サービスの利用意向別にみると、認可保育園希望者の9.5%、幼稚園希望者においても1.8%が日曜日の利用を希望している。

図表Ⅱ-61 日曜日希望開始時間

		総回答者数(人)	7時以前	7時台	8時台	9時台	10時台	11時以降	不明	
乳幼児保護者調査	全体	72	0.0	15.3	29.2	38.9	9.7	2.8	4.2	
	保育サービスの利用意向別	認可保育園	62	0.0	16.1	32.3	38.7	8.1	1.6	3.2
		認証保育所	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
		家庭福祉員	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		事業所内保育施設	3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
		幼稚園	6	0.0	0.0	0.0	50.0	33.3	16.7	0.0

[乳幼児保護者調査]

日曜日の希望開始時間を保育サービスの利用意向別にみると、認可保育園希望者は「9時台」「8時台」の順に割合が高い。『8時以前』（「7時以前」と「7時台」を合わせた割合）の希望は16.1%である。

図表Ⅱ-62 日曜日希望終了時間

		総回答者数(人)	15時以前	15時台	16時台	17時台	18時台	19時以降	不明	
乳幼児保護者調査	全体	72	9.7	4.2	11.1	25.0	25.0	20.8	4.2	
	保育サービスの利用意向別	認可保育園	62	8.1	4.8	8.1	27.4	25.8	22.6	3.2
		認証保育所	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
		家庭福祉員	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		事業所内保育施設	3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
		幼稚園	6	33.3	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0

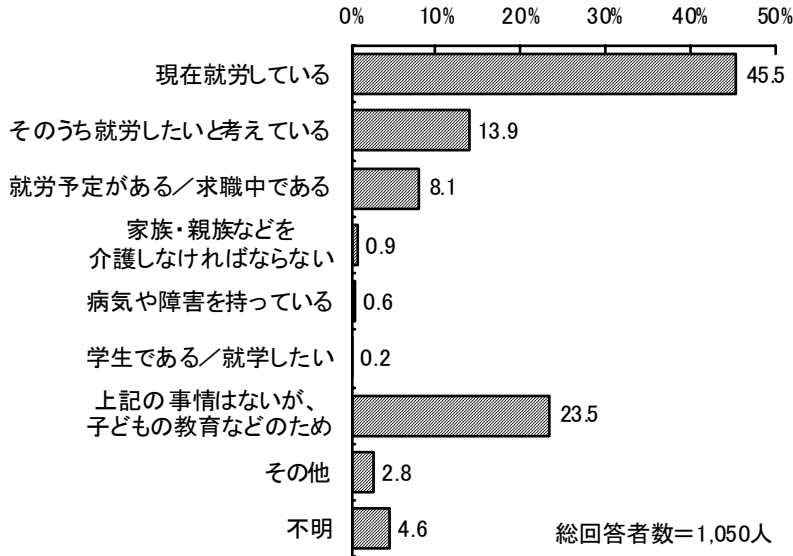
[乳幼児保護者調査]

日曜日の希望終了時間を保育サービスの利用意向別にみると、認可保育園希望者は「17時台」「18時台」の順に割合が高い。また、「19時以降」の希望が2割台となっている。

③保育サービスを利用したい理由

保育サービスを利用し(続け)たい理由は何ですか。(主な理由1つだけに○)

図表Ⅱ-63 保育サービスを利用したい理由(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

保育サービスの定期的な利用意向を示した人の、利用したい理由は、「現在就労している」45.5%、「上記の事情はないが、子どもの教育などのため」23.5%、「そのうち就労したいと考えている」13.9%、「就労予定がある／求職中である」8.1%の順となっている。

図表Ⅱ-64 保育サービスを利用したい理由

		総回答者数(人)	現在就労している	そのうち就労したいと考えている	就労予定がある／求職中である	家族・親族などを介護しなければならない	病気や障害を持っている	学生である／就学したい	左記の事情はないが、子どもの教育などのため	その他	不明
乳幼児保護者調査	全体	1,050	45.5	13.9	8.1	0.9	0.6	0.2	23.5	2.8	4.6
	認可保育園	657	64.8	12.5	11.4	1.1	0.9	0.0	2.9	2.1	4.3
	認証保育所	34	47.1	23.5	2.9	0.0	0.0	2.9	8.8	8.8	5.9
	家庭福祉員	5	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	事業所内保育施設	15	26.7	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0
	幼稚園	339	9.1	13.6	1.8	0.6	0.0	0.3	66.4	2.9	5.3

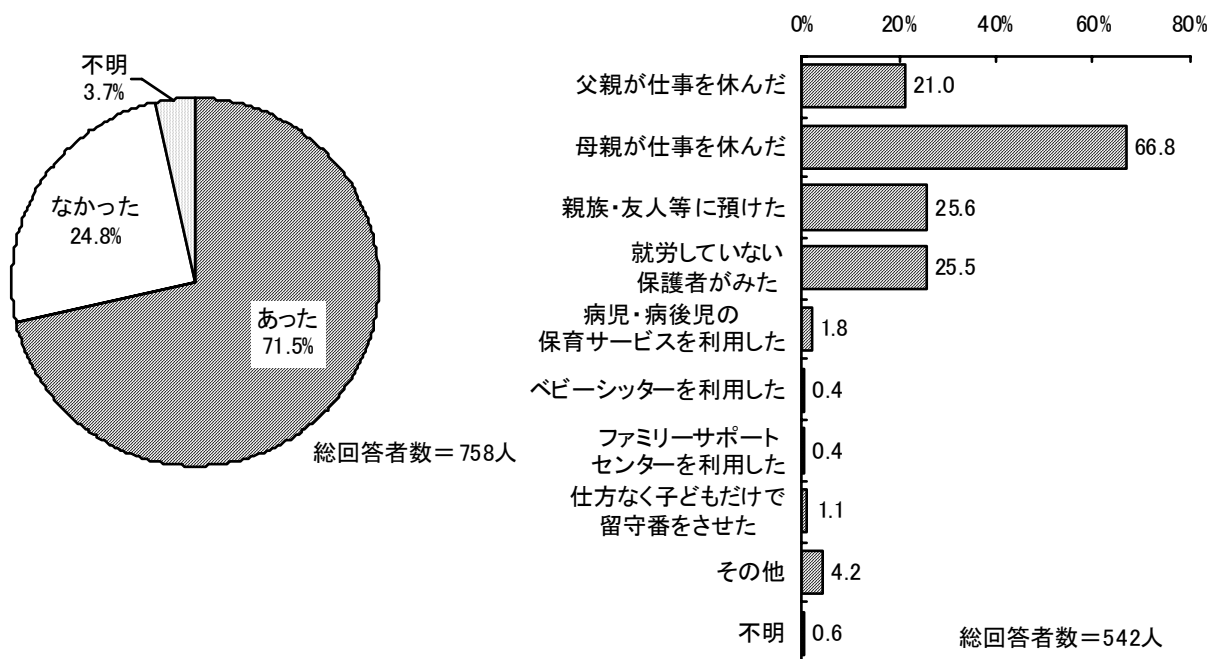
[乳幼児保護者調査]

保育サービスの利用意向別にみると、認可保育園希望者においては「現在就労している」が64.8%を占めるのに次いで、「そのうち就労したいと考えている」「就労予定がある／求職中である」もそれぞれ1割台となっている。幼稚園希望者においては「左記の事情はないが、子どもの教育などのため」が66.4%を占めるのに次いで、「そのうち就労したいと考えている」が1割台からあげられている。

(4) 病気等で保育サービスを利用できなかった経験と対応(乳幼児:問16～問16-2)

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、問14で○をした保育サービスを利用できなかったことはありますか。(1つに○)
 「1. あった」に○をした方にうかがいます。この1年間の対処方法すべてに○をし、それぞれのおおむねの日数をご記入ください。(半日程度も1日とカウントしてください)
 「1～3」に○をした方にうかがいます。そのうち、できれば病児・病後児を預かってくれる保育サービスを利用したいと思われた日数は、どれくらいありますか。(数字を記入)

図表Ⅱ-65 病気等で保育サービスを利用できなかった経験(単数回答)・その際の対応(複数回答)



図表Ⅱ-66 病気等で保育サービスを利用できなかった際の対応ごとの日数(年間)

対応	総回答者数	平均日数	最長日数	最短日数
父親が仕事を休んだ	114人	4.3日	20日	1日
母親が仕事を休んだ	362人	11.5日	90日	1日
親族・友人等に預けた	139人	10.0日	150日	1日
就労していない保護者がみた	138人	9.5日	40日	1日
病児・病後児の保育サービスを利用した	10人	8.8日	30日	1日
ベビーシッターを利用した	2人	2.0日	3日	1日
ファミリーサポートセンターを利用した	2人	4.0日	7日	1日
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	6人	2.0日	5日	1日
その他	23人	6.0日	20日	1日

[乳幼児保護者調査]

保育サービスを定期的に『利用している』と回答した人の71.5%が、病気やケガで保育サービスを利用できない経験が「あった」と回答している。

「あった」と回答した人の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」66.8%がもっとも高く、「親族・友人等に預けた」25.6%、「就労していない保護者がみた」25.5%、「父親が仕事を休んだ」21.0%の順となっている。

図表Ⅱ-67 病気等で保育サービスを利用できなかった経験

		総回答者数(人)	あった	なかった	不明	
乳幼児保護者調査	全体	758	71.5	24.8	3.7	
	子どもの年齢別	満0歳	11	27.3	54.5	18.2
		0歳児	49	87.8	8.2	4.1
		1歳児	70	84.3	11.4	4.3
		2歳児	101	79.2	18.8	2.0
		3歳児	163	70.6	25.8	3.7
		4歳児	187	69.0	29.4	1.6
		5歳児	173	63.6	30.6	5.8

[乳幼児保護者調査]

子どもの年齢別にみると、病気やケガで保育サービスを利用できない経験が「あった」割合は、子どもが0・1歳児の場合に8割台を占め、他の年齢層に比べて高くなっている。

図表Ⅱ-68 病児・病後児保育サービスの利用希望日数(年間)

総回答者数	389人
平均日数	6.8日
最長日数	53日
最短日数	0日

[乳幼児保護者調査]

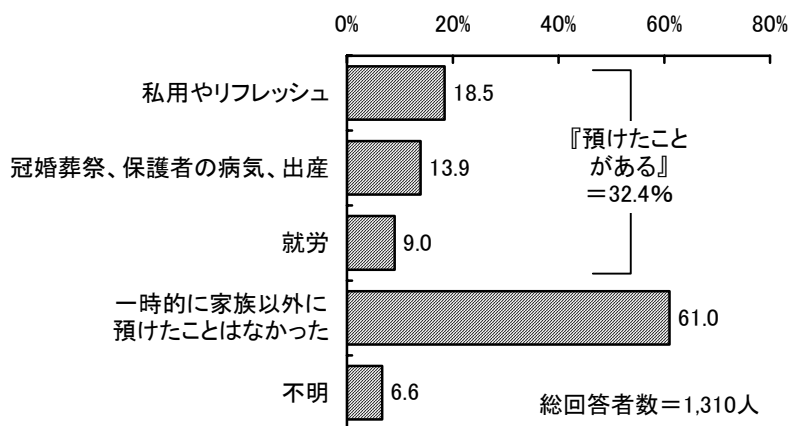
「母親が仕事を休んだ」「父親が仕事を休んだ」「親族・友人等に預けた」と回答した人に、そのうち病児・病後児保育サービスを利用したいと思った日数をたずねたところ、平均6.8日となっている。

(5) 短期間の支援が必要となった経験(乳幼児:問18・問19)

① 短期間の支援が必要となった経験

この1年間に、1～3 のような事情により、あて名のお子さんを一時的に家族以外に預けたことはありましたか。(あてはまるものすべてに○)

図表Ⅱ-69 短期間の支援が必要となった経験(複数回答)



図表Ⅱ-70 短期間の支援が必要となった日数(年間)

	総回答者数	平均日数	最長日数	最短日数
私用やリフレッシュ	242人	8.4日	70日	1日
冠婚葬祭、保護者の病気、出産	182人	10.1日	150日	1日
就労	118人	13.0日	165日	1日

[乳幼児保護者調査]

子どもを一時的に家族以外に預けた経験については、32.4%が『預けたことがある』(100%から「一時的に家族以外に預けたことはなかった」と「不明」を除いた割合)と回答している。

一時的に家族以外に預けた理由として、「私用やリフレッシュ」は18.5%、「冠婚葬祭、保護者の病気、出産」は13.9%、「就労」は9.0%となっている。

図表Ⅱ-71 短期間の支援が必要となった経験

		総回答者数(人)	私用やリフレッシュ	冠婚葬祭、保護者の病気、出産	就労	一時的に家族以外に預けたことはなかった	不明	『預けたことがある』	
乳幼児保護者調査	全体	1,310	18.5	13.9	9.0	61.0	6.6	32.4	
	子どもの年齢別	満0歳	153	12.4	7.2	4.6	77.1	3.3	19.6
		0歳児	191	18.3	13.6	8.4	62.8	6.8	30.4
		1歳児	180	18.3	13.3	6.7	62.8	7.8	29.4
		2歳児	202	19.3	20.8	7.4	59.9	3.0	37.1
		3歳児	191	16.8	17.3	14.1	56.0	7.3	36.7
		4歳児	199	16.6	11.1	9.0	61.3	8.5	30.2
		5歳児	187	27.3	12.3	11.8	50.8	8.6	40.6

※:『預けたことがある』=100%-「一時的に家族以外に預けたことはなかった」-「不明」

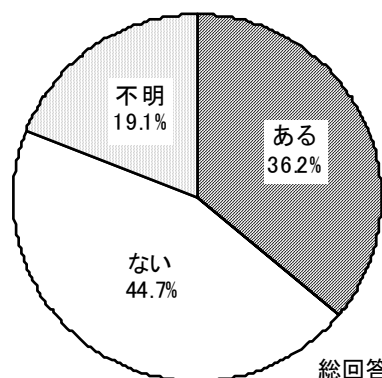
[乳幼児保護者調査]

子どもの年齢別にみると、子どもを一時的に家族以外に『預けたことがある』割合は、5歳児の場合がもっとも高く約4割を占めている。

②一時保育サービスの利用意向

問 18 で記入した日数以外に、一時的に預かってくれる保育サービスを利用できればよかったと思われる日数は、どのくらいありますか。

図表Ⅱ-72 一時保育サービスの利用意向(単数回答) ・ 一時保育サービスの利用希望日数



総回答者数	474 人
平均日数	12.6 日
最長日数	100 日
最短日数	0 日

[乳幼児保護者調査]

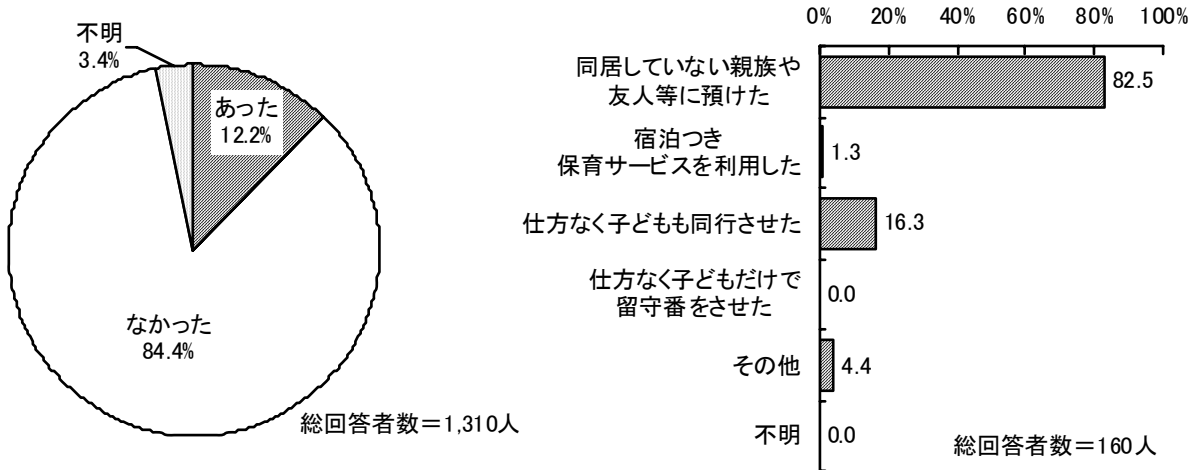
問 18 で記入した日数以外に、一時保育サービスを利用できればよかったと思う日数が「ある」は 36.2%であり、その日数は年間平均 12.6 日となっている。

(6) 数日間の支援が必要となった経験と対応(乳幼児:問20～問20-2)

① 数日間の支援が必要となった経験と対応

この1年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったことはありましたか。(1つに○)
 「1. あった」に○をした方にうかがいます。
 この1年間の対処方法すべてに○をし、それぞれのおおむねの日数をご記入ください。

図表Ⅱ-73 数日間の支援が必要となった経験(単数回答)・その際の対応(複数回答)



図表Ⅱ-74 数日間の支援が必要となった際の対応ごとの日数(年間)

	総回答者数	平均日数	最長日数	最短日数
同居していない親族や友人等に預けた	132人	9.5日	100日	1日
宿泊つき保育サービスを利用した	2人	18.5日	35日	2日
仕方なく子どもも同行させた	26人	3.3日	10日	1日
その他	7人	4.5日	7日	2日

[乳幼児保護者調査]

子どもを泊まりがけで家族以外に預けた経験について、「あった」は12.2%となっている。

「あった」と回答した人の対処方法は、「同居していない親族や友人等に預けた」が82.5%であり、そのほか、「仕方なく子どもも同行させた」16.3%などとなっている。

図表Ⅱ-75 数日間の支援が必要となった経験

		総回答者数(人)	あった	なかった	不明	
乳幼児保護者調査	全体	1,310	12.2	84.4	3.4	
	子どもの年齢別	満0歳	153	6.5	88.2	5.2
		0歳児	191	6.8	90.6	2.6
		1歳児	180	11.7	86.1	2.2
		2歳児	202	17.8	80.2	2.0
		3歳児	191	18.3	77.5	4.2
		4歳児	199	10.6	86.4	3.0
		5歳児	187	12.8	84.0	3.2

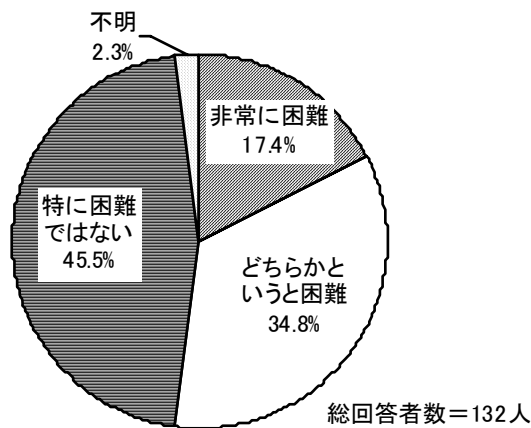
[乳幼児保護者調査]

子どもの年齢別にみると、子どもを泊まりがけで家族以外に預けた経験が「あった」割合は、2・3歳児の場合に2割弱を占め、他に比べて高くあらわれている。

②同居していない親族や友人等に預ける場合の困難度

「1. 同居していない親族や友人等に預けた」に○をした方にうかがいます。
その場合の困難度はどの程度でしたか。(1つに○)

図表Ⅱ-76 同居していない親族や友人等に預ける場合の困難度(単数回答)



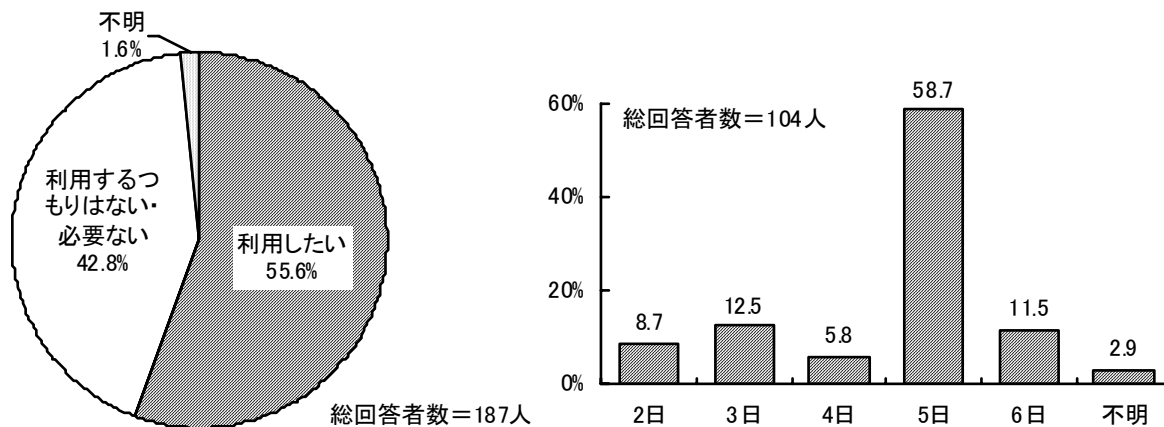
[乳幼児保護者調査]

「同居していない親族や友人等に預けた」と回答した人について、その場合の困難度をたずねたところ、「特に困難ではない」が45.5%を占める一方、「どちらかという困難」が34.8%、「非常に困難」が17.4%となっている。

(7)学童クラブの利用意向と希望設置場所(乳幼児:問21・問21-1)

あて名のお子さんについて、小学校入学以降、放課後に学童クラブを利用したいですか。
 (1つに○)
 「1. 利用したい」に○をした方にうかがいます。学童クラブは、どのような場所にあるとよいと思いますか。(1つに○)

図表Ⅱ-77 学童クラブの利用意向(単数回答)・学童クラブの利用希望日数(単数回答)

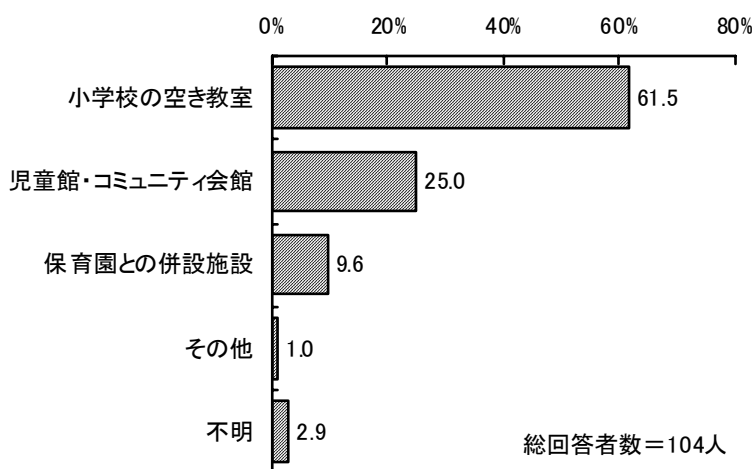


[乳幼児保護者調査]

来年度就学予定の子どもがいる場合に、学童クラブの利用意向をたずねたところ、「利用したい」は55.6%、半数強となっている。

「利用したい」場合の利用希望日数は「5日」が58.7%、次いで「3日」12.5%であり、「6日」を希望する割合も11.5%と1割強を占める。

図表Ⅱ-78 学童クラブの希望設置場所(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

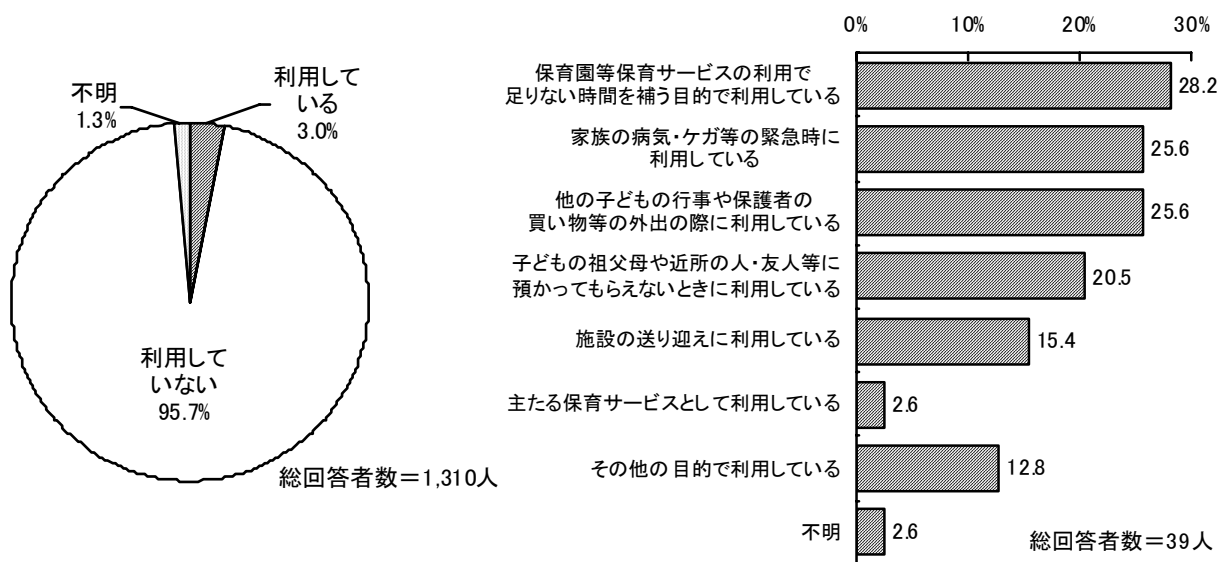
学童クラブを「利用したい」と回答した人に希望設置場所をたずねたところ、「小学校の空き教室」がもっとも高く61.5%を占める。次いで、「児童館・コミュニティ会館」が25.0%で続いている。

(8)ファミリーサポートセンターの利用状況と利用意向(乳幼児:問22・問23)

①ファミリーサポートセンターの利用状況と利用目的

あて名のお子さんについて、現在、ファミリーサポートセンターを利用していますか。(1つに○)
 「1. 利用している」に○をした方にうかがいます。
 どのような目的で利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

図表Ⅱ-79 ファミリーサポートセンターの利用状況(単数回答)・その利用目的(複数回答)



[乳幼児保護者調査]

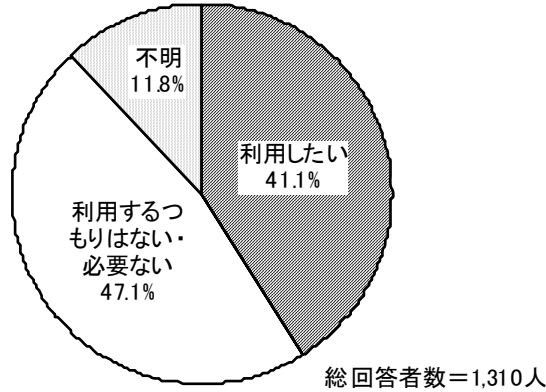
ファミリーサポートセンターの利用状況を見ると、「利用していない」が9割以上を占め、「利用している」は3.0%であった。

「利用している」人の利用目的としては、「保育園等保育サービスの利用で足りない時間を補う目的で利用している」28.2%、「家族の病気・ケガ等の緊急時に利用している」「他の子どもの行事や保護者の買い物等の外出の際に利用している」各25.6%、「子どもの祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」20.5%の順に割合が高くなっている。

②ファミリーサポートセンターの利用意向

あて名のお子さんについて、ファミリーサポートセンターを利用し(続け)たいですか。(1つに○)

図表Ⅱ-80 ファミリーサポートセンターの利用意向(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

ファミリーサポートセンターの利用意向については、41.1%が「利用したい」と回答しており、現在の利用率を大きく上回る結果となった。

図表Ⅱ-81 ファミリーサポートセンターの利用意向

		総回答者数(人)	利用したい	利用するつもりはない・必要ない	不明	
乳幼児保護者調査	全体	1,310	41.1	47.1	11.8	
	子どもの年齢別	満0歳	153	47.7	45.1	7.2
		0歳児	191	49.7	42.4	7.9
		1歳児	180	42.2	45.0	12.8
		2歳児	202	41.1	47.0	11.9
		3歳児	191	38.7	46.1	15.2
		4歳児	199	35.7	52.3	12.1
		5歳児	187	33.2	52.4	14.4
		居住地域別	Aブロック	143	39.9	46.9
	Bブロック		155	34.2	56.8	9.0
	Cブロック		119	36.1	50.4	13.4
	Dブロック		164	38.4	48.2	13.4
	Eブロック		172	40.1	50.0	9.9
	Fブロック		178	50.0	41.0	9.0
Gブロック	168		44.6	41.1	14.3	
Hブロック	202		41.6	46.5	11.9	

[乳幼児保護者調査]

子どもの年齢別にみると、「利用したい」割合は、子どもが満0歳～2歳児の場合には4割台、3歳児以上の場合には3割台となっている。

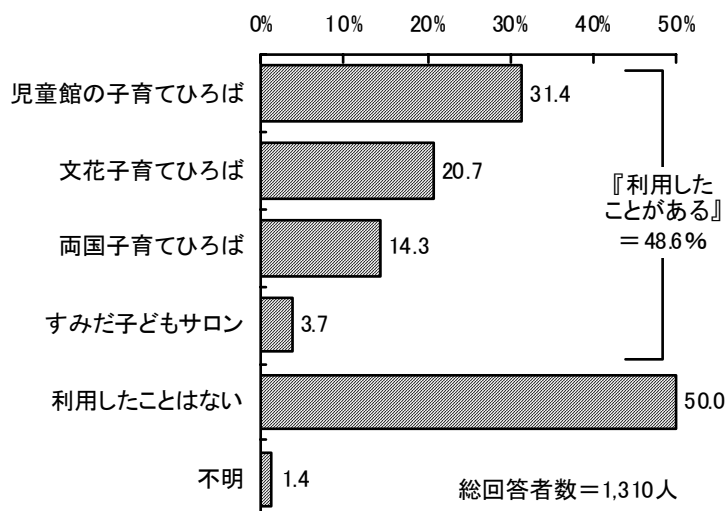
居住地域別にみると、「利用したい」は、Fブロック居住者で5割、E・G・Hブロック居住者で4割台であり、A～Dブロック居住者に比べて高い割合となっている。

(9) 子育てひろばの利用状況と利用意向(乳幼児:問24・問25)

① 子育てひろばの利用状況

この1年間に、子育てひろばを利用したことはありますか。次の中から利用したことのある子育てひろばすべてに○をしてください。

図表Ⅱ-82 子育てひろばの利用状況(複数回答)



[乳幼児保護者調査]

子育てひろばの利用経験をみると、50.0%が「利用したことはない」と回答しており、『利用したことがある』(100%から「利用したことはない」と「不明」を除いた割合)は、48.6%となっている。

利用したことのある子育てひろばは、「児童館の子育てひろば」が31.4%、「文花子育てひろば」が20.7%、「両国子育てひろば」が14.3%、「すみだ子どもサロン」は3.7%となっている。

図表Ⅱ-83 子育てひろばの利用状況

		総回答者数(人)	児童館の子育てひろば	文花子育てひろば	両国子育てひろば	すみだ子どもサロン	利用したことはない	不明	『利用したことがある』	
乳幼児保護者調査	全体	1,310	31.4	20.7	14.3	3.7	50.0	1.4	48.6	
	子どもの年齢別	満0歳	153	22.9	11.8	11.8	2.0	60.8	2.0	37.2
		0歳児	191	40.3	23.6	23.6	5.8	37.2	0.5	62.3
		1歳児	180	37.8	26.7	13.9	10.6	39.4	1.7	58.9
		2歳児	202	43.1	26.7	12.9	3.5	41.6	0.0	58.4
		3歳児	191	34.6	24.1	14.7	1.6	46.6	1.0	52.4
		4歳児	199	20.1	16.6	12.6	2.5	62.8	0.5	36.7
		5歳児	187	18.7	14.4	10.7	0.5	63.6	3.7	32.7
	居住地域別	Aブロック	143	32.2	11.9	0.7	0.7	62.9	0.7	36.4
		Bブロック	155	43.2	27.1	1.3	1.3	49.0	0.0	51.0
		Cブロック	119	31.9	33.6	0.0	0.0	47.9	3.4	48.7
		Dブロック	164	32.9	23.2	3.0	1.2	53.0	1.8	45.2
		Eブロック	172	24.4	48.3	1.7	1.2	44.2	1.2	54.6
		Fブロック	178	34.3	6.7	34.8	10.1	47.8	0.6	51.6
		Gブロック	168	26.2	22.0	15.5	6.5	53.6	1.8	44.6
Hブロック	202	28.7	1.0	42.1	6.4	44.1	1.5	54.4		

※:『利用したことがある』=100%-「利用したことはない」-「不明」

[乳幼児保護者調査]

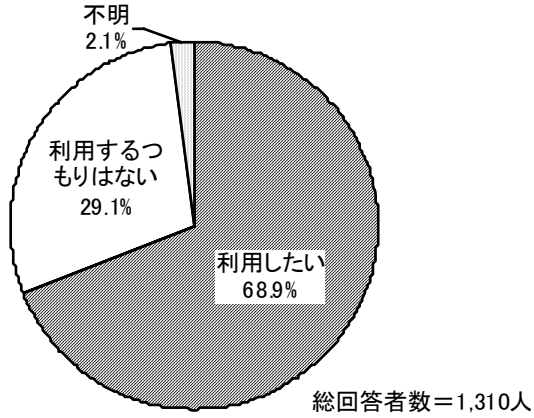
子どもの年齢別にみると、子育てひろばを『利用したことがある』割合は、子どもが0歳児である場合がもっとも高い62.3%、また、1~3歳児の場合にも5割台と半数以上が利用経験があると回答している。

居住地域別にみると、「両国子育てひろば」は、ひろばのあるFブロックの居住者の3割台、Hブロック居住者の4割台が利用したことがあると回答している。「文花子育てひろば」は、ひろばのあるEブロックの居住者で5割弱となっているほか、Cブロック居住者で3割台となっている。「すみだ子どもサロン」は、サロンのあるFブロック居住者で約1割となっている。「児童館の子育てひろば」は、Bブロック居住者において4割台と最も高い。いずれかの子育てひろばを『利用したことがある』割合は、B・E・F・Hブロック居住者で5割を超える一方、Aブロック居住者はもっとも低い36.4%となっている。

②子育てひろばの利用意向

今後、子育てひろばを利用したいと思いますか。(1つに○)

図表Ⅱ-84 子育てひろばの利用意向(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

子育てひろばの利用意向については、68.9%と7割近くが「利用したい」と回答している。

図表Ⅱ-85 子育てひろばの利用意向

		総回答者数(人)	利用したい	利用するつもりはない	不明	
乳幼児保護者調査	全体	1,310	68.9	29.1	2.1	
	子どもの年齢別	満0歳	153	84.3	13.7	2.0
		0歳児	191	85.3	14.1	0.5
		1歳児	180	76.1	22.2	1.7
		2歳児	202	74.3	24.8	1.0
		3歳児	191	66.5	30.4	3.1
		4歳児	199	52.3	46.2	1.5
		5歳児	187	46.0	49.7	4.3
	居住地域別	Aブロック	143	62.9	37.1	0.0
		Bブロック	155	69.7	28.4	1.9
		Cブロック	119	65.5	30.3	4.2
		Dブロック	164	68.3	29.9	1.8
		Eブロック	172	72.1	26.2	1.7
		Fブロック	178	69.7	28.1	2.2
Gブロック		168	66.1	31.5	2.4	
Hブロック	202	73.8	24.3	2.0		

[乳幼児保護者調査]

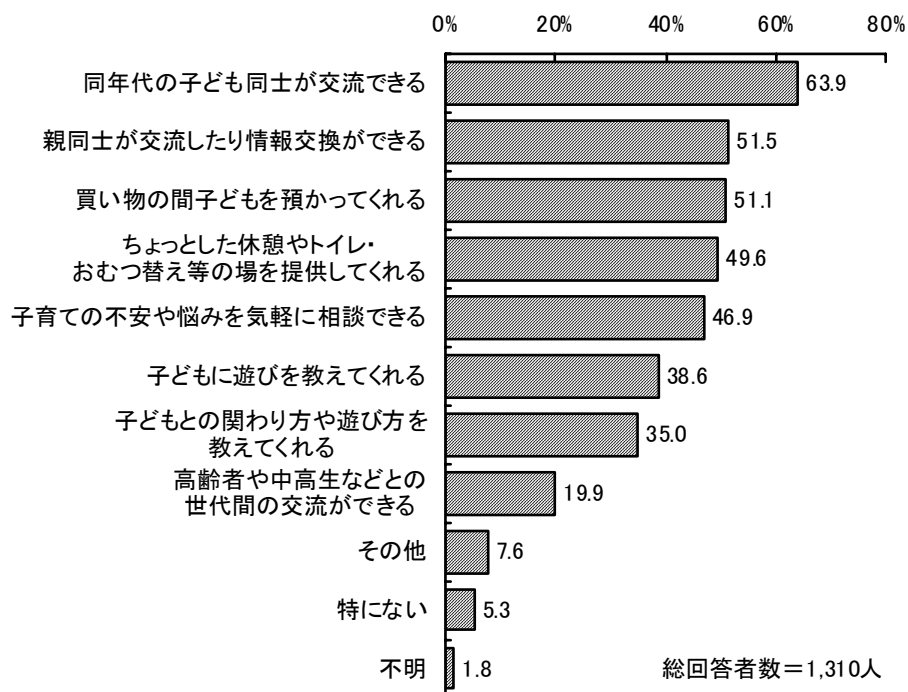
子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が低いほど利用意向が高く、満0歳・0歳児の場合の8割台、1・2歳児の場合の7割台が「利用したい」と回答している。

居住地域別にみると、E・Hブロック居住者において「利用したい」が7割台であり、他の地域居住者に比べて高い割合となっている。

(10) 希望する子育て支援の場や活動(乳幼児:問26)

身近な地域に、どのような子育て支援の場や活動があるとよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

図表Ⅱ-86 希望する子育て支援の場や活動(複数回答)



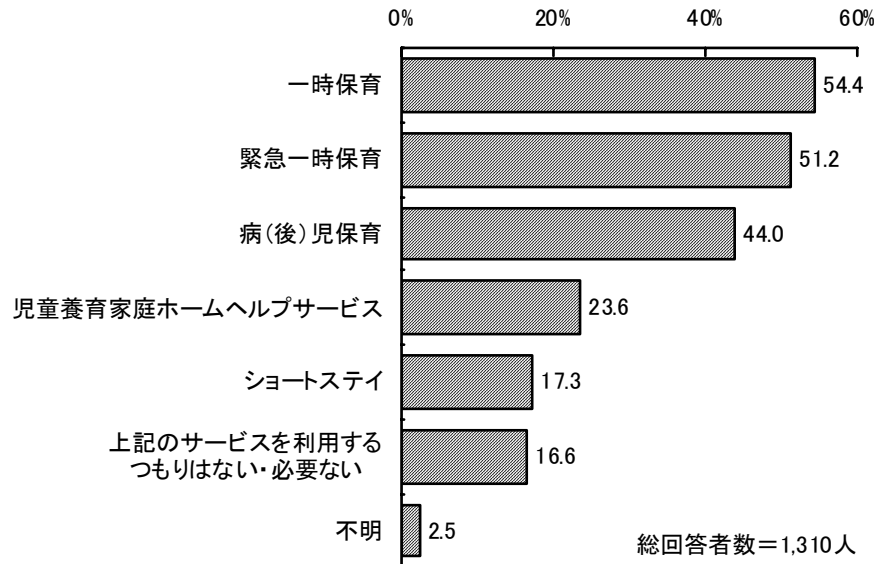
[乳幼児保護者調査]

身近な地域にあるとよいと思う子育て支援の場や活動としては、「同年代の子ども同士が交流できる」「親同士が交流したり情報交換ができる」「買い物の間子どもを預かってくれる」が上位3位であり、これらは半数以上が希望を示す子育て支援の場・活動となっている。次いで、「ちょっとした休憩やトイレ・おむつ替え等の場を提供してくれる」「子育ての不安や悩みを気軽に相談できる」が4割台で続いている。

(11)利用したい保育サービス(乳幼児:問27)

次の保育サービスのうち、利用したいと思うものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表Ⅱ-87 利用したい保育サービス(複数回答)



[乳幼児保護者調査]

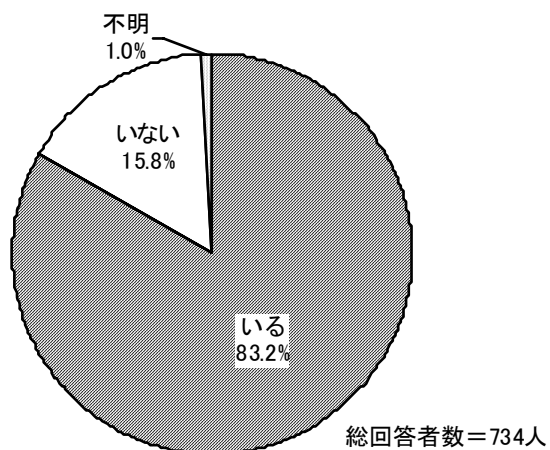
利用したい保育サービスをみると、「一時保育」「緊急一時保育」を半数以上が希望しているのに次いで、「病(後)児保育」が4割台、「児童養育家庭ホームヘルプサービス」が2割台となっている。

5. 小学生の日常生活と学童クラブ等の利用状況・利用意向

(1) かかりつけ医の有無(小学生:問14)

あて名のお子さんにはかかりつけ医がいますか。(1つに○)

図表Ⅱ-88 かかりつけ医の有無(単数回答)



[小学生保護者調査]

小学生のかかりつけ医の有無は、「いる」は83.2%であり、「いない」は15.8%であった。

図表Ⅱ-89 かかりつけ医の有無

		総回答者数(人)	いる	いない	不明	
小学生保護者調査	全体	734	83.2	15.8	1.0	
	子どもの学年別	1年生	131	86.3	13.7	0.0
		2年生	115	83.5	16.5	0.0
		3年生	128	85.9	13.3	0.8
		4年生	124	80.6	18.5	0.8
		5年生	114	83.3	14.9	1.8
		6年生	119	79.8	17.6	2.5

[小学生保護者調査]

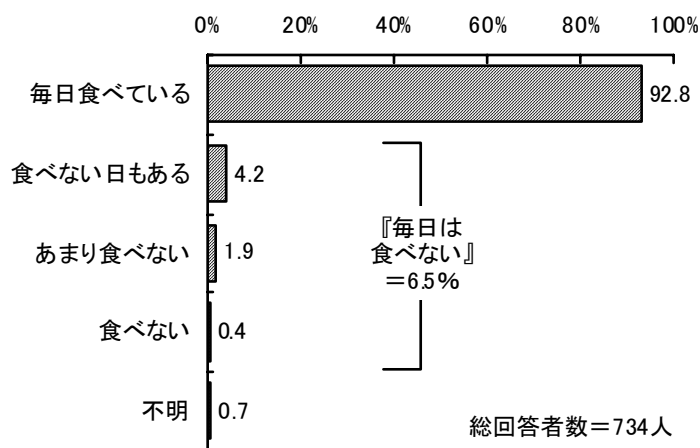
子どもの学年別にみると、かかりつけ医が「いる」割合は、4・6年生では約8割であり、他の学年の子どもに比べて「いない」割合が高くなっている。

(2) 食事のとり方(小学生:問15・16)

①朝食の摂取状況

あて名のお子さんは、毎日朝ごはんを食べていますか。(1つに○)

図表Ⅱ-90 朝食の摂取状況(単数回答)



[小学生保護者調査]

小学生の朝食の摂取状況は、「毎日食べている」が92.8%を占める。「食べない日もある」4.2%、「あまり食べない」1.9%、「食べない」0.4%を合わせた『毎日食べない』割合は6.5%となっている。

図表Ⅱ-91 朝食の摂取状況

		総回答者数(人)	毎日食べている	食べない日もある	あまり食べない	食べない	不明	『毎日食べない』	
小学生保護者調査	全体	734	92.8	4.2	1.9	0.4	0.7	6.5	
	子どもの学年別	1年生	131	92.4	4.6	2.3	0.8	0.0	7.7
		2年生	115	96.5	2.6	0.9	0.0	0.0	3.5
		3年生	128	91.4	5.5	2.3	0.0	0.8	7.8
		4年生	124	94.4	2.4	1.6	0.8	0.8	4.8
		5年生	114	96.5	1.8	0.9	0.0	0.9	2.7
		6年生	119	85.7	8.4	3.4	0.8	1.7	12.6

※:『毎日食べない』=「食べない日もある」+「あまり食べない」+「食べない」

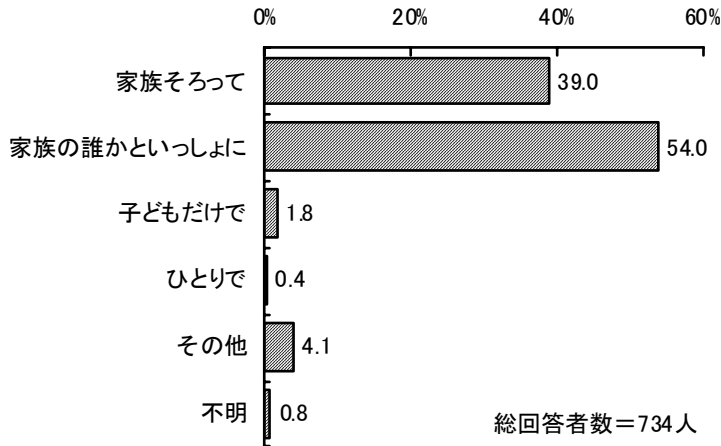
[小学生保護者調査]

子どもの学年別にみると、朝食を「毎日食べている」割合は、1～5年生では9割を超える一方、6年生では8割台となり、『毎日食べない』割合が1割強となっている。

②夕食のとり方

あて名のお子さんは、夕ごはんをどのように食べることが多いですか。(1つに○)

図表Ⅱ-92 夕食のとり方(単数回答)



[小学生保護者調査]

小学生の夕食のとり方は、「家族の誰かといっしょに」が 54.0%と過半数を占め、「家族そろって」は 39.0%であった。また、「子どもだけで」は 1.8%、「ひとりで」は 0.4%となっている。

図表Ⅱ-93 夕食のとり方

		総回答者数(人)	家族そろって	家族の誰かといっしょに	子どもだけで	ひとりで	その他	不明	
小学生保護者調査	全体	734	39.0	54.0	1.8	0.4	4.1	0.8	
	子どもの学年別	1年生	131	37.4	57.3	1.5	0.8	1.5	1.5
		2年生	115	40.0	55.7	0.9	0.9	2.6	0.0
		3年生	128	31.3	61.7	1.6	0.8	3.9	0.8
		4年生	124	38.7	53.2	1.6	0.0	4.0	2.4
		5年生	114	42.1	49.1	1.8	0.0	7.0	0.0
		6年生	119	45.4	45.4	3.4	0.0	5.9	0.0

[小学生保護者調査]

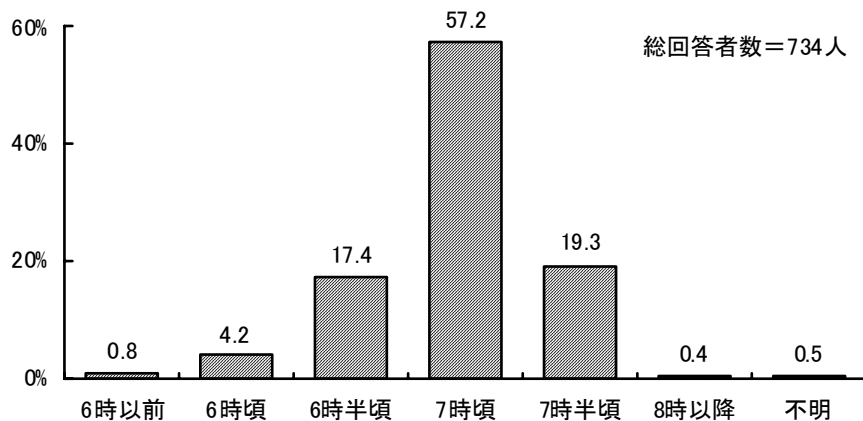
子どもの学年別にみると、「家族そろって」食べている割合は、他に比べて5・6年生に高くあらわれている。

(3) 平日の起床時間と就寝時間(小学生:問17・問18)

① 平日の起床時間

平日、あて名のお子さんは何時頃に起きますか。(1つに○)

図表Ⅱ-94 平日の起床時間(単数回答)



[小学生保護者調査]

小学生の平日の起床時間は、「7時頃」が57.2%と6割近くを占める。次いで、「7時半頃」19.3%、「6時半頃」17.4%となっている。

図表Ⅱ-95 平日の起床時間

		総回答者数(人)	6時以前	6時頃	6時半頃	7時頃	7時半頃	8時以降	不明	
小学生保護者調査	全体	734	0.8	4.2	17.4	57.2	19.3	0.4	0.5	
	子どもの学年別	1年生	131	1.5	4.6	19.8	64.1	8.4	0.0	1.5
		2年生	115	0.0	5.2	13.0	60.0	21.7	0.0	0.0
		3年生	128	0.8	3.9	18.0	55.5	20.3	0.8	0.8
		4年生	124	0.8	4.0	17.7	58.1	18.5	0.0	0.8
		5年生	114	1.8	3.5	18.4	55.3	21.1	0.0	0.0
		6年生	119	0.0	4.2	17.6	48.7	27.7	1.7	0.0

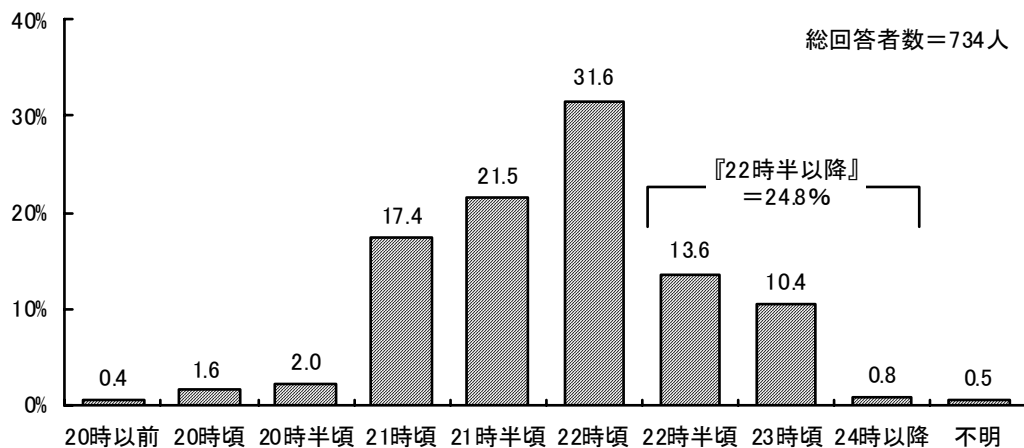
[小学生保護者調査]

子どもの学年別にみると、どの学年の子どもにおいても「7時頃」に起床している割合がもっとも高いものの、1年生の64.1%から、2年生では6割、3～5年生では5割台となり、「7時半頃」の割合が高くなる。6年生では「7時頃」は5割弱であり3割弱が「7時半頃」となっている。

②平日の就寝時間

平日、あて名のお子さんは何時頃に寝ますか。(1つに○)

図表Ⅱ-96 平日の就寝時間(単数回答)



[小学生保護者調査]

小学生の平日の就寝時間は、「22時頃」31.6%、「21時半頃」21.5%、「21時頃」17.4%の順であり、これらを合わせた『21時頃～22時頃』に就寝している割合が約7割を占める。

一方で、24.8%と約4人に1人は、『22時半以降』と回答している。

図表Ⅱ-97 平日の就寝時間

		総回答者数(人)	20時以前	20時頃	20時半頃	21時頃	21時半頃	22時頃	22時半頃	23時頃	24時以降	不明	『22時半以降』	
小学生保護者調査	全体	734	0.4	1.6	2.0	17.4	21.5	31.6	13.6	10.4	0.8	0.5	24.8	
	子どもの学年別	1年生	131	1.5	3.8	3.1	32.1	30.5	20.6	6.1	0.8	0.8	0.8	7.7
		2年生	115	0.0	1.7	4.3	31.3	24.3	31.3	2.6	3.5	0.0	0.9	6.1
		3年生	128	0.0	0.8	0.8	15.6	26.6	34.4	16.4	4.7	0.0	0.8	21.1
		4年生	124	0.0	1.6	2.4	14.5	21.0	33.9	16.1	9.7	0.0	0.8	25.8
		5年生	114	0.0	0.9	1.8	9.6	14.0	40.4	15.8	16.7	0.9	0.0	33.4
		6年生	119	0.8	0.8	0.0	0.8	10.9	30.3	25.2	27.7	3.4	0.0	56.3

※:『22時半以降』=「22時半頃」+「23時頃」+「24時以降」

[小学生保護者調査]

子どもの学年別にみると、1・2年生の就寝時間は「21時頃」、3年生以上では「22時頃」の割合がそれぞれもっとも高い。学年が高くなるほど就寝時間が遅い割合が増加し、『22時半以降』の割合は、3・4年生で2割台、5年生では3割台となる。6年生においては、「23時以降」27.7%、「22時半頃」25.2%であり、『22時半以降』が5割台を占める結果となっている。

(4) 平日の放課後の過ごし方と土曜日の過ごし方(小学生:問19)

あて名のお子さんは、①月曜日から金曜日の放課後、②学校がお休みの土曜日に、どのように過ごすことが多いですか。各時間ごとに下表の選択肢の中から主な過ごし方を1つずつ選んで、回答欄に番号を記入してください。

図表Ⅱ-98 平日の放課後の過ごし方(各単数回答)

		総回答者数(人)	学校にいる (部活動やクラブ活動を含む)	学童クラブに行く	塾や習い事に行く	外で遊ぶ	友達と公園や広場など	児童館に行つて遊ぶ	図書館、コミュニティ会館など 地域の施設に行く	友達の家に行く	自分の家で友達と過ごす	ゲームセンター・ファーストフード店等	地域のクラブ活動(スポーツ活動等)をする	子ども会活動・ボランティア活動等をする	家族と過ごす	自分の家でひとりで過ごす	その他	不明
小学生保護者調査	14～16時	734	44.8	14.7	4.0	16.9	1.5	0.7	2.3	1.5	0.0	0.3	0.0	7.1	1.9	1.2	3.1	
	16～18時	734	0.8	11.2	37.6	15.7	3.0	0.4	3.7	3.3	0.0	1.0	0.0	17.3	2.7	2.0	1.4	
	18～20時	734	0.0	0.3	14.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	1.6	0.0	78.3	0.8	2.2	2.0	
	20時以降	734	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.1	0.0	93.6	0.3	1.1	2.2	

[小学生保護者調査]

小学生の平日の過ごし方は、14～16時は「学校にいる(部活動やクラブ活動を含む)」44.8%、「友達と公園や広場など外で遊ぶ」16.9%、「学童クラブに行く」14.7%、16～18時は「塾や習い事に行く」37.6%、「家族と過ごす」17.3%などが主な過ごし方となっている。

18時以降は、「家族と過ごす」が大半を占めるが、18～20時では「塾や習い事に行く」が14.2%と1割台みられる。

図表Ⅱ-99 土曜日の過ごし方(各単数回答)

		総回答者数(人)	学校にいる (部活動やクラブ活動を含む)	児童クラブに行く	塾や習い事に行く	外で遊ぶ	友達と公園や広場など	児童館に行つて遊ぶ	図書館、コミュニティ会館など 地域の施設に行く	友達の家に行く	自分の家で友達と過ごす	ゲームセンター・ファーストフ ード店等	地域のクラブ活動(スポーツ活 動等)をする	子ども会活動・ボランティア活 動等をする	家族と過ごす	自分の家でひとりで過ごす	その他	不明
小学生保護者調査	14～16時	734	0.5	0.4	14.9	20.2	2.5	2.2	1.9	1.6	0.1	9.4	0.3	40.6	1.1	2.6	1.8	
	16～18時	734	0.4	0.3	10.2	11.3	2.2	1.0	2.0	2.0	0.1	5.3	0.0	59.0	1.0	2.9	2.3	
	18～20時	734	0.0	0.1	2.7	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.1	0.4	0.0	91.8	0.1	1.6	2.5	
	20時以降	734	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.1	0.0	94.7	0.3	1.6	2.5	

[小学生保護者調査]

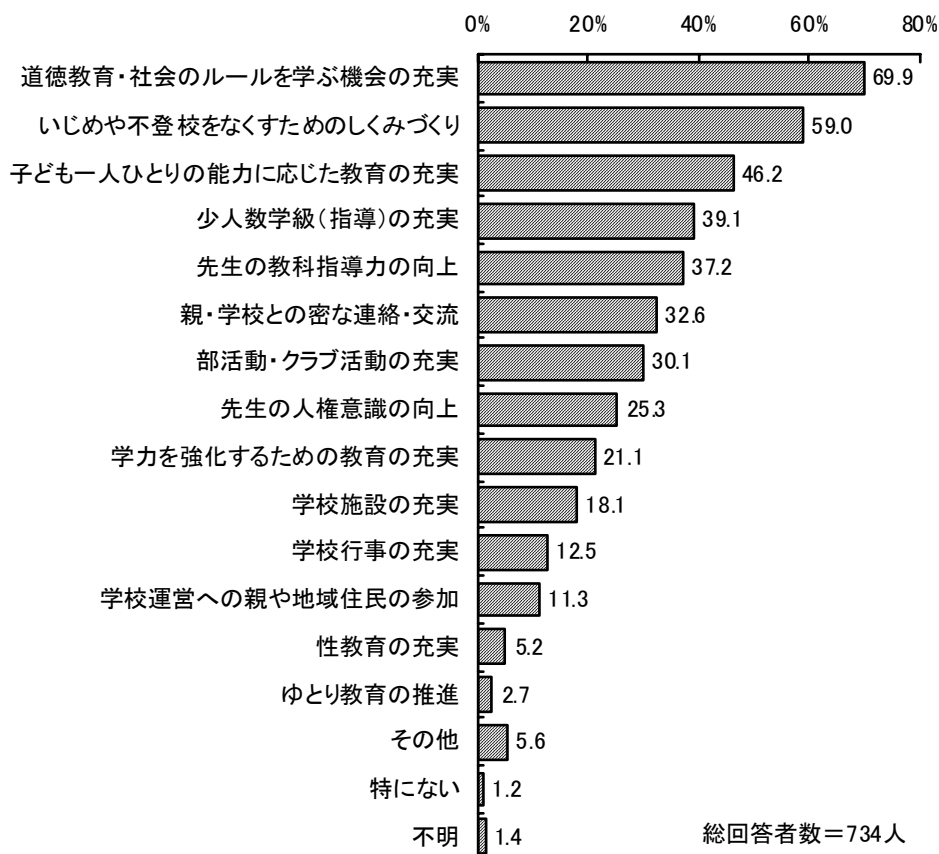
小学生の土曜日の過ごし方は、14～16時は「家族と過ごす」40.6%に次いで、20.2%が「友達と公園や広場など外で遊ぶ」、14.9%が「塾や習い事に行く」となっている。また、約1割が「地域のクラブ活動(スポーツ活動等)をする」と回答している。

「16～18時は「家族と過ごす」が約6割となり、「友達と公園や広場など外で遊ぶ」「塾や習い事に行く」はそれぞれ約1割となっている。18時以降は平日同様、「家族と過ごす」が大半を占めている。

(5)学校の教育環境に対する意見(小学生:問20)

学校の教育環境をよりよくするために、力を入れるべきと思うことは何ですか。
(あてはまるもの5つまでに○)

図表Ⅱ-100 学校の教育環境に対する意見(複数回答)



[小学生保護者調査]

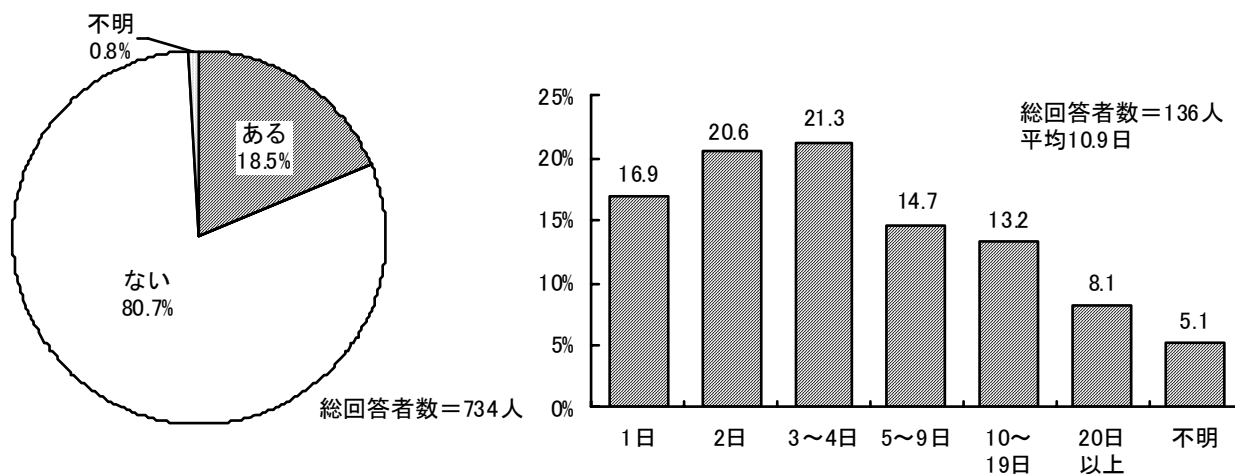
学校の教育環境に対する意見の第1位は、「道徳教育・社会のルールを学ぶ機会の充実」であり、69.9%と約7割からあげられている。次いで、「いじめや不登校をなくすためのしくみづくり」59.0%、「子ども一人ひとりの能力に応じた教育の充実」46.2%、「少人数学級(指導)の充実」39.1%、「先生の教科指導力の向上」37.2%の順で続いている。

(6)学校生活(小学生:問21・問21-1)

①学校に行きたがらなかった経験とその日数

この1年の間に、あて名のお子さんが学校に行きたがらなかったことはありますか。(1つに○)

図表Ⅱ-101 学校に行きたがらなかった経験(単数回答)・その日数(単数回答)



[小学生保護者調査]

子どもが学校に行きたがらなかったことが「ある」割合は18.5%、2割弱となっている。

学校に行きたがらなかった日数は、『4日未満』が58.8%と6割弱を占める一方、「20日以上」という回答も1割弱みられる。平均日数は10.9日となっている。

図表Ⅱ-102 学校に行きたがらなかった経験

		総回答者数(人)	ある	ない	不明	
小学生保護者調査	全体	734	18.5	80.7	0.8	
	子どもの学年別	1年生	131	28.2	71.0	0.8
		2年生	115	20.0	80.0	0.0
		3年生	128	14.1	85.2	0.8
		4年生	124	16.1	82.3	1.6
		5年生	114	10.5	88.6	0.9
		6年生	119	21.0	78.2	0.8

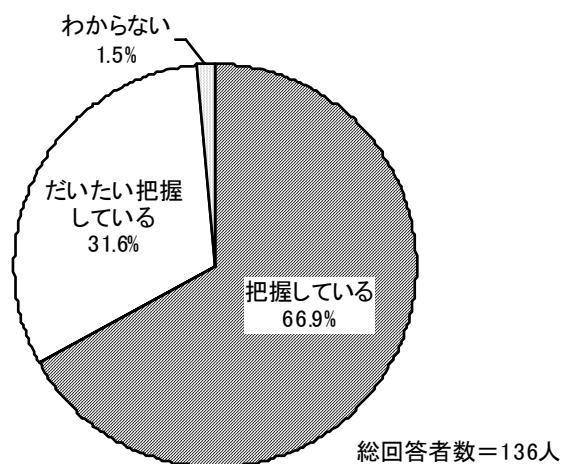
[小学生保護者調査]

子どもの学年別にみると、行きたがらなかった経験が「ある」割合は、1年生で28.2%と3割弱を占め、他の学年の子どもに比べて高い割合となっている。

②学校に行きたがらなかった理由の把握状況

「1. ある」に○をした方にかがいます。
あなたは、お子さんが学校に行きたがらなかった理由を把握していますか。(1つに○)

図表Ⅱ-103 学校に行きたがらなかった理由の把握状況(単数回答)



[小学生保護者調査]

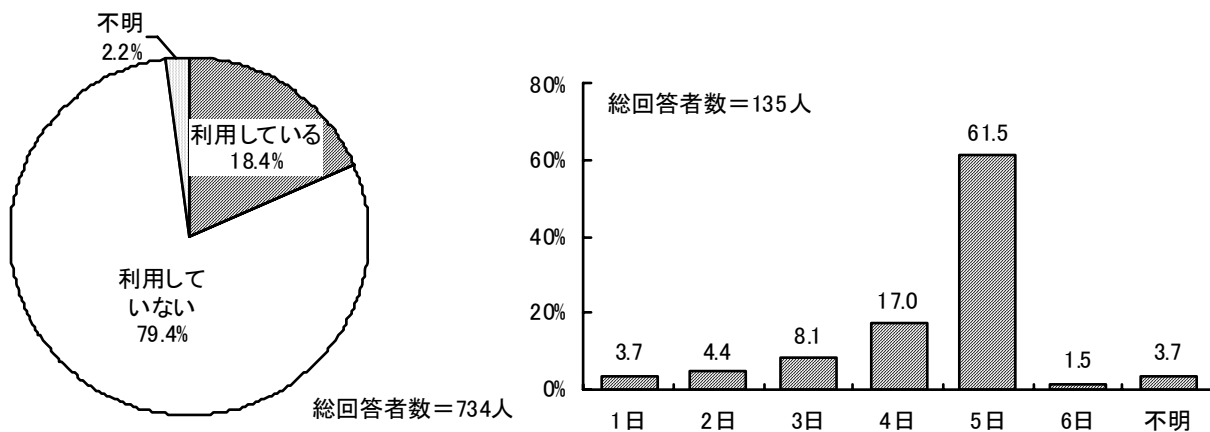
子どもが学校に行きたがらなかったことが「ある」と回答した人に、その理由の把握状況をたずねたところ、「把握している」が66.9%、「だいたい把握している」31.6%であり、「わからない」は1.5%であった。

(7)学童クラブの利用状況と利用意向(小学生:問22~問23-1)

①学童クラブの利用状況

あて名のお子さんについて、現在、学童クラブを利用していますか。(1つに○)

図表Ⅱ-104 学童クラブの利用状況(単数回答)・学童クラブの利用日数(単数回答)



[小学生保護者調査]

小学生の学童クラブの利用状況は、「利用していない」が約8割を占め、「利用している」は18.4%となっている。

「利用している」場合の利用日数は、「5日」が61.5%、「4日」17.0%、「3日」8.1%などとなっている。

図表Ⅱ-105 学童クラブの利用状況

		総回答者数(人)	利用している	利用していない	不明
全 体		734	18.4	79.4	2.2
子どもの学年別	1年生	131	37.4	61.1	1.5
	2年生	115	33.0	63.5	3.5
	3年生	128	26.6	72.7	0.8
	4年生	124	4.8	91.1	4.0
	5年生	114	2.6	94.7	2.6
	6年生	119	4.2	95.0	0.8
	小学生保護者調査 居住地域別	Aブロック	92	19.6	79.3
Bブロック		86	15.1	82.6	2.3
Cブロック		67	26.9	70.1	3.0
Dブロック		80	15.0	78.8	6.3
Eブロック		103	25.2	73.8	1.0
Fブロック		111	15.3	82.0	2.7
Gブロック		92	19.6	79.3	1.1
Hブロック		99	13.1	85.9	1.0
両親の就労形態別	ひとり親	75	18.7	78.7	2.7
	フルタイム共働き	191	40.8	58.1	1.0
	フルタイム・パート共働き	228	17.5	80.3	2.2
	専業主婦(夫)	218	1.4	95.9	2.8
	その他	10	0.0	90.0	10.0

[小学生保護者調査]

子どもの学年別にみると、学童クラブを「利用している」割合は、1年生がもっとも高い37.4%、2年生が33.0%、3年生が26.6%、4年生以上では5%未満となっている。

居住地域別にみると、C・Eブロックは、「利用している」が25%を超え、他の地域に比べて学童クラブの利用率が高い地域となっている。反対に、もっとも利用率が低いのはHブロックの13.1%であった。

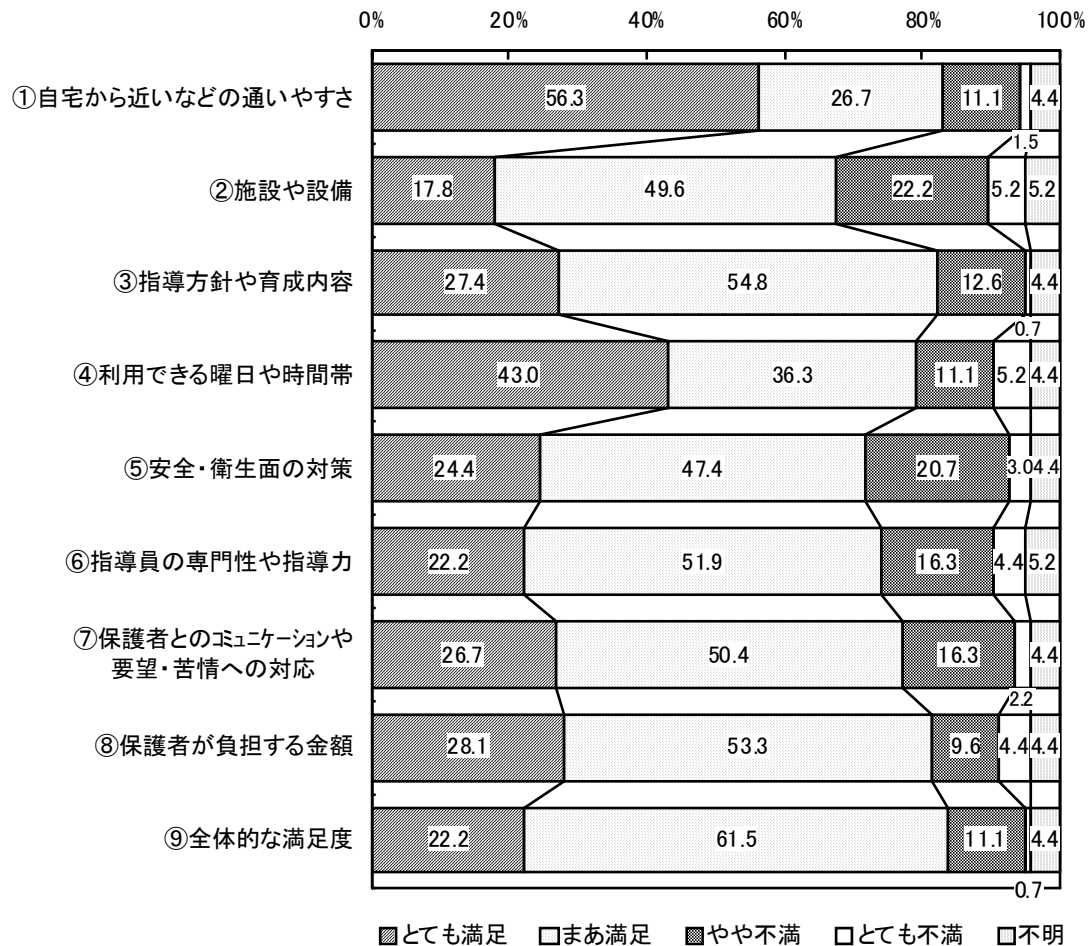
両親の就労形態別にみると、「利用している」割合は、フルタイム共働き家庭の約4割、ひとり親及びフルタイム・パート共働き家庭では2割弱となっている。

②学童クラブに対する評価

現在利用している学童クラブについて、どのように感じていますか。

(①～⑨について、それぞれ1つに○)

図表Ⅱ-106 学童クラブに対する評価(各単数回答)



総回答者数=135人

[小学生保護者調査]

子どもが利用している学童クラブに対する評価について『満足』（「とても満足」と「まあ満足」を合わせた割合）が高い順にみると、“①自宅から近いなどの通いやすさ”“③指導方針や育成内容”“⑧保護者が負担する金額”が上位3位であり、これらはいずれも8割以上が『満足』と回答している。次いで、“④利用できる曜日や時間帯”“⑦保護者とのコミュニケーションや要望・苦情への対応”“⑥指導員の専門性や指導力”“⑤安全・衛生面の対策”が7割台で続いている。もっとも評価が低いのは“②施設や設備”であり、『満足』は67.4%、『不満足』（「やや不満」と「とても不満」を合わせた割合）は27.4%となっている。

“⑨全体的な満足度”は、『満足』が83.7%、『不満足』が11.8%であった。

図表Ⅱ-107 学童クラブに対する評価

			総 回 答 者 数 (人)	と と も 満 足	ま あ 満 足	や や 不 満	と と も 不 満	『満 足』	『不 満 足』
小学生保護者調査	①自宅から近い などの通いやすさ	Aブロック	18	61.1	16.7	16.7	0.0	77.8	16.7
		Bブロック	13	53.8	38.5	0.0	7.7	92.3	7.7
		Cブロック	18	50.0	33.3	11.1	5.6	83.3	16.7
		Dブロック	12	25.0	66.7	8.3	0.0	91.7	8.3
		Eブロック	26	61.5	23.1	11.5	0.0	84.6	11.5
		Fブロック	17	70.6	0.0	17.6	0.0	70.6	17.6
		Gブロック	18	44.4	38.9	5.6	0.0	83.3	5.6
		Hブロック	13	76.9	7.7	15.4	0.0	84.6	15.4
	②施設や設備	Aブロック	18	22.2	55.6	16.7	0.0	77.8	16.7
		Bブロック	13	15.4	69.2	15.4	0.0	84.6	15.4
		Cブロック	18	11.1	55.6	16.7	16.7	66.7	33.4
		Dブロック	12	8.3	66.7	16.7	8.3	75.0	25.0
		Eブロック	26	23.1	38.5	30.8	3.8	61.6	34.6
		Fブロック	17	29.4	29.4	29.4	0.0	58.8	29.4
		Gブロック	18	16.7	44.4	16.7	5.6	61.1	22.3
		Hブロック	13	7.7	53.8	30.8	7.7	61.5	38.5
	③指導方針や 育成内容	Aブロック	18	33.3	50.0	11.1	0.0	83.3	11.1
		Bブロック	13	23.1	69.2	7.7	0.0	92.3	7.7
		Cブロック	18	22.2	66.7	11.1	0.0	88.9	11.1
		Dブロック	12	16.7	58.3	25.0	0.0	75.0	25.0
		Eブロック	26	34.6	38.5	23.1	0.0	73.1	23.1
		Fブロック	17	29.4	52.9	5.9	0.0	82.3	5.9
		Gブロック	18	27.8	50.0	5.6	5.6	77.8	11.2
		Hブロック	13	23.1	69.2	7.7	0.0	92.3	7.7
	④利用できる 曜日や時間帯	Aブロック	18	50.0	16.7	27.8	0.0	66.7	27.8
		Bブロック	13	61.5	23.1	15.4	0.0	84.6	15.4
		Cブロック	18	22.2	55.6	11.1	11.1	77.8	22.2
		Dブロック	12	25.0	58.3	8.3	8.3	83.3	16.6
		Eブロック	26	50.0	38.5	7.7	0.0	88.5	7.7
		Fブロック	17	47.1	35.3	0.0	5.9	82.4	5.9
		Gブロック	18	33.3	38.9	11.1	5.6	72.2	16.7
		Hブロック	13	53.8	23.1	7.7	15.4	76.9	23.1
⑤安全・衛生 面の対策	Aブロック	18	33.3	50.0	11.1	0.0	83.3	11.1	
	Bブロック	13	30.8	38.5	30.8	0.0	69.3	30.8	
	Cブロック	18	11.1	55.6	22.2	11.1	66.7	33.3	
	Dブロック	12	16.7	58.3	25.0	0.0	75.0	25.0	
	Eブロック	26	30.8	38.5	26.9	0.0	69.3	26.9	
	Fブロック	17	23.5	47.1	11.8	5.9	70.6	17.7	
	Gブロック	18	22.2	50.0	11.1	5.6	72.2	16.7	
	Hブロック	13	23.1	46.2	30.8	0.0	69.3	30.8	

		総回答者数(人)	とても満足	まあ満足	やや不満	とても不満	『満足』	『不満足』	
小学生保護者調査	⑥指導員の専門性や指導力	Aブロック	18	33.3	50.0	11.1	0.0	83.3	11.1
		Bブロック	13	7.7	84.6	7.7	0.0	92.3	7.7
		Cブロック	18	16.7	61.1	16.7	5.6	77.8	22.3
		Dブロック	12	16.7	58.3	16.7	8.3	75.0	25.0
		Eブロック	26	30.8	34.6	30.8	0.0	65.4	30.8
		Fブロック	17	29.4	47.1	5.9	5.9	76.5	11.8
		Gブロック	18	11.1	44.4	16.7	11.1	55.5	27.8
		Hブロック	13	23.1	53.8	15.4	7.7	76.9	23.1
	⑦保護者とのコミュニケーションや要望・苦情への対応	Aブロック	18	27.8	50.0	16.7	0.0	77.8	16.7
		Bブロック	13	23.1	69.2	7.7	0.0	92.3	7.7
		Cブロック	18	27.8	55.6	11.1	5.6	83.4	16.7
		Dブロック	12	16.7	58.3	16.7	8.3	75.0	25.0
		Eブロック	26	38.5	34.6	23.1	0.0	73.1	23.1
		Fブロック	17	23.5	52.9	11.8	0.0	76.4	11.8
		Gブロック	18	22.2	44.4	22.2	0.0	66.6	22.2
		Hブロック	13	23.1	53.8	15.4	7.7	76.9	23.1
	⑧保護者が負担する金額	Aブロック	18	44.4	44.4	5.6	0.0	88.8	5.6
		Bブロック	13	23.1	53.8	15.4	7.7	76.9	23.1
		Cブロック	18	16.7	72.2	11.1	0.0	88.9	11.1
		Dブロック	12	25.0	50.0	8.3	16.7	75.0	25.0
		Eブロック	26	23.1	50.0	15.4	7.7	73.1	23.1
		Fブロック	17	23.5	58.8	5.9	0.0	82.3	5.9
		Gブロック	18	38.9	38.9	5.6	5.6	77.8	11.2
		Hブロック	13	30.8	61.5	7.7	0.0	92.3	7.7
	⑨全体的な満足度	Aブロック	18	27.8	66.7	0.0	0.0	94.5	0.0
		Bブロック	13	30.8	61.5	7.7	0.0	92.3	7.7
		Cブロック	18	5.6	83.3	5.6	5.6	88.9	11.2
		Dブロック	12	25.0	58.3	16.7	0.0	83.3	16.7
Eブロック		26	26.9	57.7	11.5	0.0	84.6	11.5	
Fブロック		17	23.5	58.8	5.9	0.0	82.3	5.9	
Gブロック		18	22.2	44.4	22.2	0.0	66.6	22.2	
Hブロック		13	15.4	61.5	23.1	0.0	76.9	23.1	

※:「不明」は掲載を省略

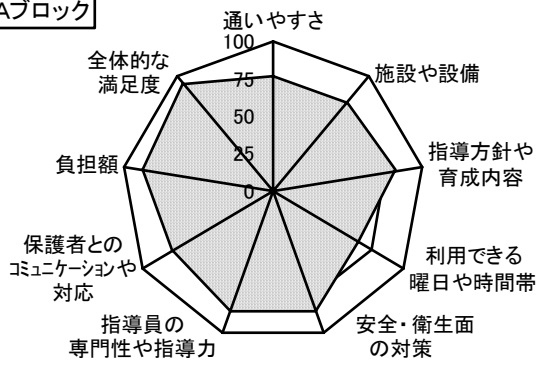
※:『満足』=「とても満足」+「まあ満足」

※:『不満足』=「やや不満」+「とても不満」

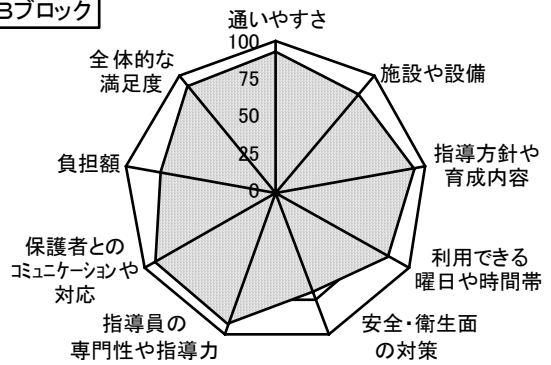
※:網掛けは、①～⑨それぞれにおいて、『満足』『不満足』が最も高い数値

図表Ⅱ-108 学童クラブに対する評価—『満足』の割合

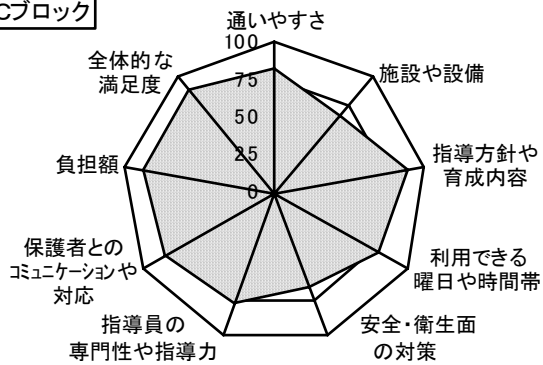
Aブロック



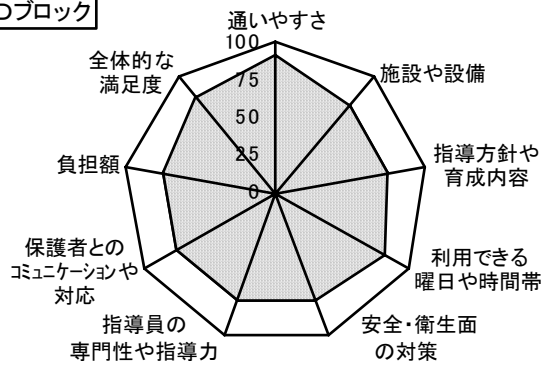
Bブロック



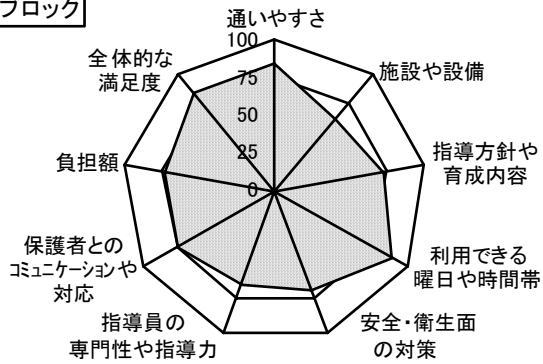
Cブロック



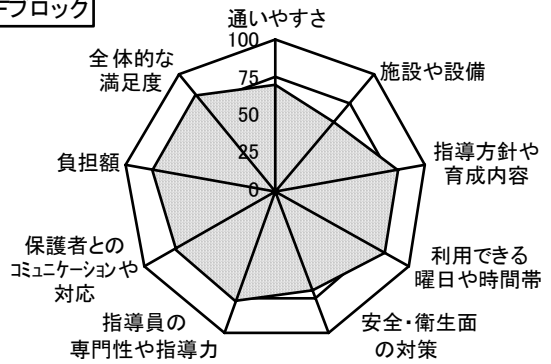
Dブロック



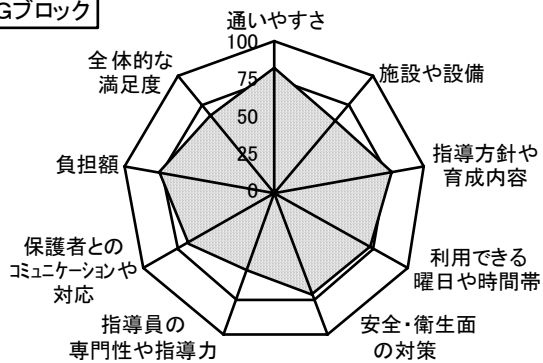
Eブロック



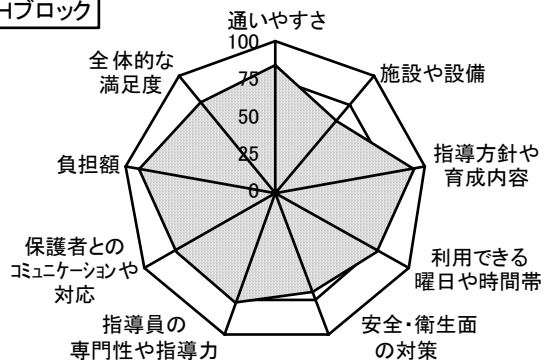
Fブロック



Gブロック



Hブロック



[小学生保護者調査]

学童クラブに対する評価を居住地別にみると、Aブロックは“④利用できる曜日や時間帯”の『満足』は6割台であるものの、他の項目は7～9割台であり、“⑨全体的な満足度”は9割台となっている。

Bブロックは、ほとんどの項目を8～9割台が『満足』と評価しており、Aブロック同様、“⑨全体的な満足度”は9割を超える。

Cブロックは、“②施設や設備”“⑤安全・衛生面の対策”の『満足』が6割台、他の項目は7～8割となっており、“⑨全体的な満足度”は88.9%である。

Dブロックは、すべての項目に7割以上が『満足』と回答しており、“⑨全体的な満足度”は83.3%である。

Eブロックは、“②施設や設備”“⑤安全・衛生面の対策”“⑥指導員の専門性や指導力”の『満足』が6割台、他の項目は7～8割であり、“⑨全体的な満足度”は84.6%である。

Fブロックは、“②施設や設備”に『満足』が5割台、他の項目は7～8割台であり、“⑨全体的な満足度”は82.3%である。

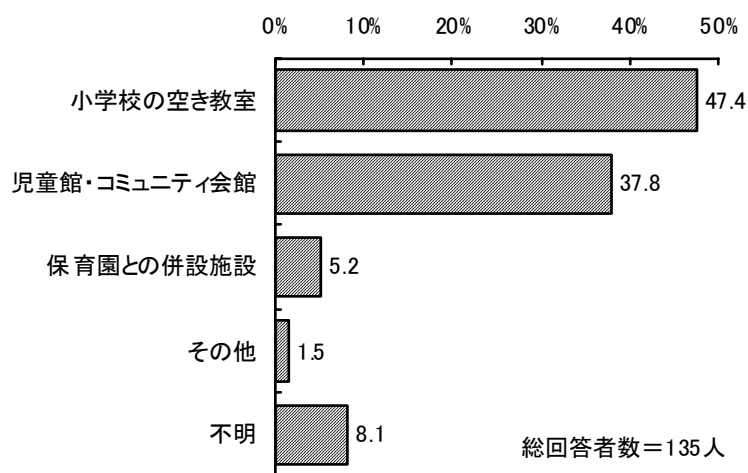
Gブロックは、“⑥指導員の専門性や指導力”の『満足』が5割台、“②施設や設備”“⑦保護者とのコミュニケーションや要望・苦情への対応”が6割台であり、“⑨全体的な満足度”は6割台と、他の地域に比べてもっとも低い。

Hブロックは、“②施設や設備”“⑤安全・衛生面の対策”の『満足』が6割台である一方、“③指導方針や育成内容”“⑧保護者が負担する金額”は9割台であり、“⑨全体的な満足度”は7割台となっている。

③学童クラブの希望設置場所

学童クラブは、どのような場所にあるとよいと思いますか。(1つに○)

図表Ⅱ-109 学童クラブの希望設置場所(単数回答)



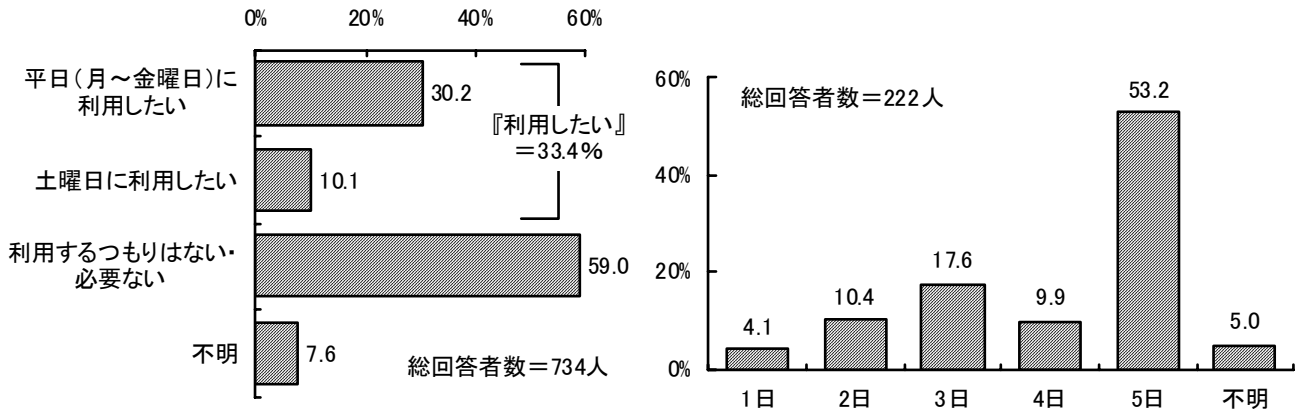
[小学生保護者調査]

学童クラブの利用者が希望する学童クラブ設置場所は、「小学校の空き教室」47.4%がもっとも高く、次いで「児童館・コミュニティ会館」37.8%となっている。

④学童クラブの利用意向と平日の利用希望日数

あて名のお子さんの、学童クラブの利用について、実際にはどのようにしたいと考えていますか。
(あてはまるものすべてに○)

図表Ⅱ-110 学童クラブの利用意向(複数回答)・学童クラブの平日利用希望日数(単数回答)



[小学生保護者調査]

学童クラブの利用意向について、「利用するつもりはない・必要ない」は59.0%であり、33.4%が『利用したい』(100%から「利用するつもりはない・必要ない」と「不明」を除いた割合)と回答している。

「平日(月～金曜日)に利用したい」は30.2%、「土曜日に利用したい」は10.1%となっている。

平日の利用を希望した場合の利用希望日数は、「5日」が53.2%、次いで「3日」17.6%、「2日」10.4%となっている。

図表Ⅱ-111 学童クラブの利用意向

		総回答者数(人)	平日(月～金曜日)に 利用したい	土曜日に利用したい	利用するつもりはない・ 必要ない	不明	『利用したい』	
小学生保護者調査	全 体	734	30.2	10.1	59.0	7.6	33.4	
	子どもの学年別	1年生	131	51.1	12.2	41.2	6.1	52.7
		2年生	115	39.1	13.0	47.8	10.4	41.8
		3年生	128	35.9	9.4	57.0	3.9	39.1
		4年生	124	18.5	8.1	67.7	8.9	23.4
		5年生	114	16.7	8.8	74.6	5.3	20.1
		6年生	119	17.6	9.2	67.2	11.8	21.0
	居住地域別	Aブロック	92	38.0	8.7	54.3	5.4	40.3
		Bブロック	86	31.4	5.8	58.1	7.0	34.9
		Cブロック	67	32.8	16.4	49.3	10.4	40.3
		Dブロック	80	26.3	10.0	61.3	11.3	27.4
		Eブロック	103	31.1	10.7	51.5	10.7	37.8
		Fブロック	111	24.3	6.3	65.8	7.2	27.0
		Gブロック	92	30.4	10.9	65.2	3.3	31.5
		Hブロック	99	30.3	14.1	61.6	7.1	31.3
	両親の就労形態別	ひとり親	75	34.7	17.3	46.7	10.7	42.6
フルタイム共働き		191	48.2	15.7	39.8	7.9	52.3	
フルタイム・パート共働き		228	30.7	9.6	59.6	7.0	33.4	
専業主婦(夫)		218	14.2	3.7	78.0	6.9	15.1	
その他		10	10.0	10.0	60.0	20.0	20.0	

※:『利用したい』=100%-「利用するつもりはない・必要ない」-「不明」

[小学生保護者調査]

子どもの学年別にみると、「平日（月～金曜日）に利用したい」割合は、1年生の51.1%と約半数、2・3年生は3割台、4年生以上では1割台であり、いずれも現在利用している割合に比べて高くなっている。「土曜日に利用したい」は、1・2年生の1割強、3年生の約1割を占める。

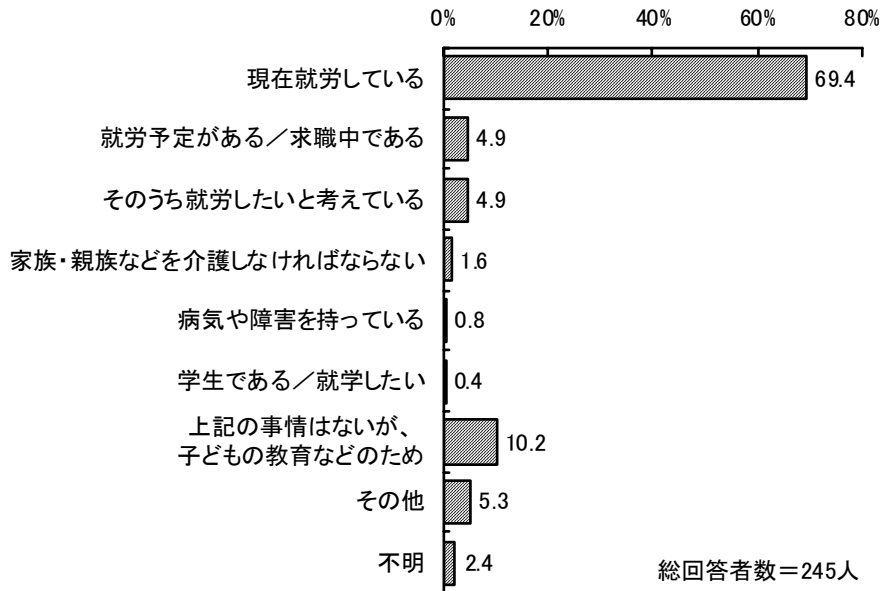
居住地域別にみると、「平日（月～金曜日）に利用したい」割合がもっとも高いのはAブロック居住者の38.0%、次いでCブロック32.8%、Bブロック31.4%の順となっている。また、「土曜日に利用したい」は、C・Hブロック居住者において15%前後を占め、他の地域に比べて利用意向が高くあらわれている。

両親の就労形態別にみると、フルタイム共働き家庭の48.2%、ひとり親家庭の34.7%が「平日（月～金曜日）に利用したい」と回答しており、他に比べて高い割合となっている。

⑤学童クラブを利用したい理由

「1」または「2」に○をした方にうかがいます。
学童クラブを利用し(続け)たい理由は何ですか。(主な理由1つだけに○)

図表Ⅱ-112 学童クラブを利用したい理由(単数回答)



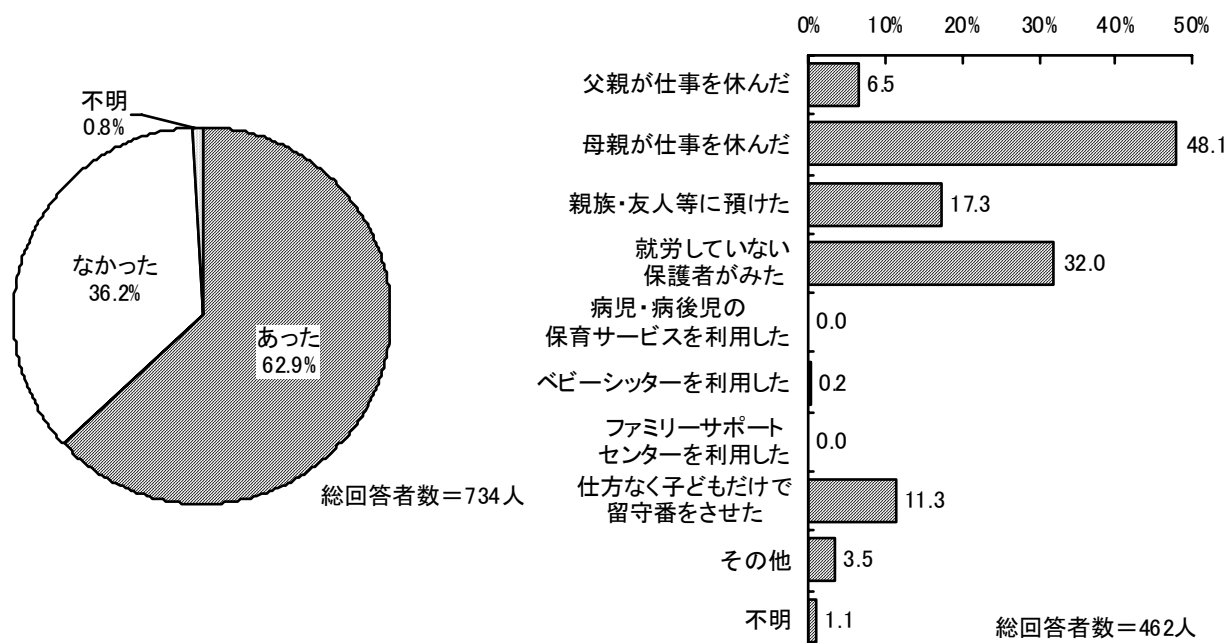
[小学生保護者調査]

学童クラブを『利用したい』と回答した人の、利用したい理由は、「現在就労している」が 69.4%と約7割を占める。次いで、「上記の事情はないが、子どもの教育などのため」10.2%、「就労予定がある／求職中である」「そのうち就労したいと考えている」各4.9%の順で続いている。

(8) 病気やケガで学校を休んだ経験と対応(小学生:問24～問24-2)

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありましたか。(1つに○)
 「1. あった」に○をした方にうかがいます。この1年間の対処方法すべてに○をし、それぞれのおおむねの日数をご記入ください。(半日程度も1日とカウントしてください)
 「1～3」に○をした方にうかがいます。そのうち、できれば病児・病後児を預かってくれる保育サービスを利用したいと思われた日数は、どれくらいありますか。(数字を記入)

図表Ⅱ-113 病気やケガで学校を休んだ経験(単数回答)・その際の対応(複数回答)



図表Ⅱ-114 病気やケガで学校を休んだ際の対応ごとの日数(年間)

	総回答者数	平均日数	最長日数	最短日数
父親が仕事を休んだ	30人	3.0日	20日	1日
母親が仕事を休んだ	222人	3.6日	30日	1日
親族・友人等に預けた	80人	3.6日	10日	1日
就労していない保護者がみた	148人	3.9日	20日	1日
ベビーシッターを利用した	1人	1.0日	1日	1日
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	52人	2.5日	10日	1日
その他	16人	3.6日	10日	1日

[小学生保護者調査]

病気やケガで学校を休んだ経験については、62.9%が「あった」と回答している。

「あった」と回答した人の対処方法としては、「母親が仕事を休んだ」がもっとも高い48.1%、「就労していない保護者がみた」32.0%、「親族・友人等に預けた」17.3%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」11.3%の順となっている。

図表Ⅱ-115 病気やケガで学校を休んだ経験

		総回答者数(人)	あった	なかった	不明	
小学生保護者調査	全 体	734	62.9	36.2	0.8	
	子どもの学年別	1 年生	131	61.1	38.9	0.0
		2 年生	115	67.8	29.6	2.6
		3 年生	128	70.3	29.7	0.0
		4 年生	124	58.9	39.5	1.6
		5 年生	114	55.3	43.9	0.9
		6 年生	119	63.0	37.0	0.0

[小学生保護者調査]

子どもの学年別にみると、病気やケガで学校を休んだ経験が「あった」割合は、他に比べて2・3・6年生において高くあらわれている。

図表Ⅱ-116 病児・病後児保育サービスの利用希望日数(年間)

総回答者数	274 人
平均日数	1.5 日
最長日数	12 日
最短日数	0 日

[小学生保護者調査]

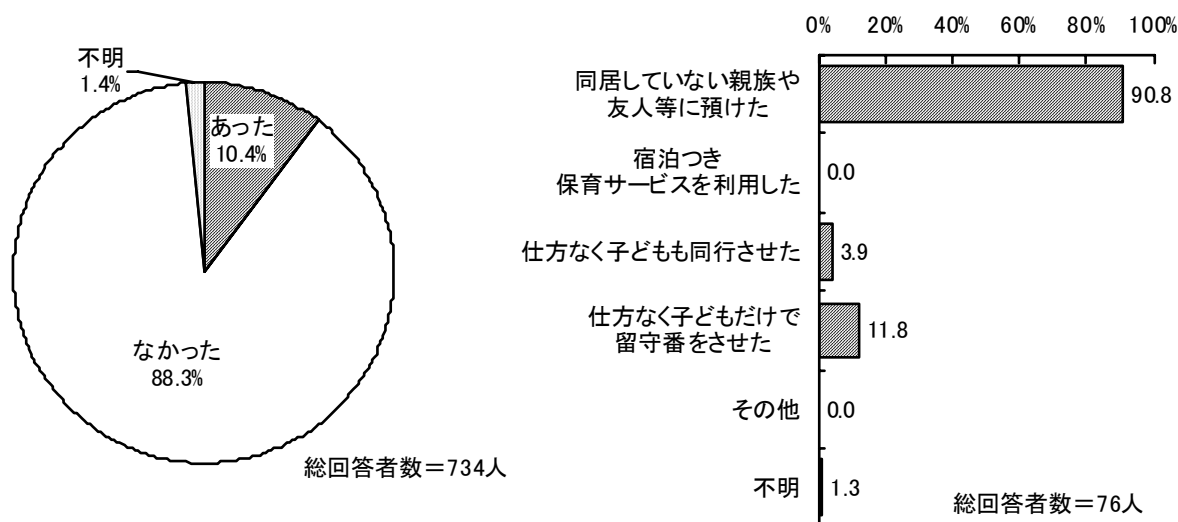
「母親が仕事を休んだ」「父親が仕事を休んだ」「親族・友人等に預けた」と回答した人に、そのうち病児・病後児保育サービスを利用したいと思った日数をたずねたところ、平均1.5日となっている。

(9) 数日間の支援が必要となった経験と対応 (小学生: 問25～問25-2)

① 数日間の支援が必要となった経験と対応

この1年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったことはありましたか。(1つに○)
 「1. あった」に○をした方にうかがいます。
 この1年間の対処方法すべてに○をし、それぞれのおおむねの日数をご記入ください。

図表Ⅱ-117 数日間の支援が必要となった経験(単数回答)・その際の対応(複数回答)



図表Ⅱ-118 数日間の支援が必要となった際の対応ごとの日数(年間)

	総回答者数	平均日数	最長日数	最短日数
同居していない親族や友人等に預けた	69人	9.6日	100日	1日
仕方なく子どもも同行させた	3人	3.0日	4日	2日
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	9人	2.8日	10日	1日

[小学生保護者調査]

子どもを泊まりがけで家族以外に預けた経験について、「あった」は10.4%となっている。

「あった」と回答した人の対処方法は、「同居していない親族や友人等に預けた」が90.8%であり、そのほか、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」11.8%などとなっている。

図表Ⅱ-119 数日間の支援が必要となった経験

		総回答者数(人)	あった	なかった	不明	
小学生保護者調査	全体	734	10.4	88.3	1.4	
	子どもの学年別	1年生	131	13.7	85.5	0.8
		2年生	115	10.4	89.6	0.0
		3年生	128	14.1	83.6	2.3
		4年生	124	5.6	91.9	2.4
		5年生	114	7.9	90.4	1.8
		6年生	119	10.1	89.1	0.8

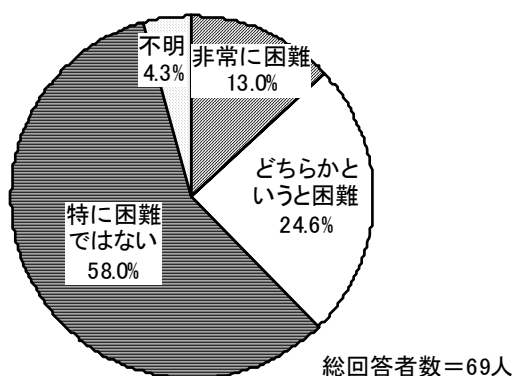
[小学生保護者調査]

子どもの学年別にみると、子どもを泊まりがけで家族以外に預けた経験が「あった」割合は、他に比べて1・3年生において高くあらわれている。

②同居していない親族や友人等に預ける場合の困難度

「1. 同居していない親族や友人等に預けた」に○をした方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。(1つに○)

図表Ⅱ-120 同居していない親族や友人等に預ける場合の困難度(単数回答)



[小学生保護者調査]

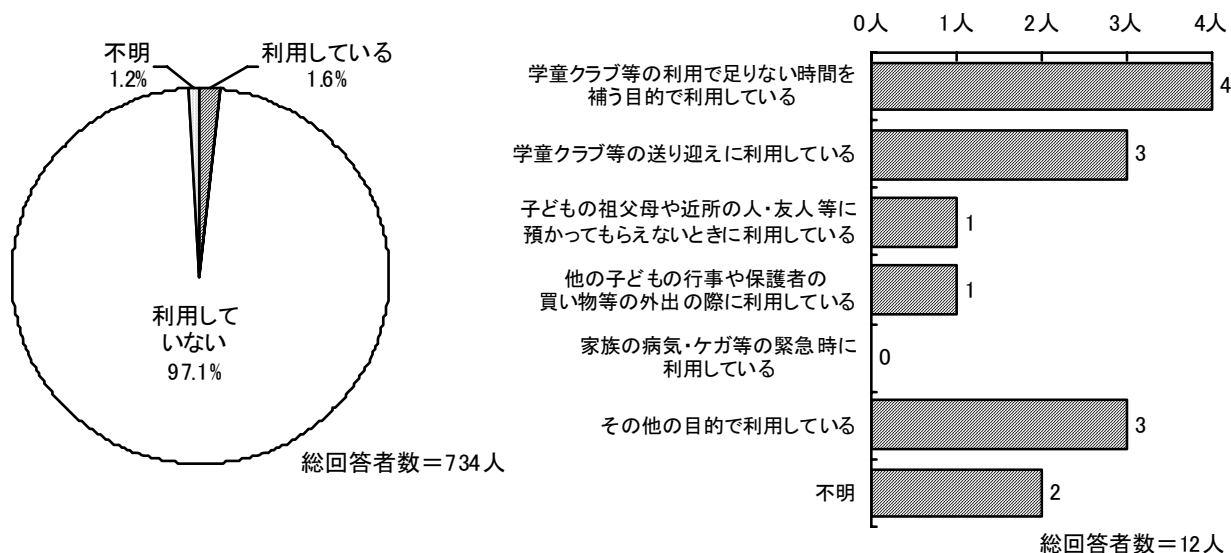
「同居していない親族や友人等に預けた」と回答した人について、その場合の困難度をたずねたところ、「特に困難ではない」が58.0%を占める。「どちらかという困難」は24.6%、「非常に困難」は13.0%となっている。

(10)ファミリーサポートセンターの利用状況と利用意向(小学生:問26～問27)

①ファミリーサポートセンターの利用状況と利用目的

あて名のお子さんについて、現在、ファミリーサポートセンターを利用していますか。(1つに○)
 「1. 利用している」に○をした方にうかがいます。
 どのような目的で利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

図表Ⅱ-121 ファミリーサポートセンターの利用状況(単数回答)・その利用目的(複数回答)



[小学生保護者調査]

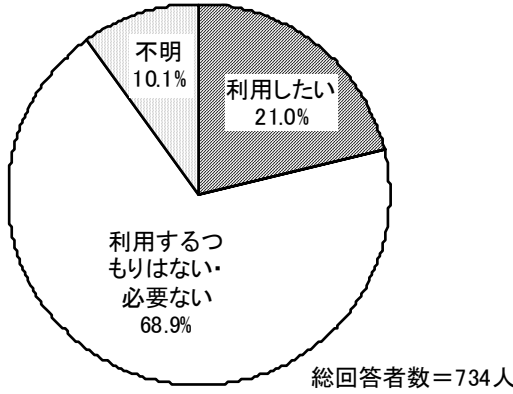
ファミリーサポートセンターの利用状況を見ると、97.1%が「利用していない」と回答しており、「利用している」は1.6%であった。

「利用している」人の利用目的は、「学童クラブ等の利用で足りない時間を補う目的で利用している」がもっとも多い4人、次いで「学童クラブ等の送り迎えに利用している」「その他の目的で利用している」各3人などとなっている。

②ファミリーサポートセンターの利用意向

あて名のお子さんについて、ファミリーサポートセンターを利用し(続け)たいですか。(1つに○)

図表Ⅱ-122 ファミリーサポートセンターの利用意向(単数回答)



[小学生保護者調査]

ファミリーサポートセンターの利用意向については、21.0%が「利用したい」と回答する結果となった。

図表Ⅱ-123 ファミリーサポートセンターの利用意向

		総回答者数(人)	利用したい	利用するつもりはない・必要ない	不明	
小学生保護者調査	全体	734	21.0	68.9	10.1	
	子どもの学年別	1年生	131	26.7	62.6	10.7
		2年生	115	20.0	72.2	7.8
		3年生	128	25.0	64.1	10.9
		4年生	124	23.4	67.7	8.9
		5年生	114	14.0	74.6	11.4
		6年生	119	15.1	73.9	10.9
	居住地域別	Aブロック	92	17.4	71.7	10.9
		Bブロック	86	19.8	64.0	16.3
		Cブロック	67	20.9	68.7	10.4
		Dブロック	80	17.5	70.0	12.5
Eブロック		103	22.3	66.0	11.7	
Fブロック		111	22.5	73.0	4.5	
Hブロック		99	25.3	69.7	5.1	

[小学生保護者調査]

子どもの学年別にみると、1~4年生の2割台、5・6年生の1割台が「利用したい」と回答している。

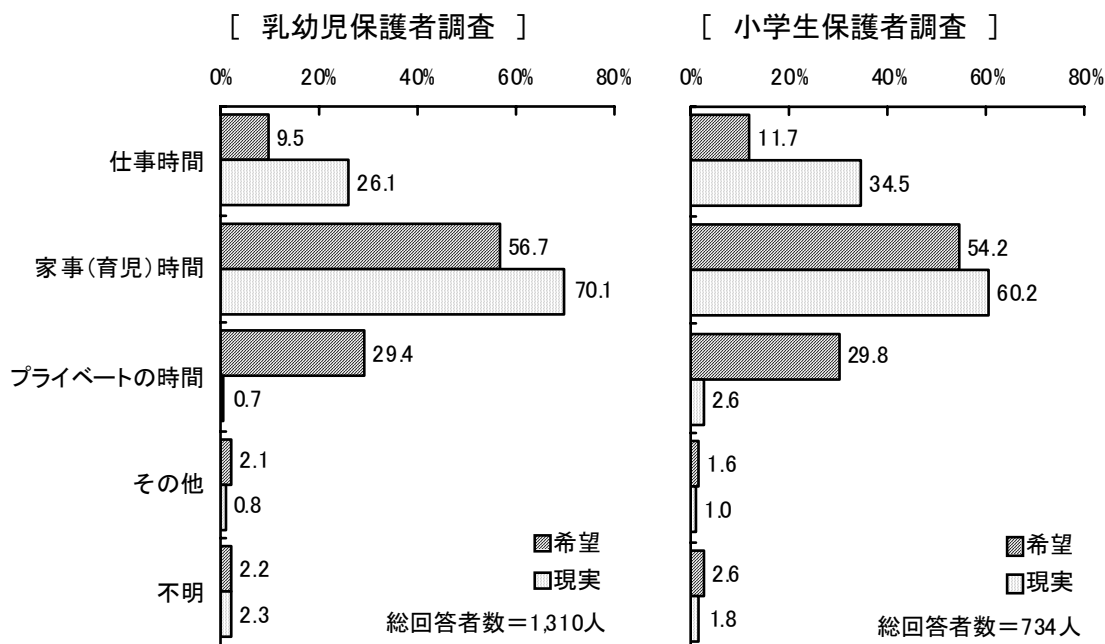
居住地域別にみると、Eブロック及びF・G・Hブロックの南部地域居住者において、他に比べて利用意向が高くあらわれている。

6. 仕事と子育ての関係

(1) 仕事と子育ての優先度(乳幼児:問29、小学生:問28)

あなたの生活の中での、「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度についてうかがいます。①希望と②現実、それぞれについてお答えください。(1つに○)

図表Ⅱ-124 仕事と子育ての優先度(各単数回答)



[乳幼児保護者調査]

「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度について、①希望は、「家事(育児)時間」が56.7%、次いで「プライベートの時間」29.4%であり、「仕事時間」は9.5%と1割を下回っている。

一方、②現実には、「家事(育児)時間」が約7割を占め、次いで「仕事時間」26.1%となっており、「プライベートの時間」は0.7%であった。

[小学生保護者調査]

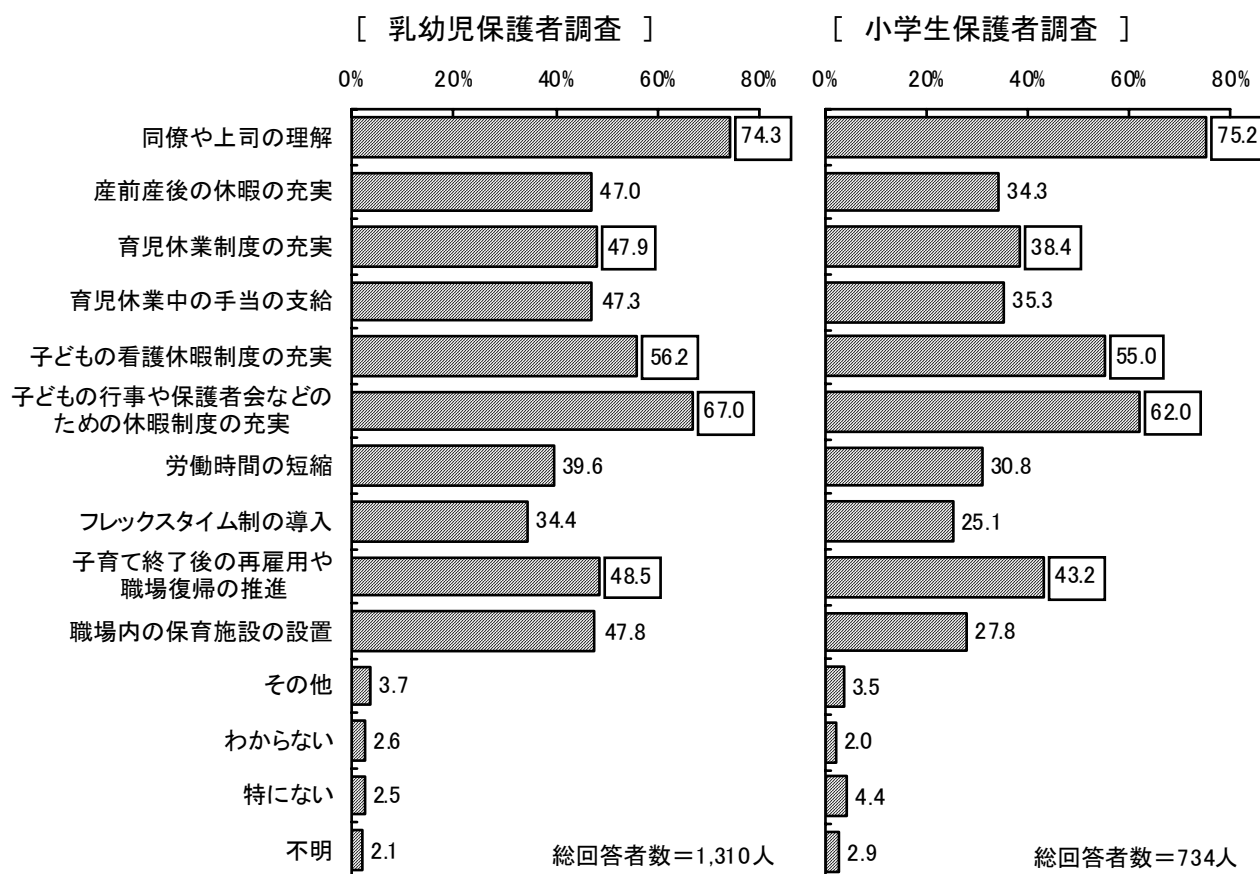
「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度について、①希望は、「家事(育児)時間」54.2%、「プライベートの時間」29.8%の順となっている。

②現実に関しては、「家事(育児)時間」60.2%に次いで、「仕事時間」が34.5%で続いており、「プライベートの時間」は2.6%であった。

(2)企業に望む子育て支援策(乳幼児:問30、小学生:問29)

仕事をしながら安心して子育てをするために、企業などに望むことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

図表Ⅱ-125 企業に望む子育て支援策(複数回答)



※: □ 囲みは、各調査の上位5位の値

[乳幼児保護者調査]

乳幼児の保護者が企業に望む子育て支援策は、「同僚や上司の理解」「子どもの行事や保護者会などのための休暇制度の充実」「子どもの看護休暇制度の充実」「子育て終了後の再雇用や職場復帰の推進」「育児休業制度の充実」が上位5位となっている。

[小学生保護者調査]

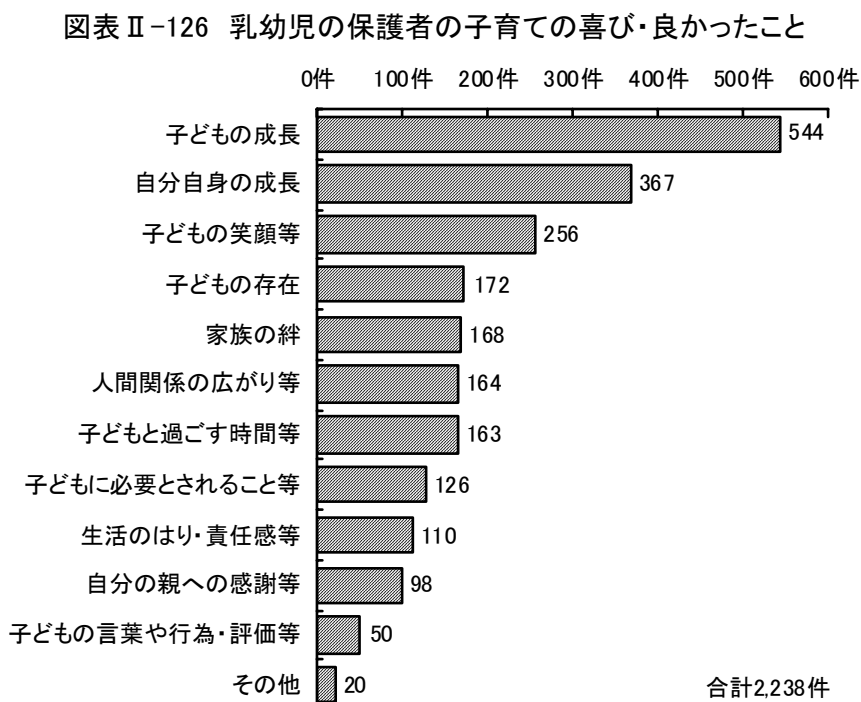
小学生の保護者が企業に望む子育て支援策は、乳幼児保護者調査の結果と同様に、「同僚や上司の理解」「子どもの行事や保護者会などのための休暇制度の充実」「子どもの看護休暇制度の充実」「子育て終了後の再雇用や職場復帰の推進」「育児休業制度の充実」が上位5位となっている。

7. 子育てに関する悩みやストレス

(1) 子育ての喜び・良かったこと(乳幼児:問31、小学生:問30)

子育ての喜び、子育てをして良かったことは、何ですか。(箇条書き等で自由にご記入ください)

① 乳幼児の保護者の子育ての喜び・良かったこと



以下は、乳幼児の保護者が記入した回答の抜粋である。

■子どもの成長(544件)

- 日々成長を見守れることが幸せだと感じる。
- 子どもが一つずつできることが増えていく、その些細なことに感動できること。
- とにかく子どもがかわいい。一つひとつできることが増えてくると成長したのだなと嬉しくなる。
- いつの間にか出来ることが増え、人間の強さ・たくましさを教えてくれる。
- 元気にすくすくと明るく育っている様子を見ているとき。

■自分自身の成長(367件)

- 子どもの成長とともに自身を見つめなおす機会が与えられる。
- 毎日が新鮮。子どもだから気付くことなど、子どもから教えられることがある。
- 子どもを持っている人、妊婦などの気持ちを、生む前ではわからなかった立場になって考えられる。
- 今まで見たことのないこと、思ったことのないことなどを、子どもを通して貴重な体験ができる。自分も成長させてもらっている。

■子どもの笑顔等(256件)

- にっこり笑ってくれるとホッ！とする。
- 子どもの笑顔や寝顔を見ると幸せな気持ちになれる。
- 日常生活の中でふとした笑顔を見た時や、楽しそうな笑い声を聞いたとき。
- 満面の笑顔を見ると疲れが吹っ飛び、子育ての幸せを感じる。
- 仕事などで辛い時、疲れている時でも子どもの笑顔、おしゃべりを聞くと自分も笑顔になれる。

■子どもの存在(172件)

- かわいい。産んでよかったと思う。
- 「自分の子ども」という存在自体が喜びである。
- 何気ないことが、子どもといると何倍も楽しく感じられる。
- 子どもがいるだけで癒される。
- 毎晩2人の子どもに挟まれて眠るとき「生まれてきてくれてありがとう」と喜びを感じる。

■家族の絆(168件)

- 家族や大切な人たちと楽しい時間を共有できる。
- 家族の結束を感じる。
- 子どもを通して親族の間が近くなった。
- 家族に笑顔がふえた。
- 子育てを通じて、家族や祖父母が楽しく過ごせる。生きがいの一つにもなっている。

■人間関係の広がり等(164件)

- 子どもがいなければ知り合えなかった人々との出会い。
- 子どもを通じて親戚や友人と再会する機会が増えた。
- 独身のときよりも地域を身近に感じ、人と人とのつながりを実感できる。
- 子どもを通じて親同士が友達になれた。
- 地域とのつながり、異世代とのつながりができる。

■子どもと過ごす時間等(163件)

- 挨拶をする、友達と仲良くするなど、人生の基本的なことを一緒に見直すことができる。
- 笑う回数が増えて健康的になった。
- 子どもの目線、感動などを共有できる。
- 初めて行うことがいろいろあり、新鮮である。
- 子どもと一緒にいろいろな場所へ出かけ、多くのことをともに体験し共有することができ、毎日がわくわくする。楽しさが何倍にもなる。

■子どもに必要とされること等(126件)

- 無条件で自分を必要としてくれる存在と日々過ごせること。
- 自分の存在価値が仕事以外で見出せた。
- 愛することと愛されることの喜びを味わえる。
- 子どもに必要とされているので、自分が強くなった。
- 自分がなくてならない存在だと実感させてもらえることがある。

■生活のはり・責任感等(110件)

- 子どもとの生活によって、自分自身の生活が充実している。
- 人間を育てるという責任感と親自らの成長。
- 日々の中に笑いや癒しが増えた。
- 生活にメリハリができる。
- 自分自身が強くなれた。

■自分の親への感謝等(98件)

- 自分で子育てをしてみて親の大変さがわかった。
- 自分の親への感謝の気持ちが強くなった。
- 自分の両親が必死に自分を育ててくれたんだと実感できる。子ども1人を育てることがどんなに大変かがわかった。
- 自分の親、祖父母、夫の家族など、多くの人に対する感謝の気持ちを知った。
- 育児中の親の気持ちがわかった。

■子どもの言葉や行為・評価等(50件)

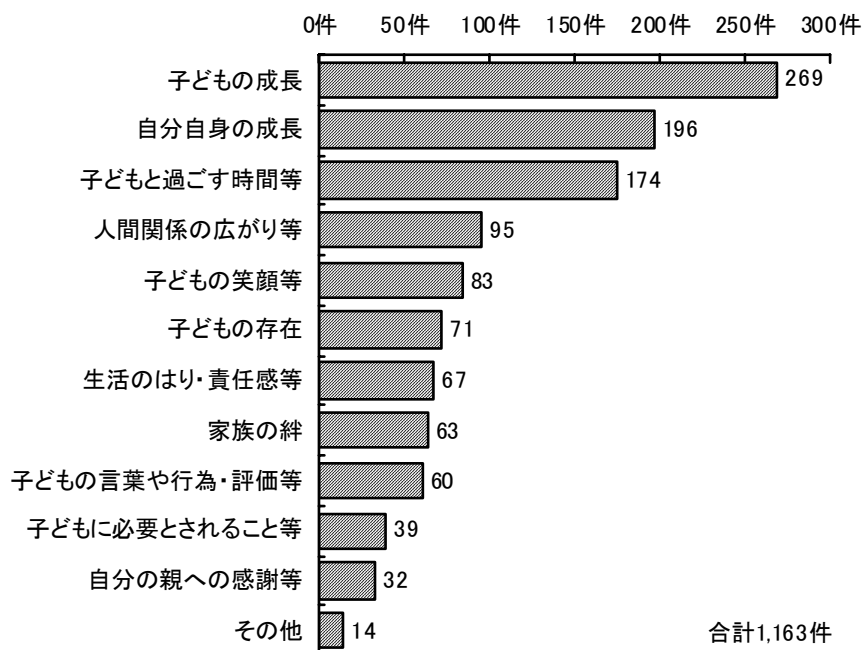
- 自分が辛い時、子どもが励ましてくれた。
- 子どもに優しい言葉や手紙をもらったとき。
- 病気の時など、子どもたちが協力して手伝ってくれる。
- 泣いている時、子どもがいい子いい子と頭をなでてくれた。
- 「僕たちが、ママを守ってあげる」と言ってくれたとき。

■その他(20件)

- 小さい時、もっとたくさん一緒に時間がほしかった。
- 子育てをして良かったと思えるほど、まだ余裕はないが、過去を振り返ったときに良かったと思えると思う。

②小学生の保護者の子育ての喜び・良かったこと

図表Ⅱ-127 小学生の保護者の子育ての喜び・良かったこと



以下は、小学生の保護者が記入した回答の抜粋である。

■子どもの成長(269件)

- 日々の成長が楽しい。
- 知らない間にどんどん成長していて、頼もしく思うことがある。
- 子どもの内面的な成長を感じることができたとき。
- 学校生活での成長を感じたとき。
- 健やかに育っていく姿を見たとき、人に対して思いやりのある優しい言動を見たときに喜びを感じる。

■自分自身の成長(196件)

- 子どもがいることで新しい世界が見られるようになった。人間として成長できた。
- 慈愛の心を持つようになった。
- 子育ての経験をして、自分の視野が広がった。
- 子どもを通じて世界が広がった。つらいときもあるが、楽しく喜ぶことのほうが多い。
- 弱い立場の人に優しくなれた。

■子どもと過ごす時間等(174件)

- 小さいうちは大変だが、今は話し相手になる。
- 子どもの体験すること、発見することを聞いたり話したりすると、自分の昔を思い出し一緒に成長している感じがする。
- 家の中に笑いが絶えず、毎日が充実している。
- つらいことがあっても、後でやっぱり育てて良かったと思う。
- 子どもがいなければできない体験ができ、楽しいことが増えた。

■人間関係の広がり等(95件)

- 子どもを通して地域の方と関わりを持てた。
- いろいろな世代の方々と交流することができ、日々楽しい。
- 地域のイベントに参加するようになった。
- 子どもを通して人間関係の幅が広がった。地域に知人が増えた。
- 転勤で誰も知らない土地に引っ越してきたが、子どもたちがいるおかげで知り合いや友達が増えた。そこにいたるまでは、子どもたちが淋しさを紛らわせてくれた。

■子どもの笑顔等(83件)

- 子どもの笑顔を見るだけで自分も元気になる。
- 毎日が変化していく子どもたちで楽しい。イライラすることもあるが、子どもの笑顔で怒ったことが馬鹿らしく思えて笑ってしまう。
- 子どもの笑顔や優しさに癒される。
- すやすや寝ている寝顔を見た時、子どもを産んでよかったと喜びを感じる。
- いろいろ不自由なこともあるが、子どもたちの笑顔に支えられている。

■子どもの存在(71件)

- 子どもが自分にとってかけがえのないものと感じることができた。
- 子どもを抱くと、ホッと幸せを感じる。
- 愛する者が増えた。
- 自分以外に心から愛する存在ができ、生まれてきてよかったと全てに感謝するようになった。
- 楽しいことも辛いことも、子どもを授かったからこそその経験は、他のどんな事とも比較にならない学びだと思う。

■生活のはり・責任感等(67件)

- 大人として、より責任を持って将来を考えて生きたいと思うようになった。
- 人を育てる大変さや苦勞とともに、幸福を感じる。
- 行事やイベント、季節を大切にできる。
- 親として人間としての自覚や責任感がいっそう明確になった。
- 家族のために仕事を頑張れる。

■家族の絆(63件)

- 家族のコミュニケーションが向上した。
- 休みの日に、家族みんなで過ごしているとき幸せを感じる。
- 子どものことで夫婦の会話が増えた。
- 困難がある時、家族で支えあえる、協力し合える。
- 双方の両親に、元気な子どもたちの姿を見せてあげることができた。

■子どもの言葉や行為・評価等(60件)

- やさしい子どもの気持ちに接したとき。
- 私を守ってくれる存在になってきた。
- 感謝の気持ちを言ってくれたとき。
- 良き話し相手、理解者になった。
- 優しい気持ちが子どもの中に育っていることを感じたとき。

■子どもに必要とされること等(39件)

- 自分を必要としてくれるので自分が生きている意味を感じることができる。
- 愛を実感できる。
- 自分を必要としている存在がいること。
- 子どもを通して、自分を肯定できること。

■自分の親への感謝等(32件)

- 親のありがたさがわかった。
- 自分の親の苦勞を知ることができた。

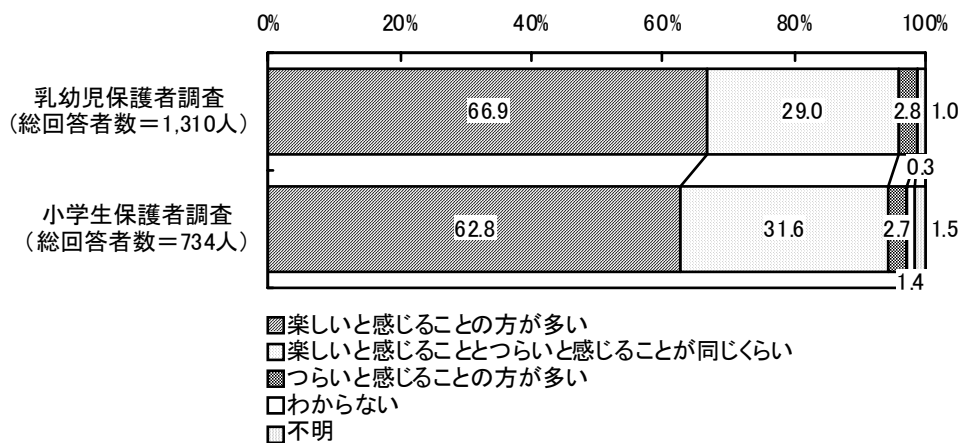
■その他(14件)

- 子育て途中で毎日が忙しい。その事に喜びを感じている。

(2)子育てに対する感じ方(乳幼児:問32、小学生:問31)

あなたは、子育てをどのように感じていますか。(1つに○)

図表Ⅱ-128 子育てに対する感じ方(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

乳幼児の保護者の子育てに対する感じ方は、「楽しいと感じることの方が多い」がもっとも高く66.9%を占める。次いで、「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が29.0%であり、「つらいと感じることの方が多い」は2.8%であった。

[小学生保護者調査]

小学生の保護者の子育てに対する感じ方は、「楽しいと感じることの方が多い」が62.8%ともっとも高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」31.6%であり、「つらいと感じることの方が多い」は2.7%であった。

乳幼児保護者調査の結果と比べると、「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」と回答した人の割合が高くなっている。

図表Ⅱ-129 子育てに対する感じ方

		総回答者数(人)	多い 楽しいと感じることの方が 多い	楽しいと感じることと同じくらい 感じるものが同じくらい多い	つらいと感じるものの方が 多い	わからない	不明	
乳幼児保護者調査	全体	1,310	66.9	29.0	2.8	0.3	1.0	
	子どもの年齢別	満0歳	153	72.5	22.2	2.6	0.7	2.0
		0歳児	191	72.3	25.7	1.0	0.0	1.0
		1歳児	180	66.7	28.9	3.9	0.6	0.0
		2歳児	202	65.3	29.7	3.5	0.0	1.5
		3歳児	191	67.5	28.3	4.2	0.0	0.0
		4歳児	199	60.8	34.7	3.5	0.5	0.5
		5歳児	187	64.7	31.6	1.1	0.5	2.1
	家族形態別	両親と子ども世帯	1,155	67.0	28.7	3.0	0.3	1.0
		父親と子ども世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		母親と子ども世帯	30	53.3	46.7	0.0	0.0	0.0
		三世代世帯	105	67.6	29.5	1.9	0.0	1.0
		その他の世帯	7	71.4	14.3	0.0	14.3	0.0
	両親の就労形態別	ひとり親	48	60.4	37.5	2.1	0.0	0.0
		フルタイム共働き	348	74.1	22.7	1.7	0.0	1.4
		フルタイム・パート共働き	251	61.4	33.5	4.0	0.4	0.8
		専業主婦(夫)	623	65.7	30.0	2.9	0.5	1.0
		その他	17	64.7	29.4	5.9	0.0	0.0

[乳幼児保護者調査]

子育ては「楽しいと感じることの方が多い」は、子どもの年齢が満0歳・0歳児の場合、両親の就労形態がフルタイム共働き家庭の場合に7割を超え、それぞれ他に比べて高い割合となっている。

図表Ⅱ-130 子育てに対する感じ方

		総回答者数(人)	楽しいと感じることの方が 多い	楽しいと感じることと同じくらい 感じる	つらいと感じることの方が 多い	わからない	不明	
小学生保護者調査	全体	734	62.8	31.6	2.7	1.4	1.5	
	子どもの学年別	1年生	131	58.8	36.6	2.3	0.8	1.5
		2年生	115	63.5	32.2	1.7	1.7	0.9
		3年生	128	65.6	29.7	1.6	1.6	1.6
		4年生	124	61.3	31.5	2.4	2.4	2.4
		5年生	114	60.5	35.1	1.8	1.8	0.9
		6年生	119	66.4	25.2	6.7	0.0	1.7
	家族形態別	両親と子ども世帯	569	64.5	30.8	2.1	1.4	1.2
		父親と子ども世帯	6	33.3	16.7	33.3	16.7	0.0
		母親と子ども世帯	51	51.0	37.3	7.8	0.0	3.9
		三世帯世帯	101	60.4	34.7	2.0	1.0	2.0
		その他の世帯	5	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	両親の就労形態別	ひとり親	75	50.7	37.3	8.0	1.3	2.7
		フルタイム共働き	191	67.0	27.2	2.1	1.0	2.6
		フルタイム・パート共働き	228	58.3	37.7	1.3	1.8	0.9
		専業主婦(夫)	218	67.4	28.4	2.3	1.4	0.5
		その他	10	50.0	30.0	10.0	0.0	10.0

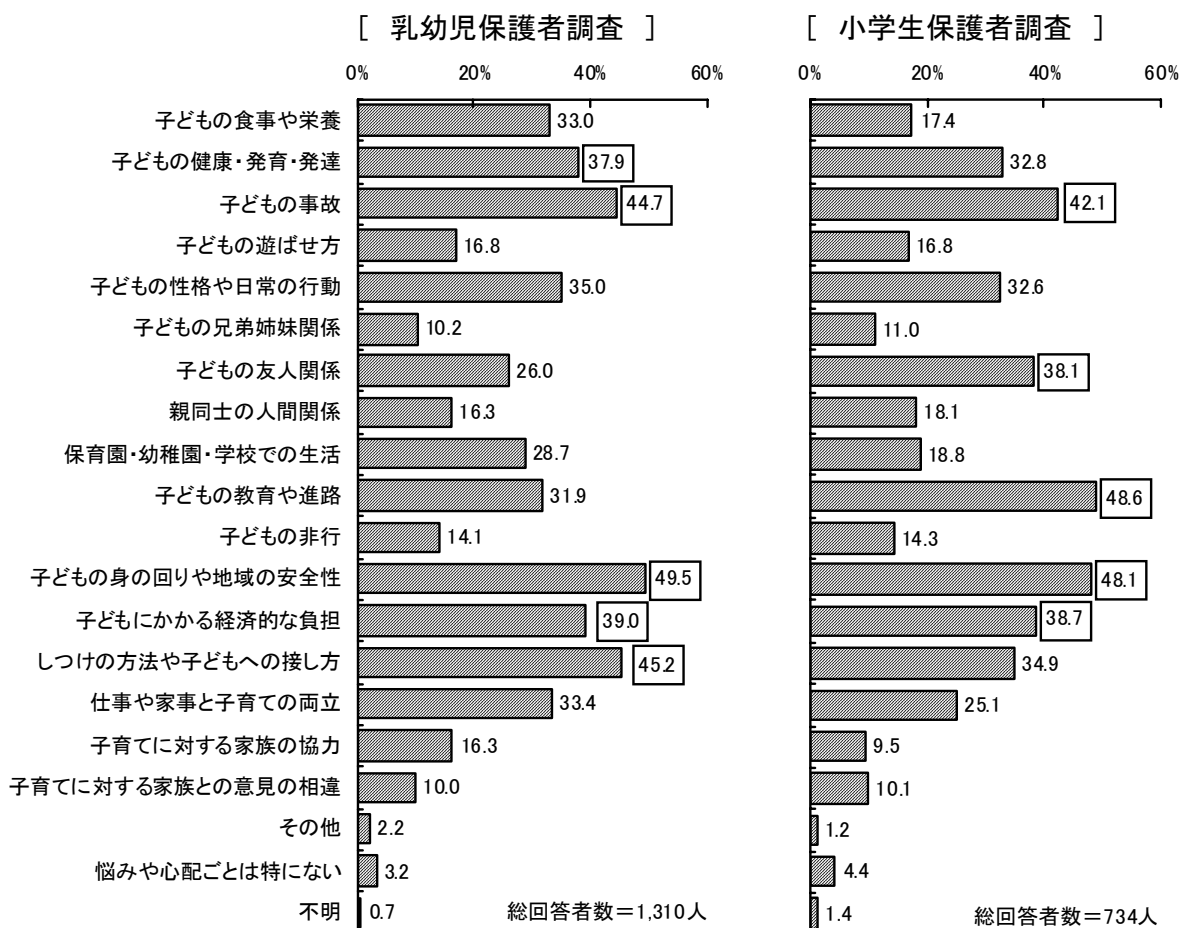
[小学生保護者調査]

子育ては「楽しいと感じることの方が多い」は、家族形態が両親と子ども世帯、両親の就労形態がフルタイム共働きや専業主婦(夫)家庭の場合に、それぞれ他に比べて高い割合となっている。

(3)子育てに関する悩みや心配ごと(乳幼児:問33、小学生:問32)

あなたは子育てについてどのような悩みや心配ごとがありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表Ⅱ-131 子育てに関する悩みや心配ごと(複数回答)



※: 囲みは、各調査の上位5位の値

[乳幼児保護者調査]

乳幼児の保護者の子育てに関する悩みや心配ごととしては、「子どもの身の回りや地域の安全性」49.5%が第1位にあげられている。次いで、「しつけの方法や子どもへの接し方」45.2%、「子どもの事故」44.7%、「子どもにかかる経済的な負担」39.0%、「子どもの健康・発育・発達」37.9%の順で続いている。

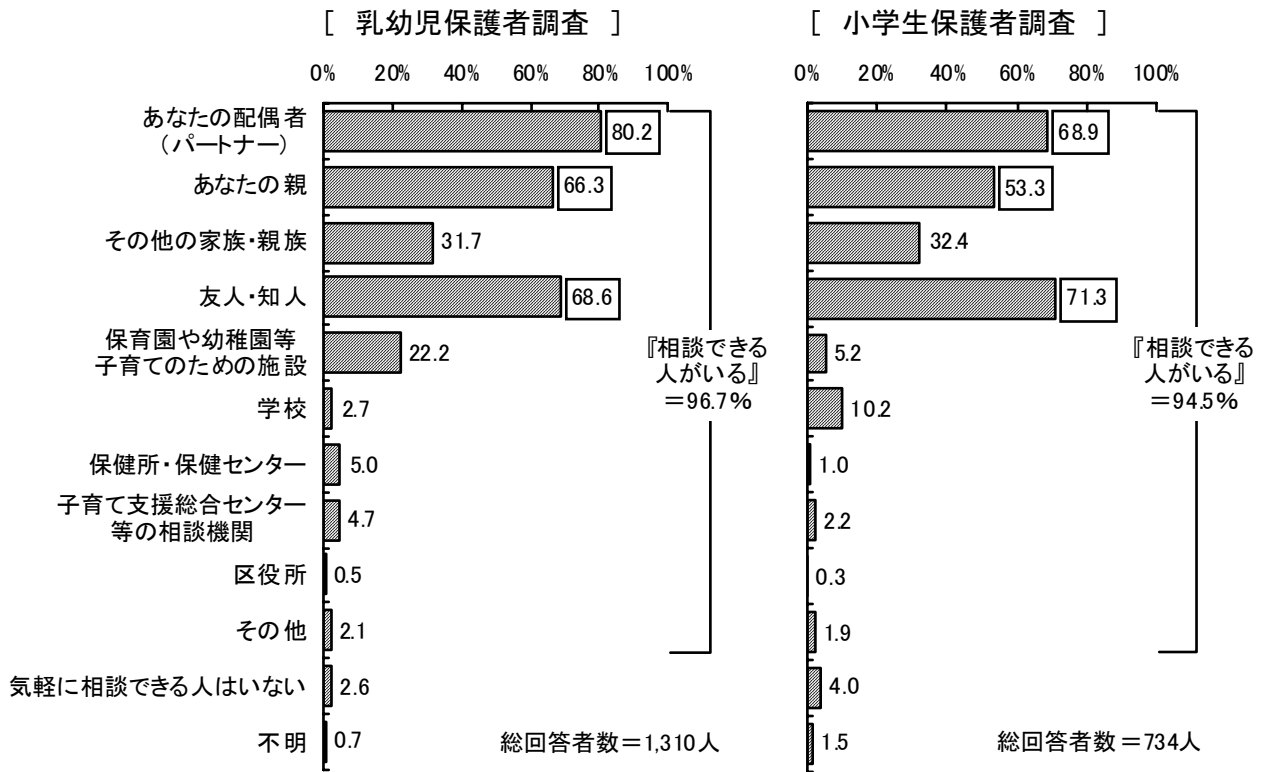
[小学生保護者調査]

小学生の保護者の子育てに関する悩みや心配ごととしては、「子どもの教育や進路」がもっとも高い割合となっている。次いで、「子どもの身の回りや地域の安全性」「子どもの事故」が続いており、これらは小学生の保護者の4割台があげた悩みや心配ごととなっている。これに、「子どもにかかる経済的な負担」「子どもの友人関係」「しつけの方法や子どもへの接し方」「子どもの健康・発育・発達」「子どもの性格や日常の行動」が3割台で続いている。

(4)子育てに関する相談先の有無(乳幼児:問34、小学生:問33)

あなたには、子育てについて気軽に相談できる人(場所)がいますか。
 (あてはまるものすべてに○)

図表Ⅱ-132 子育てに関する相談先の有無(複数回答)



※: 囲みは、各調査の上位3位の値

[乳幼児保護者調査]

乳幼児の保護者の子育てに関する相談先については、『相談できる人がある』(100%から「気軽に相談できる人はいない」と「不明」を除いた割合)が96.7%を占める。相談者は、「あなたの配偶者(パートナー)」80.2%、「友人・知人」68.6%、「あなたの親」66.3%、「その他の家族・親族」31.7%の順となっている。また、「保育園や幼稚園等子育てのための施設」は2割台が相談先としてあげている。

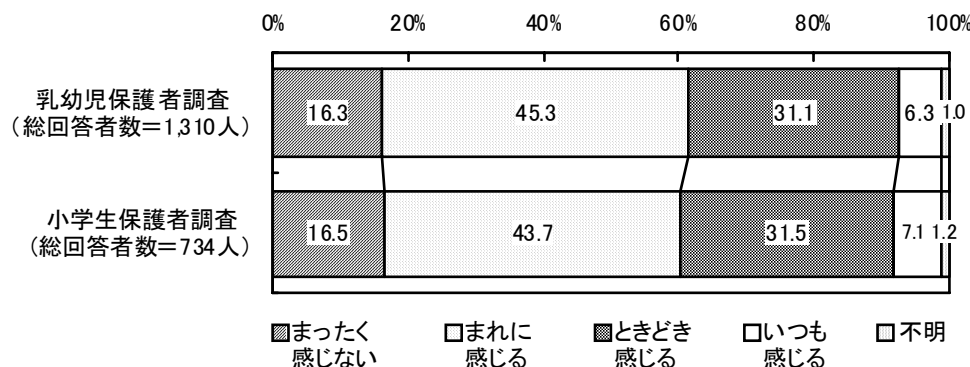
[小学生保護者調査]

小学生の保護者の子育てに関する相談先については、『相談できる人がある』が94.5%となっている。相談者は、「友人・知人」が71.3%ともっとも高く、「あなたの配偶者(パートナー)」68.9%、「あなたの親」53.3%、「その他の家族・親族」32.4%の順で続いている。

(5)子育てに自信がもてないと感じることの有無(乳幼児:問35、小学生:問34)

あなたは、ご自分の子育てに自信がもてないと感じることがありますか。(1つに○)

図表Ⅱ-133 子育てに自信がもてないと感じることの有無(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

乳幼児の保護者が子育てに対して自信がもてないと感じることについては、「まれに感じる」が45.3%ともっとも高く、次いで「ときどき感じる」31.1%となっている。「いつも感じる」は6.3%であり、16.3%は「まったく感じない」と回答している。

[小学生保護者調査]

小学生の保護者が子育てに対して自信がもてないと感じることについては、「まれに感じる」43.7%、「ときどき感じる」31.5%の順となっている。「いつも感じる」は7.1%であり、16.5%は「まったく感じない」と回答している。

図表Ⅱ-134 子育てに自信がもてないと感じることの有無

		総回答者数(人)	まったく感じない	まれに感じる	ときどき感じる	いつも感じる	不明	『ときどき・いつも感じる』	
乳幼児保護者調査	全体	1,310	16.3	45.3	31.1	6.3	1.0	37.4	
	子どもの年齢別	満0歳	153	22.9	52.9	19.6	3.3	1.3	22.9
		0歳児	191	16.2	52.4	26.7	3.1	1.6	29.8
		1歳児	180	17.2	41.7	32.8	8.3	0.0	41.1
		2歳児	202	15.8	46.5	30.2	6.9	0.5	37.1
		3歳児	191	9.4	48.7	32.5	9.4	0.0	41.9
		4歳児	199	18.1	40.2	35.2	6.5	0.0	41.7
		5歳児	187	16.0	36.4	38.5	5.9	3.2	44.4
		家族形態別	両親と子ども世帯	1,155	15.4	46.1	31.3	6.4	0.8
	父親と子ども世帯		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	母親と子ども世帯		30	33.3	30.0	30.0	6.7	0.0	36.7
	三世帯世帯		105	19.0	42.9	32.4	4.8	1.0	37.2
	その他の世帯		7	14.3	57.1	14.3	14.3	0.0	28.6
	両親の就労形態別	ひとり親	48	22.9	45.8	25.0	6.3	0.0	31.3
		フルタイム共働き	348	17.5	48.6	27.6	5.5	0.9	33.1
		フルタイム・パート共働き	251	15.9	41.0	37.5	4.8	0.8	42.3
		専業主婦(夫)	623	15.4	44.1	32.1	7.4	1.0	39.5
その他		17	5.9	70.6	17.6	5.9	0.0	23.5	

※:『ときどき・いつも感じる』=「ときどき感じる」+「いつも感じる」

[乳幼児保護者調査]

子育てに自信がもてないと『ときどき・いつも感じる』は、子どもの年齢が1歳児及び3歳児以上、両親の就労形態がフルタイム・パート共働き家庭の場合に4割台を占め、それぞれ他に比べて高い割合となっている。

図表Ⅱ-135 子育てに自信がもてないと感じることの有無

		総回答者数(人)	まったく感じない	まれに感じる	ときどき感じる	いつも感じる	不明	『ときどき・いつも感じる』	
小学生保護者調査	全体	734	16.5	43.7	31.5	7.1	1.2	38.6	
	子どもの学年別	1年生	131	12.2	36.6	42.7	7.6	0.8	50.3
		2年生	115	13.9	50.4	27.8	7.0	0.9	34.8
		3年生	128	16.4	50.0	26.6	6.3	0.8	32.9
		4年生	124	16.9	40.3	33.1	8.1	1.6	41.2
		5年生	114	17.5	43.9	30.7	5.3	2.6	36.0
		6年生	119	21.8	42.0	26.9	8.4	0.8	35.3
	家族形態別	両親と子ども世帯	569	17.4	44.3	31.5	6.0	0.9	37.5
		父親と子ども世帯	6	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0	83.4
		母親と子ども世帯	51	7.8	35.3	35.3	17.6	3.9	52.9
		三世帯世帯	101	14.9	48.5	27.7	6.9	2.0	34.6
		その他の世帯	5	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	60.0
	両親の就労形態別	ひとり親	75	10.7	36.0	36.0	14.7	2.7	50.7
		フルタイム共働き	191	20.4	42.4	29.8	5.2	2.1	35.0
		フルタイム・パート共働き	228	14.5	44.3	34.2	6.6	0.4	40.8
		専業主婦(夫)	218	17.4	47.7	28.4	6.0	0.5	34.4
		その他	10	0.0	40.0	30.0	20.0	10.0	50.0

※:『ときどき・いつも感じる』=「ときどき感じる」+「いつも感じる」

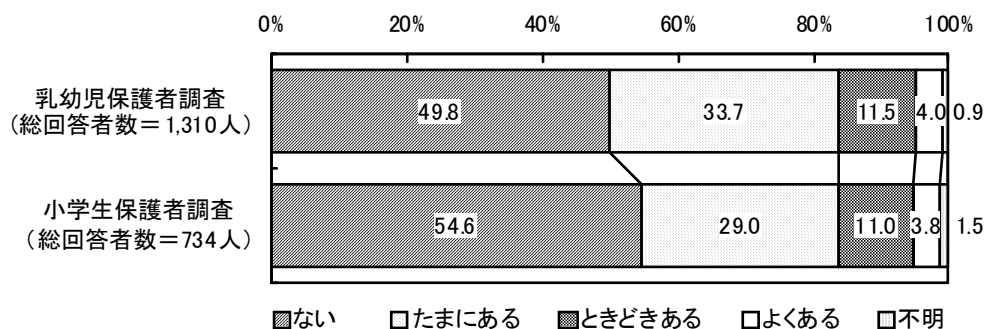
[小学生保護者調査]

子育てに自信がもてないと『ときどき・いつも感じる』は、子どもの学年が1年生、家族形態が母親と子ども世帯、両親の就労形態がひとり親家庭の場合に5割台を占め、それぞれ他に比べて高い割合となっている。

(6)子育てに対する不安や孤独感(乳幼児:問36、小学生:問35)

あなたは、家族や周囲の理解・協力が得られなくて、子育てに不安や孤独を感じることがありますか。(1つに○)

図表Ⅱ-136 子育てに対する不安や孤独感(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

乳幼児の保護者が子育てに不安や孤独を感じることは「ない」が49.8%と約半数を占める。次いで、「たまにある」33.7%、「ときどきある」11.5%、「よくある」4.0%の順となっている。

[小学生保護者調査]

小学生の保護者が子育てに不安や孤独を感じることは、54.6%と半数強が「ない」と回答している。次いで、「たまにある」29.0%、「ときどきある」11.0%、「よくある」3.8%の順となっている。

図表Ⅱ-137 子育てに対する不安や孤独感

		総回答者数(人)	ない	たまにある	ときどきある	よくある	不明	『ときどき・よくある』	
乳幼児保護者調査	全体	1,310	49.8	33.7	11.5	4.0	0.9	15.5	
	子どもの年齢別	満0歳	153	49.7	36.6	9.8	2.0	2.0	11.8
		0歳児	191	50.3	37.7	10.5	0.5	1.0	11.0
		1歳児	180	48.3	34.4	13.3	3.9	0.0	17.2
		2歳児	202	52.5	33.2	8.4	5.4	0.5	13.8
		3歳児	191	45.5	35.6	12.0	6.3	0.5	18.3
		4歳児	199	56.3	27.6	12.1	4.0	0.0	16.1
		5歳児	187	47.1	30.5	13.9	5.9	2.7	19.8
	家族形態別	両親と子ども世帯	1,155	49.4	34.2	11.9	3.8	0.8	15.7
		父親と子ども世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		母親と子ども世帯	30	46.7	30.0	6.7	16.7	0.0	23.4
		三世帯世帯	105	52.4	34.3	8.6	2.9	1.9	11.5
		その他の世帯	7	57.1	14.3	14.3	14.3	0.0	28.6
	両親の就労形態別	ひとり親	48	50.0	33.3	6.3	10.4	0.0	16.7
		フルタイム共働き	348	52.3	33.3	10.6	2.9	0.9	13.5
		フルタイム・パート共働き	251	50.2	31.1	12.7	5.2	0.8	17.9
		専業主婦(夫)	623	48.0	35.0	12.0	3.9	1.1	15.9
その他		17	52.9	41.2	5.9	0.0	0.0	5.9	

※:『ときどき・よくある』=「ときどきある」+「よくある」

[乳幼児保護者調査]

子育てに不安や孤独を感じるものが『ときどき・よくある』割合は、子どもの年齢が5歳児の場合、両親の就労形態がフルタイム・パート共働き家庭の場合にもっとも高くなっている。

図表Ⅱ-138 子育てに対する不安や孤独感

		総回答者数(人)	ない	たまにある	ときどきある	よくある	不明	『ときどき・よくある』	
小学生保護者調査	全体	734	54.6	29.0	11.0	3.8	1.5	14.8	
	子どもの学年別	1年生	131	58.0	25.2	12.2	3.8	0.8	16.0
		2年生	115	52.2	33.0	11.3	2.6	0.9	13.9
		3年生	128	60.2	26.6	7.0	5.5	0.8	12.5
		4年生	124	51.6	29.8	13.7	3.2	1.6	16.9
		5年生	114	48.2	32.5	11.4	4.4	3.5	15.8
		6年生	119	57.1	26.9	10.9	3.4	1.7	14.3
	家族形態別	両親と子ども世帯	569	55.0	31.1	9.5	3.3	1.1	12.8
		父親と子ども世帯	6	66.7	0.0	16.7	16.7	0.0	33.4
		母親と子ども世帯	51	31.4	35.3	19.6	9.8	3.9	29.4
		三世帯世帯	101	62.4	17.8	13.9	3.0	3.0	16.9
		その他の世帯	5	60.0	0.0	40.0	0.0	0.0	40.0
	両親の就労形態別	ひとり親	75	40.0	29.3	20.0	8.0	2.7	28.0
		フルタイム共働き	191	62.8	25.7	8.9	0.5	2.1	9.4
		フルタイム・パート共働き	228	49.6	30.3	15.4	3.9	0.9	19.3
		専業主婦(夫)	218	56.9	33.0	5.0	4.6	0.5	9.6
		その他	10	60.0	0.0	10.0	20.0	10.0	30.0

※:『ときどき・よくある』=「ときどきある」+「よくある」

[小学生保護者調査]

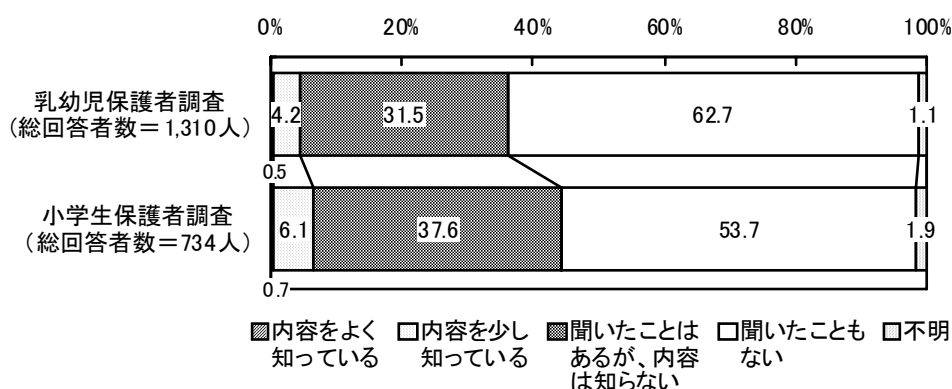
子育てに不安や孤独を感じるものが『ときどき・よくある』は、子育てに対する自信がもてないと感じる割合と同様に、子どもの学年が1・4年生、家族形態が母親と子ども世帯、両親の就労形態がひとり親家庭の場合において、それぞれ他に比べて高い割合となっている。

8. 墨田区の子育て支援サービス・環境

(1) 墨田区次世代育成支援行動計画の認知度(乳幼児:問37、小学生:問36)

墨田区では、平成17年3月に、子どもたちが健やかに生まれ育つための環境整備を図るため、「墨田区次世代育成支援行動計画」を策定しました。あなたは、この行動計画のことをどのくらい知っていますか。(1つに○)

図表Ⅱ-139 墨田区次世代育成支援行動計画の認知度(単数回答)



[乳幼児保護者調査]

乳幼児の保護者の墨田区次世代育成支援行動計画の認知度は、「聞いたこともない」が62.7%を占める結果となった。次いで、「聞いたことはあるが、内容は知らない」31.5%であり、「内容をよく知っている」「内容を少し知っている」を合わせた『内容を知っている』は4.7%と5%を下回った。

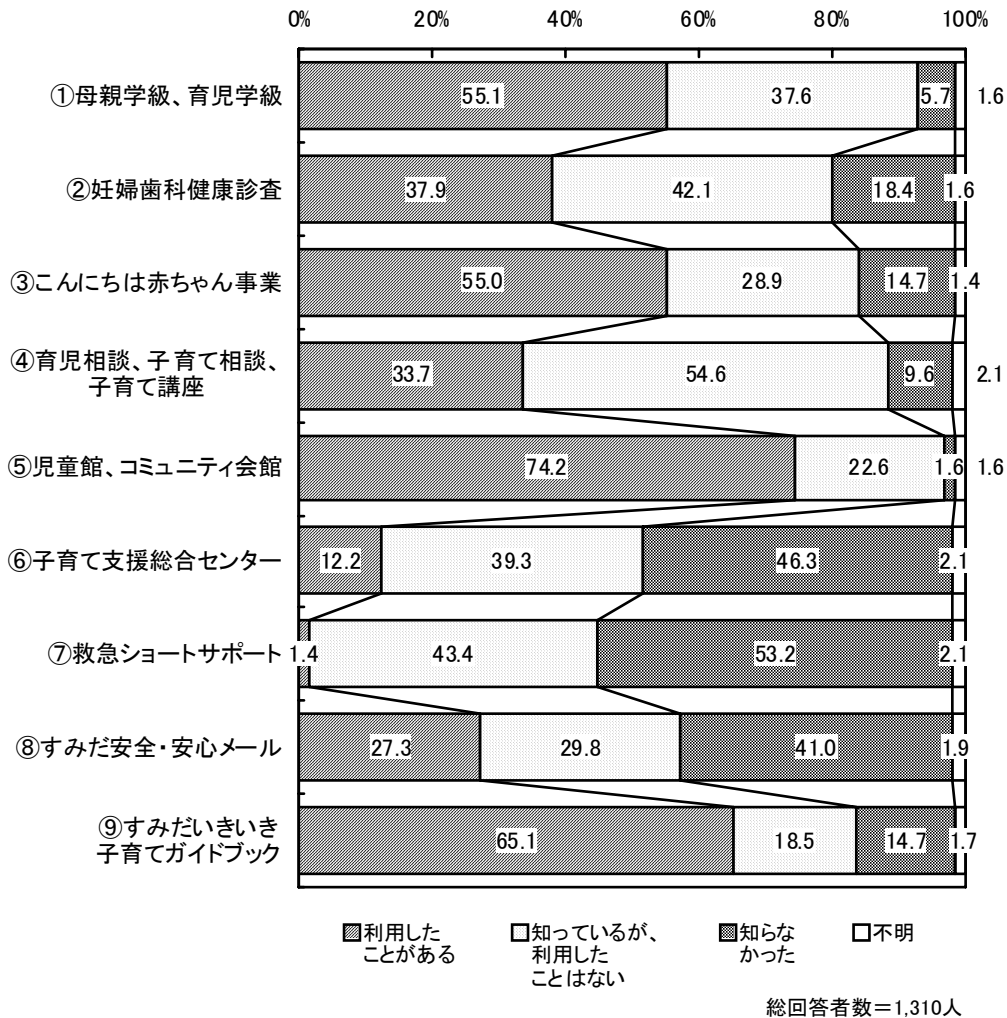
[小学生保護者調査]

小学生の保護者の墨田区次世代育成支援行動計画の認知度は、「聞いたこともない」が53.7%となっている。「聞いたことはあるが、内容は知らない」は37.6%、「内容をよく知っている」「内容を少し知っている」を合わせた『内容を知っている』は6.8%であり、乳幼児保護者調査結果に比べると、聞いたことがある・内容を知っている割合が高くなっている。

(2) 子育て支援サービス等の認知・利用状況と利用意向(乳幼児:問38、小学生:問37)

下記のサービス等について、A:認知・利用状況、B:今後の利用意向をうかがいます。
 ①～⑦のサービスごとに、A・Bそれぞれについてあてはまるもの1つに○をしてください。

図表Ⅱ-140 子育て支援サービス等の認知・利用状況(各単数回答)

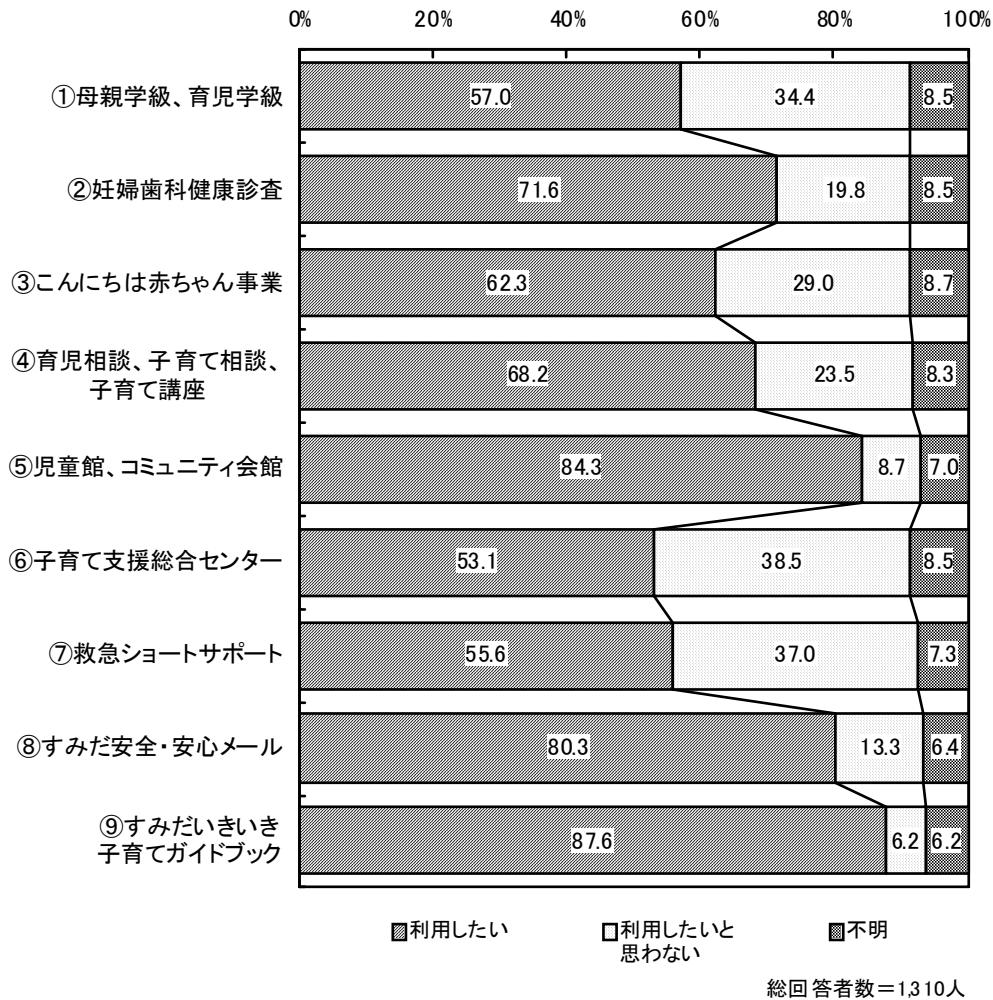


[乳幼児保護者調査]

乳幼児の保護者の子育て支援サービス等の認知・利用状況について、「利用したことがある」割合は、“⑤児童館、コミュニティ会館” 7割台、“⑨すみだいきいき子育てガイドブック” 6割台、“①母親学級、育児学級” “③こんにちは赤ちゃん事業” 各5割台、“②妊婦歯科健康診査” “④育児相談、子育て相談、子育て講座” 各3割台の順に高い。反対に、もっとも割合が低いのは“⑦救急ショートサポート” 1.4%、次いで“⑥子育て支援総合センター” 12.2%となっている。

「知らなかった」割合に注目すると、“⑦救急ショートサポート” が5割台、“⑥子育て支援総合センター” “⑧すみだ安全・安心メール” が4割台であり、これらは認知度が低いサービスとなっている。

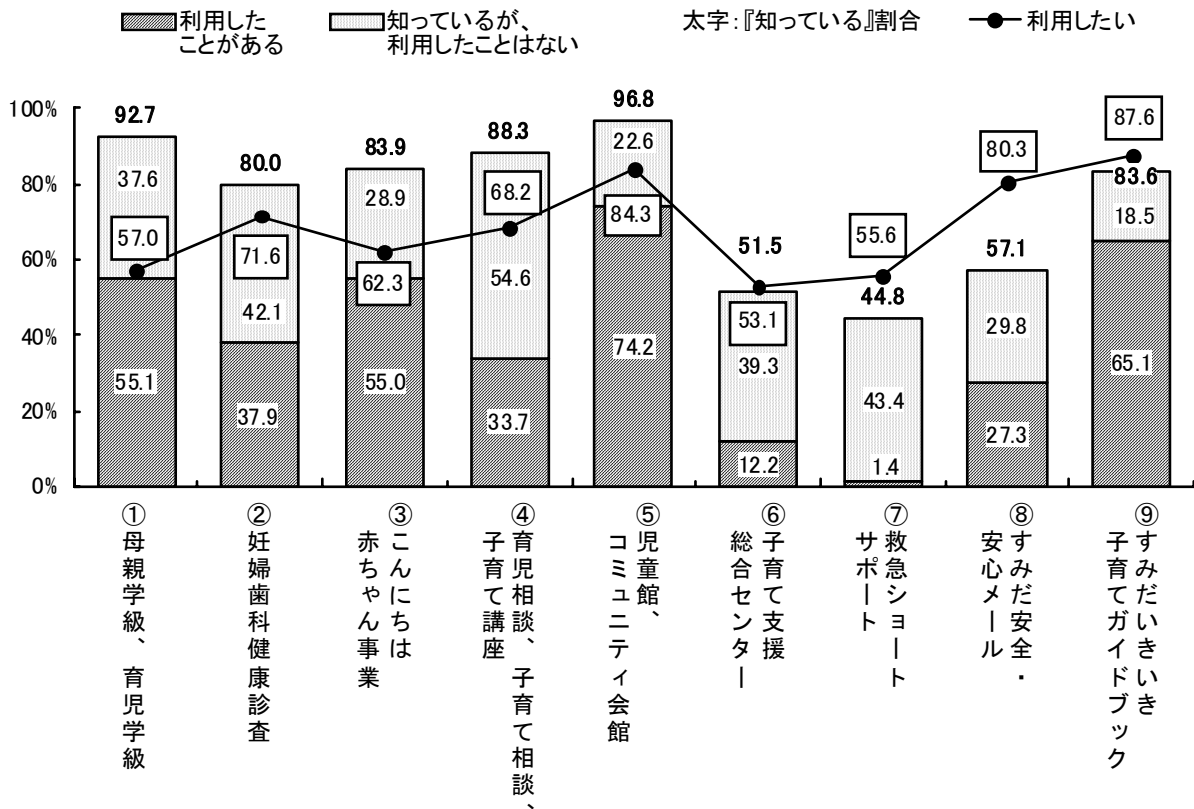
図表Ⅱ-141 子育て支援サービス等の利用意向(各単数回答)



[乳幼児保護者調査]

乳幼児の保護者の子育て支援サービス等の利用意向をみると、「利用したい」割合は、“⑨すみだいきいき子育てガイドブック” “⑤児童館、コミュニティ会館” “⑧すみだ安全・安心メール” が 8 割台、“②妊婦歯科健康診査” が 7 割台、“④育児相談、子育て相談、子育て講座” “③こんにちは赤ちゃん事業” が 6 割台となっている。また、認知度が相対的に低い “⑦救急ショートサポート” “⑥子育て支援総合センター” についても、それぞれ 5 割台が「利用したい」と回答している。

図表Ⅱ-142 子育て支援サービス等の認知・利用状況と利用意向の比較



※:『知っている』=「利用したことがある」+「知っているが、利用したことはない」

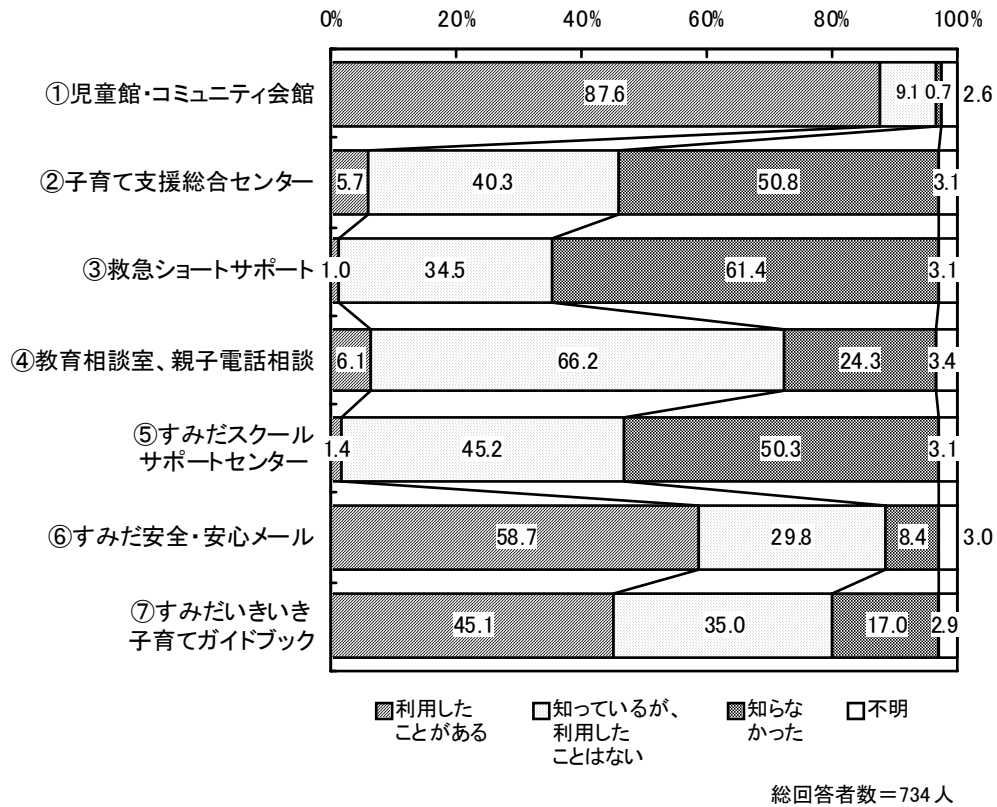
[乳幼児保護者調査]

乳幼児の保護者の子育て支援サービス等の認知・利用状況と利用意向を比較すると、“⑧すみだ安全・安心メール”は、認知度（『知っている』割合）が6割弱、利用率（「利用したことがある」割合）が3割弱にとどまっている一方で、利用意向（「利用したい」割合）が約8割と、他に比べて認知度と利用意向との差が大きい。

“⑦救急ショートサポート”“⑥子育て支援総合センター”は、認知度が5割前後と他のサービスに比べて低く、また、利用意向が利用率を大きく上回っているサービスである。

“④育児相談、子育て相談、子育て講座”“②妊婦歯科健康診査”は、認知度は8割を超えるものの利用率は3割台にとどまっており、利用意向が利用率を大きく上回っているサービスである。

図表Ⅱ-143 子育て支援サービス等の利用状況(各単数回答)



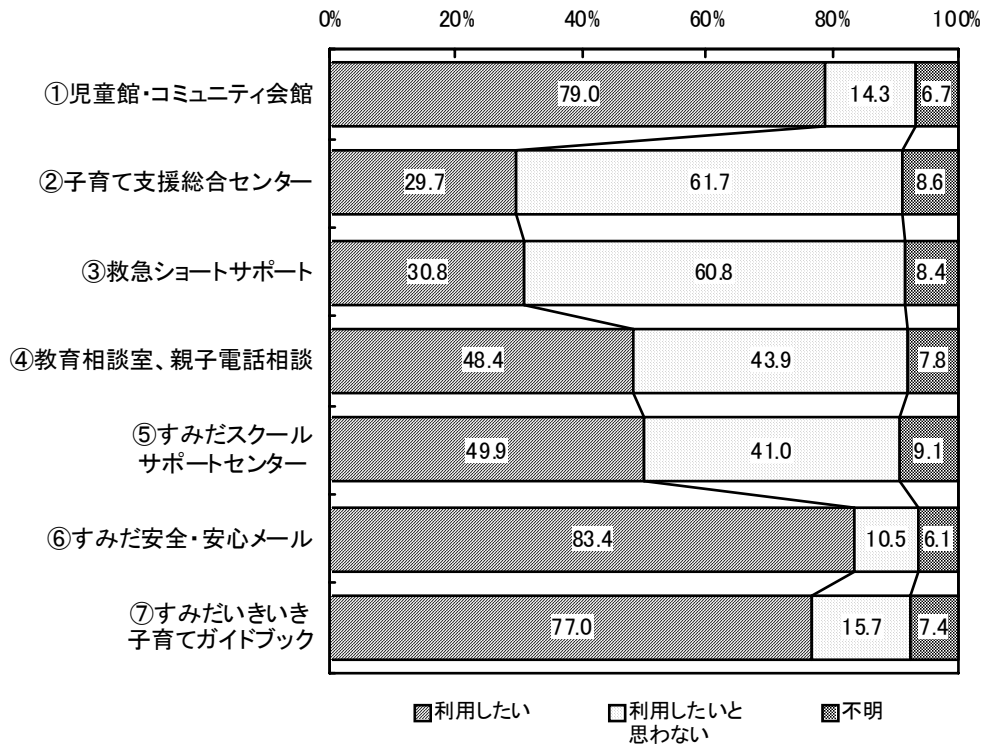
[小学生保護者調査]

小学生の保護者の子育て支援サービス等の認知・利用状況について、「利用したことがある」割合は、「①児童館、コミュニティ会館」8割台、「⑥すみだ安全・安心メール」5割台、「⑦すみだいきいき子育てガイドブック」4割台の順に高い。

一方、「③救急ショートサポート」は6割台、「②子育て支援総合センター」「⑤すみだスクールサポートセンター」は約5割が「知らなかった」と回答しており、認知度が低いサービスとなっている。

「④教育相談室、親子電話相談」は「利用したことがある」割合は6.1%と1割を下回るものの、「知っているが、利用したことはない」を合わせた『知っている』は72.3%であり、「知らなかった」は2割台となっている。

図表Ⅱ-144 子育て支援サービス等の利用意向(各単数回答)

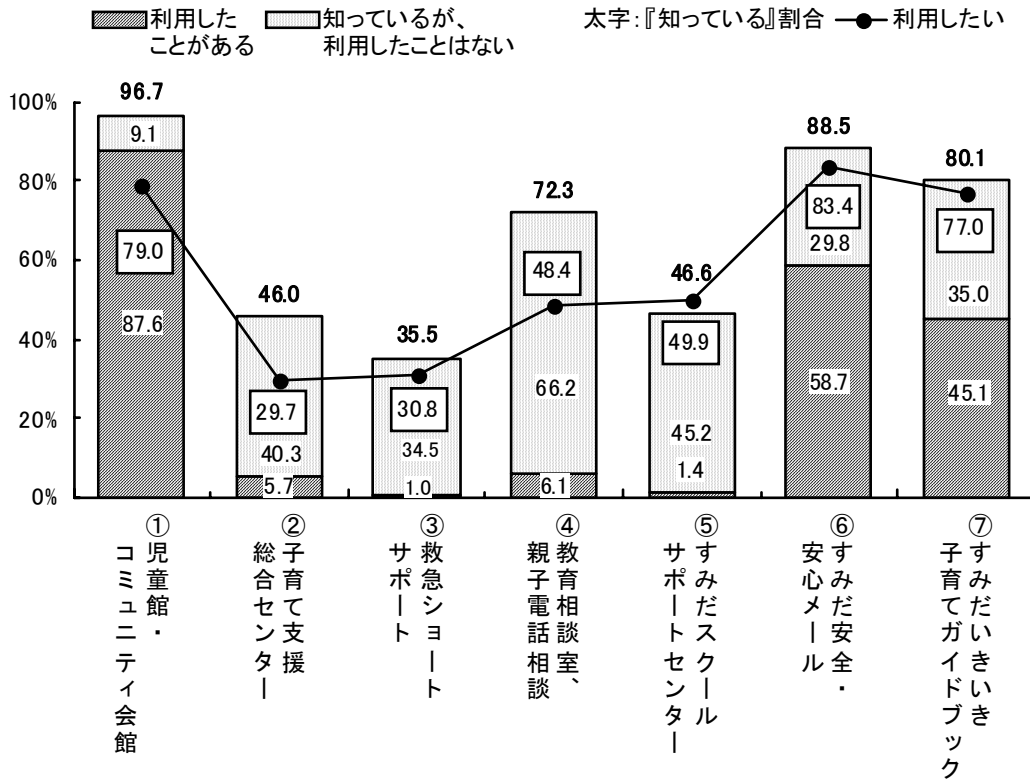


総回答者数=734人

[小学生保護者調査]

小学生の保護者の子育て支援サービス等の利用意向をみると、「利用したい」割合は、“⑥すみだ安全・安心メール”が8割台、“①児童館、コミュニティ会館”“⑦すみだいきいき子育てガイドブック”が7割台、“⑤すみだスクールサポートセンター”“④教育相談室、親子電話相談”が4割台、“③救急ショートサポート”“②子育て支援総合センター”が約3割となっている。

図表Ⅱ-145 子育て支援サービス等の認知・利用状況と利用意向の比較



※:『知っている』=「利用したことがある」+「知っているが、利用したことはない」

[小学生保護者調査]

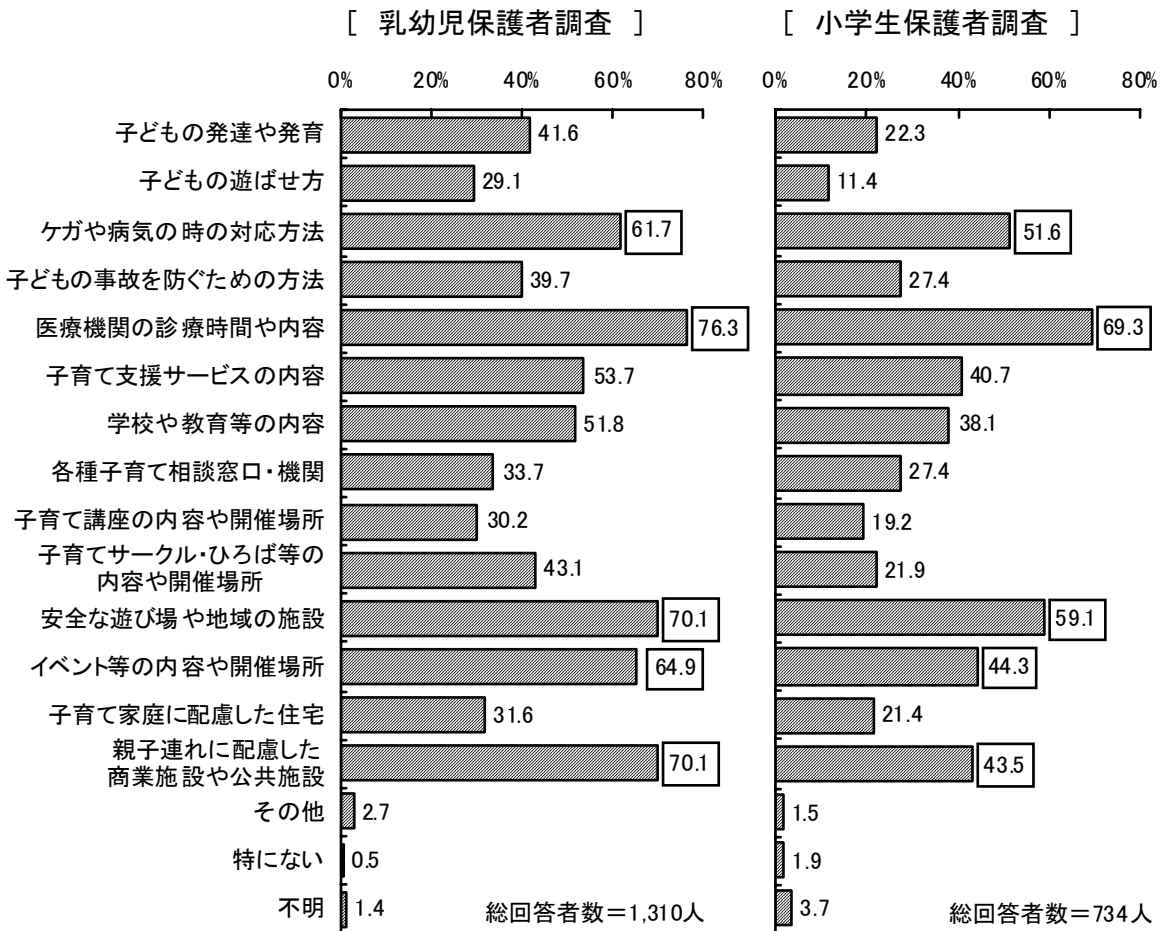
小学生の保護者の子育て支援サービス等の認知・利用状況と利用意向を比較すると、“⑤すみだスクールサポートセンター”は、認知度（『知っている』割合）が5割を下回っており、また、利用意向（「利用したい」割合）が約5割であるのに対して利用率（「利用したことがある」割合）は1.4%と、利用意向が利用率を大きく上回っている。

“④教育相談室、親子電話相談”は、認知度は7割台であるものの利用率が1割以下、利用意向が5割弱と、利用意向が利用率を大きく上回っているサービスである。

(3)子育てに役立つ情報(乳幼児:問39、小学生:問38)

あなたは、どのようなことに関する情報があれば、子育てに役に立つと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

図表Ⅱ-146 子育てに役立つ情報(複数回答)



※: 囲みは、各調査の上位5位の値

[乳幼児保護者調査]

乳幼児の保護者の子育てに役立つ情報は、「医療機関の診療時間や内容」「安全な遊び場や地域の施設」「親子連れに配慮した商業施設や公共施設」が上位3位であり、これらはいずれも7割以上があげた項目である。次いで、「イベント等の内容や開催場所」「ケガや病気の時の対応方法」が6割台で続いている。

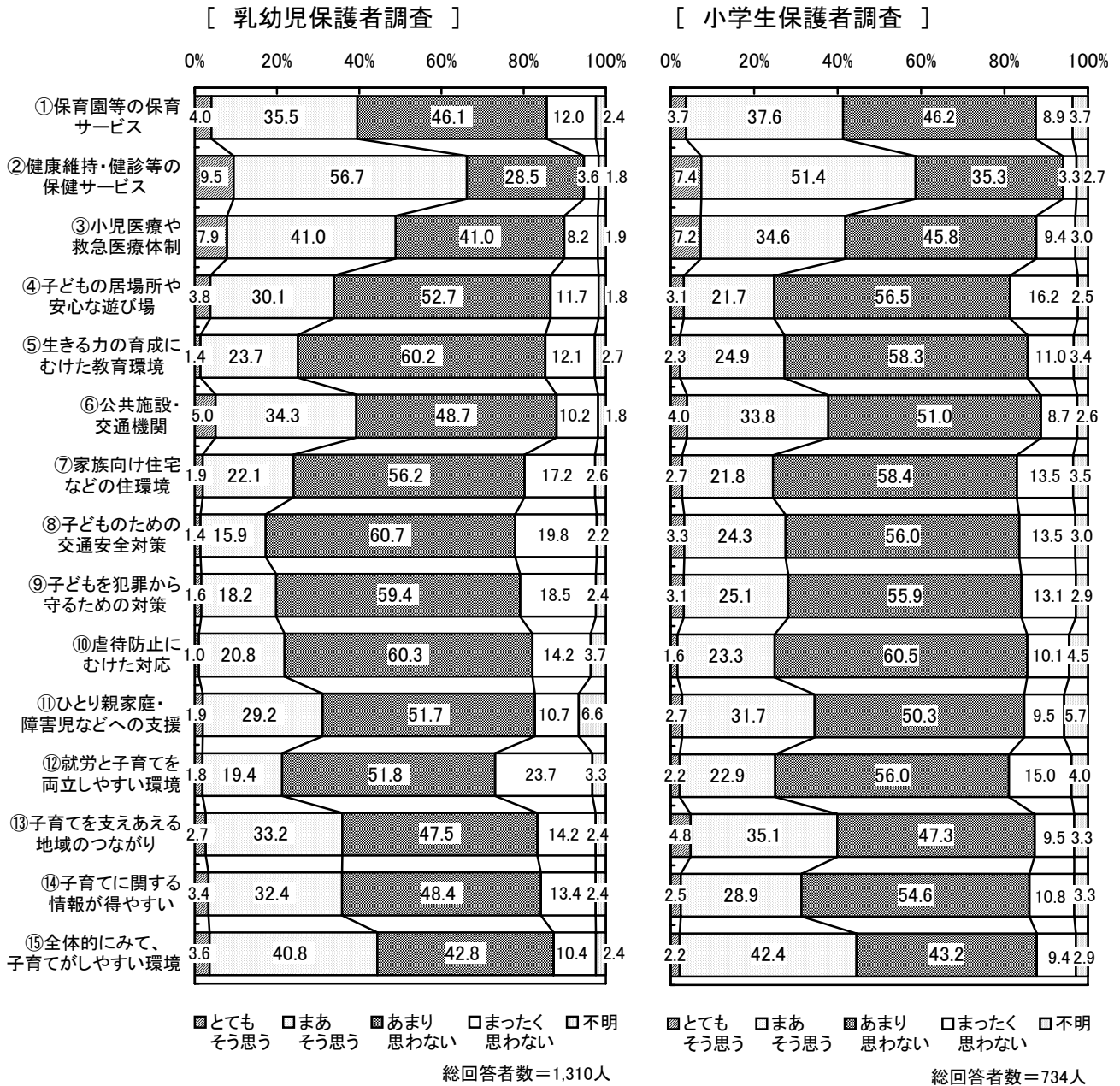
[小学生保護者調査]

小学生の保護者の子育てに役立つ情報は、「医療機関の診療時間や内容」69.3%がもっとも高く、次いで、「安全な遊び場や地域の施設」「ケガや病気の時の対応方法」が5割台、「イベント等の内容や開催場所」「親子連れに配慮した商業施設や公共施設」「子育て支援サービスの内容」が4割台で続いている。

(4) 墨田区の子育て環境に対する評価(乳幼児:問40、小学生:問39)

あなたは、乳幼児期(小学生)のお子さんを育てていく上で、墨田区の環境をどのように感じていますか。(①～⑮について、それぞれ1つに○)

図表Ⅱ-147 墨田区の子育て環境に対する評価(各単数回答)



図表Ⅱ-148 墨田区の子育て環境に対する評価－『思う』割合

	乳幼児保護者調査			小学生保護者調査		
	とても思う	まあ思う	『思う』	とても思う	まあ思う	『思う』
①保育園等の保育サービス	4.0	35.5	39.5	3.7	37.6	41.3
②健康維持・健診等の保健サービス	9.5	56.7	66.2	7.4	51.4	58.8
③小児医療や救急医療体制	7.9	41.0	48.9	7.2	34.6	41.8
④子どもの居場所や安心な遊び場	3.8	30.1	33.9	3.1	21.7	24.8
⑤生きる力の育成にむけた教育環境	1.4	23.7	25.1	2.3	24.9	27.2
⑥公共施設・交通機関	5.0	34.3	39.3	4.0	33.8	37.8
⑦家族向け住宅などの住環境	1.9	22.1	24.0	2.7	21.8	24.5
⑧子どものための交通安全対策	1.4	15.9	17.3	3.3	24.3	27.6
⑨子どもを犯罪から守るための対策	1.6	18.2	19.8	3.1	25.1	28.2
⑩虐待防止にむけた対応	1.0	20.8	21.8	1.6	23.3	24.9
⑪ひとり親家庭・障害児などへの支援	1.9	29.2	31.1	2.7	31.7	34.4
⑫就労と子育てを両立しやすい環境	1.8	19.4	21.2	2.2	22.9	25.1
⑬子育てを支えあえる地域のつながり	2.7	33.2	35.9	4.8	35.1	39.9
⑭子育てに関する情報が得やすい	3.4	32.4	35.8	2.5	28.9	31.4
⑮全体的にみて、子育てがしやすい環境	3.6	40.8	44.4	2.2	42.4	44.6

※：単位は%

※：『思う』＝「とても思う」＋「まあ思う」

図表Ⅱ-149 墨田区の子育て環境に対する評価－『思う』割合の上位5位

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
乳幼児保護者調査	②健康維持・健診等の保健サービス	③小児医療や救急医療体制	①保育園等の保育サービス	⑥公共施設・交通機関	⑬子育てを支えあえる地域のつながり
小学生保護者調査	②健康維持・健診等の保健サービス	③小児医療や救急医療体制	①保育園等の保育サービス	⑬子育てを支えあえる地域のつながり	⑥公共施設・交通機関

※：“⑮全体的にみて、子育てがしやすい環境”を除く順位

図表Ⅱ-150 墨田区の子育て環境に対する評価—『思う』割合の下位 5 位

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
乳幼児保護者調査	⑧子どものための交通安全対策	⑨子どもを犯罪から守るための対策	⑫就労と子育てを両立しやすい環境	⑩虐待防止にむけた対応	⑦家族向け住宅などの住環境
小学生保護者調査	⑦家族向け住宅などの住環境	④子どもの居場所や安心な遊び場	⑩虐待防止にむけた対応	⑫就労と子育てを両立しやすい環境	⑤生きる力の育成にむけた教育環境

[乳幼児保護者調査]

乳幼児の保護者における墨田区の子育て環境の評価について、「とてもそう思う」と「まあそう思う」を合わせた『思う』割合が高い上位 5 項目は、“②健康維持・健診等の保健サービス” “③小児医療や救急医療体制” “①保育園等の保育サービス” “⑥公共施設・交通機関” “⑬子育てを支えあえる地域のつながり” であり、これらは相対的には評価の高い項目となっている。

反対に、『思う』割合が低い下位 5 位は、“⑧子どものための交通安全対策” “⑨子どもを犯罪から守るための対策” “⑫就労と子育てを両立しやすい環境” “⑩虐待防止にむけた対応” “⑦家族向け住宅などの住環境” であり、これらの項目は、『思う』割合は 1～2 割台にとどまっている。

子育て環境に対する全体的な評価については、44.4%が『思う』、53.2%が『思わない』（「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた割合）と回答している。

[小学生保護者調査]

小学生の保護者における墨田区の子育て環境の評価について、「とてもそう思う」と「まあそう思う」を合わせた『思う』割合が高い上位 5 項目は、“②健康維持・健診等の保健サービス” “③小児医療や救急医療体制” “①保育園等の保育サービス” “⑬子育てを支えあえる地域のつながり” “⑥公共施設・交通機関” であり、乳幼児保護者調査とほぼ同様の結果となっている。

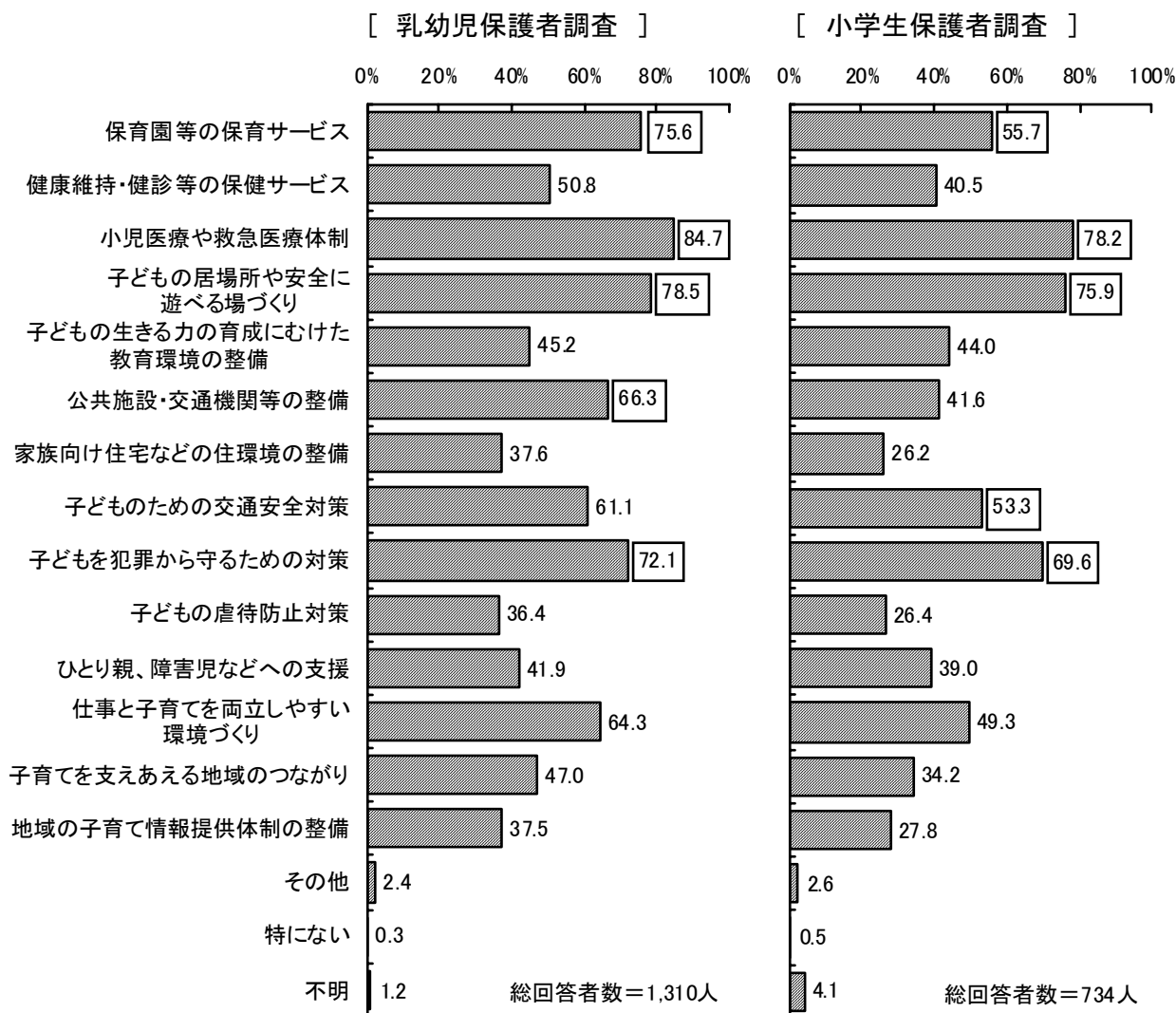
反対に、『思う』割合が低い下位 5 位は、“⑦家族向け住宅などの住環境” “④子どもの居場所や安全な遊び場” “⑩虐待防止にむけた対応” “⑫就労と子育てを両立しやすい環境” “⑤生きる力の育成にむけた教育環境” であり、これらの項目は、『思う』割合はいずれも 2 割台にとどまっている。

子育て環境に対する全体的な評価については、44.6%が『思う』、52.6%が『思わない』（「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた割合）と回答している。

(5) 充実すべき子育て支援策(乳幼児:問41、小学生:問40)

安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つことのできる環境づくりのために、行政や企業、地域において、ぜひ充実していくべきだと思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表Ⅱ-151 充実すべき子育て支援策(複数回答)



※: □ 囲みは、各調査の上位5位の値

図表Ⅱ-152 充実すべき子育て支援策の上位5位

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
乳幼児保護者調査	小児医療や救急医療体制	子どもの居場所や安全に遊べる場づくり	保育園等の保育サービス	子どもを犯罪から守るための対策	公共施設・交通機関等の整備
小学生保護者調査	小児医療や救急医療体制	子どもの居場所や安全に遊べる場づくり	子どもを犯罪から守るための対策	保育園等の保育サービス	子どものための交通安全対策

[乳幼児保護者調査]

乳幼児の保護者が充実すべきと考える墨田区の子育て支援策の上位5位は、「小児医療や救急医療体制」84.7%、「子どもの居場所や安全に遊べる場づくり」78.5%、「保育園等の保育サービス」75.6%、「子どもを犯罪から守るための対策」72.1%、「公共施設・交通機関等の整備」66.3%となっている。

[小学生保護者調査]

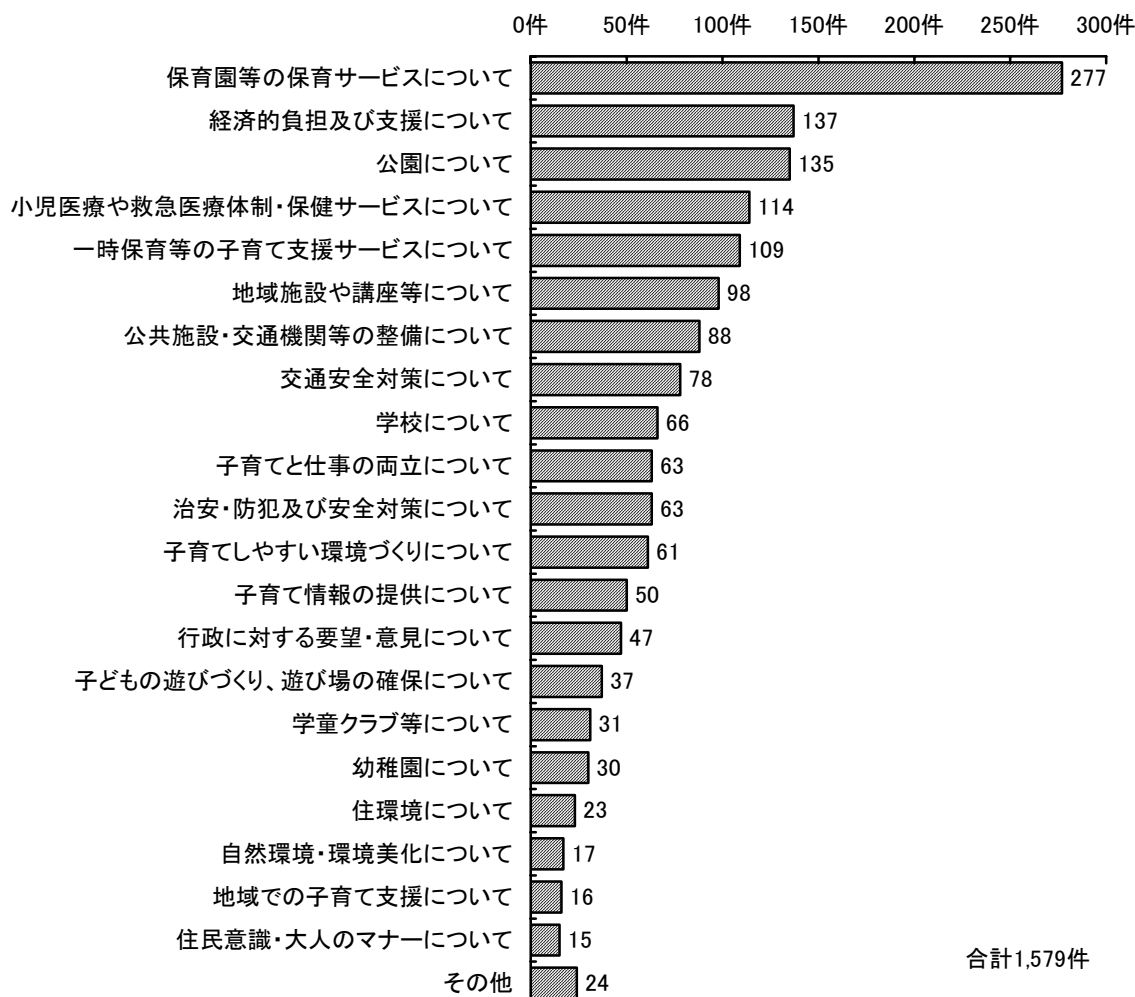
小学生の保護者が充実すべきと考える墨田区の子育て支援策の上位5位は、「小児医療や救急医療体制」78.2%、「子どもの居場所や安全に遊べる場づくり」75.9%、「子どもを犯罪から守るための対策」69.6%、「保育園等の保育サービス」55.7%、「子どものための交通安全対策」53.3%となっている。

9. 自由回答

安心して子どもを生み育て、子どもが健やかに育つことができる墨田区となるために、行政や地域、企業などに対してのご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

(1) 乳幼児保護者の意見・要望

図表Ⅱ-153 乳幼児保護者の自由意見



以下は、乳幼児の保護者が記入した自由回答の抜粋である。

■ 保育園等の保育サービスについて(277件)

① 保育園の増設について(138件)

- 保育園を増やしてほしい。
- 保育園に入園するのに、本当に大変だった。正社員でなくても入園しやすいように定員枠をもっと増やしてほしい。
- 保育園の需要が多いにも関わらず、倍率が高く入園が難しい状況である。延長保育も含めて保育園を増やしてほしい。
- 保育施設（病児保育や一時保育を含む）の拡充を希望する。
- マンション建設が目立つが、保育園・幼稚園・学校や病院等の数が対応できていくのか心配。
- 認可保育園でなければ経済的にもきついで、公立の園を充実させてほしい。

②保育園の設備サービス内容の充実について(50件)

- 障害児への対応機関が、他区に比べて少ないと思う。もっと充実してほしい。
- 保育施設をもっと整備するべきである。特に防犯が不安である。
- 保育士の質の向上を図ってほしい。
- 幼稚園と保育園が一緒になっている施設を増やしてほしい。
- 保育園は、学習面、生活指導にも力を入れてほしい。

③保育園の入園選考について(39件)

- 希望の保育園に入れるようになると良い。
- フルタイムで働いていないと保育所に入りにくい状況を改善してほしい。
- 育児休業取得者について、保育園入園予約制度を作してほしい。
- 保育園入園の際の判断基準を明確にするべきだと思う。親の在職証明と入園申込書の書類判断で、その家族の何がわかるのか。
- 多子家庭は優先的に保育園に入園できるようにしてほしい。

④延長保育等、保育園の弾力的な利用について(20件)

- 延長保育を実施されている園の割合が非常に少ない。
- 夜間・休日保育を行う区立保育園を作してほしい。休日働いている親はたくさんいる。
- 様々な勤務形態があると思うので、保育時間はフレキシブルな対応をしてほしい。

⑤0歳児保育・病後児保育等について(17件)

- 生後6か月未満でも預かってもらえる保育園を増やしてほしい。
- 病後児保育について、自宅にサポートの方が来てくれることに抵抗がある。預かってくれる場所を作してほしい。
- 墨田区内の病院で病児・病後児保育を実施してほしい。

⑥保育園等の民営化について(13件)

- 区立保育園の民営化をやめてほしい。
- アウトソーシングばかりせず、行政で責任を持ってサービス等を行ってほしい。
- 公立保育園の民営化は、育児支援と逆行している。

■経済的負担及び支援について(137件)

- 18歳になるまで児童手当があると助かる。
- 子ども3人以上は、収入に関わらず支援金が出るべきだと思う。
- 小学校・中学校・高校の入学時にお祝い金があると良い。
- インフルエンザの予防接種など、予防医療費の補助又は無料にしてほしい。
- 母子家庭の負担を少なくしてほしい。

■公園について(135件)

- 交通公園を作って自由に自転車を乗り回せる広場がほしい。
- わんぱく天国のように、地域の方の目が届き、子どもが安心して遊べる公園が少ないので、増えればよいと思う。
- 公園の整備をお願いしたい。公園の数は多いが、環境が悪いところが多い。
- 子どもが安全に遊べる遊具の整った公園を設置してほしい。

- 公園が暗く、汚いところが多い。

■小児医療や救急医療体制・保健サービスについて(114 件)

- 2人目を出産する場合に、上の子どもと一緒に入院できるところがあると良いと思う。
- 夜間の病院はとても対応が冷たい。すごく不安になる。
- 休日診療所を増やしてほしい。
- 小児科医の不足。待ち時間が長く、対応が遅れて具合が悪化した。
- 産科が少なすぎる。
- 保健センターでの子どもの検診、検査の待ち時間が苦痛である。小さい子どもをみているのだから、それに対応した設備や広場があっても良いと思う。
- 保健センターの乳幼児健診は、子どもが眠くならない午前中に行う努力をしてほしい。
- 保健センターの乳幼児健診は手際が悪く、「サービス」という言葉からかけ離れた対応ばかりである。

■一時保育等の子育て支援サービスについて(109 件)

- 育児相談を気軽にできるようにしてほしい。
- 子どもの一時預かりやホームヘルプサービスなどの利用料金を低額にして、いろいろな事情の方も利用できるようにしてほしい。
- 我が家には障害児がいるが、墨田区には障害児に対する施設や手当てが少ないと実感している。特に障害児の緊急一時保育ショートステイに対するサービスが他区と比較しての少ないと思う。
- ファミリーサポートやショートステイなど、もっと気軽に利用できるように宣伝してほしい。
- 買物、美容院、病院等の時、一時的に預かってくれる場が商店街などにあれば、親も助かり、その商店街を利用する人も増えると思う。

■地域施設や講座等について(98 件)

- 児童館によって内容がかなり違うように感じる。情報交換などをしてもらえると良いと思う。
- 子育てひろばのように気軽に室内で子どもを遊ばせられる場所をもっと増やしてほしい。
- 運動する場所（体育館・プール・公園など）が他区に比べて少なすぎる。学校の設備や教室が充実していない。
- 外部から講師を招いて、子育てのセミナーなどを開いてほしい。
- オムツ替え、授乳などを行えるスペースを備えた気軽に立ち寄れるコミュニティカフェのようなところがあったらよい。
- 赤ちゃんが生まれる前の母親学級は充実しているが、生まれた後の教室は少ない。子育ての講座、講演等を増やしてほしい。

■公共施設・交通機関等の整備について(88 件)

- 駅のトイレに授乳室やオムツ替えシートが欲しい。
- 区の公共施設や主な病院などを巡回連絡するコミュニティバスの整備。
- 区内の交通機関で苦勞している。特にバス停や駅はベビーカーに対しての配慮が弱く苦勞する。
- 駅近辺の自転車置場を便利にしてほしい。
- 公共施設のバリアフリー化。

■交通安全対策について(78 件)

- 歩道の整備は、車、自転車、歩行者全てにとって安全を確保するために必要だと感じる。
- 道路がとても狭く危ない。自転車が多すぎるので、自転車専用道路を作してほしい。

- 子どもが安全に歩ける道がない。大通り以外は歩道がないので危険である。
- 自転車の乗り方教室など、子どものための交通安全対策を行ってほしい。

■学校について(66件)

- 幼稚園、小学校などの施設の老朽化や校庭の狭さを改善してほしい。
- 学校のレベルの違いがもっと少なくなるように教育水準を上げてほしい。
- 子どもたちが職業体験などをできたら良いと思う。
- 学校の先生の人数を増やし、一人の負担を減らし、子どもに目が向けられるようにしてほしい。
- 公立小中学校について、他区のように特色豊かな個性的な学校を作ってほしい。

■子育てと仕事の両立について(63件)

- 会社内に保育施設を設置すれば、住みやすく働きやすく子育てしやすくなると思う。
- 企業は、父親が育児参加できるような就労体制を作るべきである。
- パートで働くにも、やはり子どもがいると不利な面があるので、企業の協力は必須だと思う。
- 子育てと仕事との両立は大変だと思う。企業の理解と本人の努力が必要だと思う。そのサポートを行政が行ってくれれば、両社ともうまくいくと思う。
- 子育て支援制度が母親を中心として整備されている面が多いが、それでは本質的な改善とはならないのではないかと感じる。男女ともに労働時間の短縮等を行う必要があるのではないかと感じる。

■治安・防犯及び安全対策について(63件)

- 子どもの安全パトロールの強化を地域、保護者がもっと積極的に行っていく必要があると思う。
- 不審者が時々出るので、防犯カメラをつけてほしい。
- 防犯パトロールを常時してほしい。
- 「子ども110番」の看板をもっと目立つようにしてほしい。
- 街灯を増やしてほしい。

■子育てしやすい環境づくりについて(61件)

- こうした不景気の世の中にこそ、人と人とが共に協力し合い、お互いを思いやる心が大切だと思う。
- 少子化といわれても、産み育てる環境が整わないことには、安心して育てていくことができない。子どもはたくさん欲しいが、今の社会では無理と思う子育て世代が多いと思う。
- 子どもが生まれるまでは不便を感じなかったが、子どもが生まれてからは住みづらいと感じる。
- 妊婦のときのサポートが足りないと思う。バス、電車など、おなかが目立たないときの方が体はつらいのに、人々の意識・関心が薄いので非協力的である。
- 共働きが増える中、子どもを産んでも預けて働けない、働けないから産まないという悪循環をなくしてほしい。

■子育て情報の提供について(50件)

- 赤ちゃん専用の店、ベビー用品を置いてある売り場に情報誌などを置いてほしい。
- 育児に関する相談施設があっても、利用方法等がわからない。
- 区の子育て支援サービスは充実していると思うが、その情報があまり広まっていないように感じる。
- 区ホームページが読みづらく区民に優しくないという印象がある。もう少しわかりやすく伝えてほしい。
- 子育て支援総合センターをはじめ、各種施設はあるようだが、それぞれが「子育て」の何を「支援」するのか具体的な内容がわかりにくい。広報を強化する必要があると感じる。

■行政に対する要望・意見について(47件)

- 子育てが一段落してからのフルタイム勤務を希望している方が多いが、就職は難しいようである。この点を打開する墨田区としての画期的な対策案を期待する。
- ハンディキャップのある子どもが、墨田区内でしっかりとした支援や教育を受け、将来的に区内で仕事を見つけ、独立できるような一貫した政策をお願いしたい。
- 墨田区は子育て支援が他区に比べ、とても遅れていると言う声を聞く。子育てに関する事業にもっと力を入れていただきたい。
- 実際に苦勞をしている人の立場になって考えてほしい。保護者の意見を最優先にするべきである。
- 皆が「墨田区に住みたい」と思えるような区にしてほしい。

■子どもの遊びづくり、遊び場の確保について(37件)

- 子どもが屋外でのびのび遊べる場所が少なすぎると思う。
- 統廃合により使わなくなった学校で屋内遊び場を作ったらどうか。
- 子育てひろばは乳児向けなので、幼児が遊べる場所がない。自然に触れられる場所がほしい。
- 思いっきり走り回れる芝生ひろばがあるとうれしい。
- 親子で使えるスポーツ施設があると良い。

■学童クラブ等について(31件)

- 小学4年生以降は放課後の居場所がない。
- 学童保育施設を各学校に設置してほしい。
- 放課後こどもスクールを多くの学校で実施してほしい。
- 学童クラブが近くにないため、小学校入学後の子どもの居場所が心配である。
- 学校に入ってから障害児への支援を充実してほしい。

■幼稚園について(30件)

- 私立保育園の入園料、保育料の補助を増やすか、区立幼稚園を3年制にして充実を図ってほしい。
- 区立幼稚園を3年保育にしてほしい。
- 幼稚園の夏休み、冬休み、春休みの時の子どもの遊び場に困っている。保育園のように1年間保育をやってほしい。
- 幼稚園は保育時間が短いので、延長保育を導入してほしい。

■住環境について(23件)

- 子育てしやすい住環境の整備をお願いしたい。
- 出産前から、ファミリー向けの住宅に優先的に入居できるようにしてほしい。
- マンション建設が多く日当たりが悪くなる。建築基準を厳しくしてほしい。
- 都営、区営住宅に入りやすくしてほしい。

■自然環境・環境美化について(17件)

- アトピー、喘息の子どもが多いと思うので、空気や水などの環境を良くしてほしい。
- 環境の美化。ごみのポイ捨てや落書き、放置自転車などを皆でなくしていけるような社会にしてほしい。
- 町全体に緑が少なく、景観がきれいではない。

■地域での子育て支援について(16件)

- 地域の高齢者と触れ合う場を作ってほしい。
- 地域性か、お年を召した方から声かけしてくれることが多く、励みになり、ありがたいと思う。
- 核家族が多く、地域、近所の方と付き合う機会がないので、地域全体で子どもを見守れる区になってほしい。そのためにいろいろな活動を計画してほしい。

■住民意識・大人のマナーについて(15件)

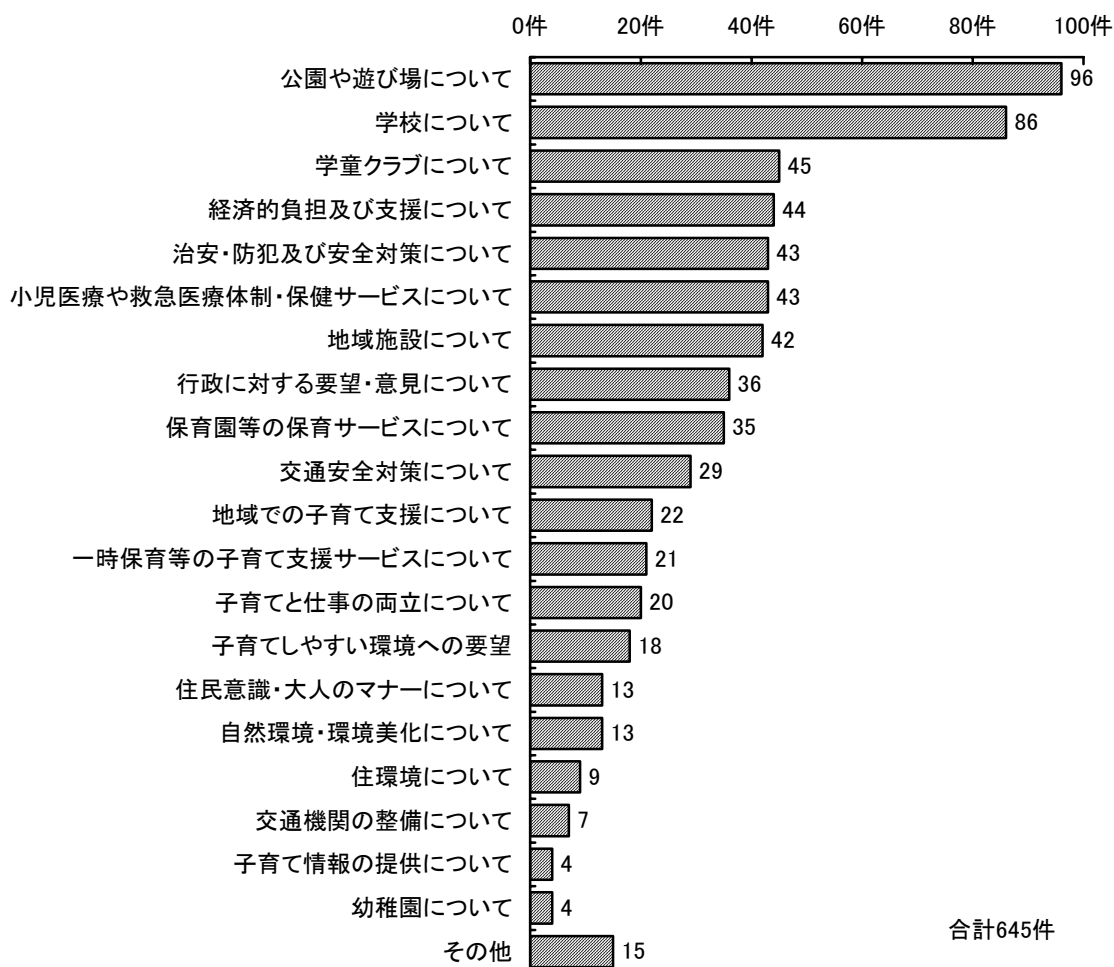
- 歩きながらタバコを吸う人が多い。子どもにとって大変危険なので、罰金を取るなどの取締り対策を強化してほしい。
- 行政や地域だけでなく、子どもを育てる親自身の意識を変えていくことも大切だと思う。
- 自転車のマナーが悪い。

■その他(24件)

- 子育て中の親の意見を聞くことはすばらしい。調査するだけにとどまらず、ぜひ政策に反映させてほしい。
- 子どもたちが成長するにつれて、墨田区が素敵な町になってくれたらと思う。

(2)小学生保護者の意見・要望

図表Ⅱ-154 小学生保護者の自由意見



以下は、小学生の保護者が記入した自由回答の抜粋である。

■公園や遊び場について(96件)

- 公園の遊具が老朽化していて、しかも汚い。
- 親水公園など、夜は暗くて通るのに不安がある。もう少し環境を良くしてほしい。
- 公園の整備、きれいで楽しめる環境づくりをしてほしい。あまりにも汚い。
- 子どもが安心して遊べる公園が少なすぎる。
- 子どもが遊びに行きたいと思う遊び場、広場を作ってほしい。
- 明るく楽しいイメージの公園づくりをお願いしたい。

■学校について(86件)

- 学校選択制のために、地域の子どものつながりがプツリと切れていることが目立つ。意味のあることだったのか疑問に思う。
- 2学期制は日本の四季になじまない。長期の休み前後のメリハリがなく、子どもの中での学期ごとの整理のつけ方がはっきりしないようである。3学期制に戻してほしい。
- 公立学校の充実を希望する。少人数学級にするなど児童に目が届くようにしてほしい。
- 発達障害について取り上げてほしい。周囲の理解がなくては育てられない問題だと思う。
- 同じ区の中で、小・中学校共に学力の差、校舎の差がありすぎる。先生方の意識にも違いがあるよ

うに思う。

■学童クラブについて(45件)

- 長時間実施してほしい。土曜日利用の必要性も高いと思う。
- 放課後に小学校高学年の子どもも利用できる学び、スポーツ、趣味などの場が学校の施設内にあると良い。
- 小学6年生まで利用できるようにしてほしい。夏休みなどの長期休暇の際に小学4年生が一日中1人でいるのは不安がある。

■経済的負担及び支援について(44件)

- 父子家庭にも母子家庭と同様の支援を望む。
- 子育てに関する助成金が他区に比べ、少ないと思う。
- インフルエンザ予防接種への助成をしてほしい。
- ひとり親（母親）への金銭的援助をもっと充実してほしい。

■治安・防犯及び安全対策について(43件)

- すみだ安全・安心メールを利用しているが、情報が遅い。発生から早い時間で提供するように改善してほしい。
- 子どもを犯罪から守るために、下校時等定期的にパトロールを実施してほしい。
- 暗く細い道などに街灯を増やしてほしい。公園に暗い死角ができないようにしてほしい。

■小児医療や救急医療体制・保健サービスについて(43件)

- ケガや事故等の救急医療体制を強化してほしい。
- 産婦人科や小児科の医療体制をもっと充実してほしい。
- 休日の小児医療機関を充実してほしい。
- 救急医療体制など、いざというときに、どこに電話すれば対応してくれるのか、又子育てにおいてのサービス等の体制を考えてほしい。

■地域施設について(42件)

- 子どもと一緒に参加できるイベントがたくさんあると良い。また、開催の情報が学校からの手紙であるとわかりやすい。
- お年寄りから子どもたちが共に楽しめ、お互いを助け合えるような共有施設があると良い。
- 区営のスポーツセンターを充実してほしい。
- コミュニティセンターの充実、活性化をしてほしい。

■行政に対する要望・意見について(36件)

- 行政が何をしているのか伝わってこない。問題がおきてから解決するまでに時間がかかりすぎる。末端まで伝える手段を検討してほしい。
- 街づくりにおいて、新しいことを取り入れるのではなく、昔からの伝統、地域性を生かして共存することを常に視野に入れてほしい。
- もっと子育て家庭に優しい行政を求める。
- 観光のまち「すみだ」を考えるのであれば、子どもたちに挨拶等を習慣づけるような戦略も必要だと思う。

■保育園等の保育サービスについて(35件)

- 出生率を上げるためにも、保育園の拡充が必要だと思う。
- 公立保育園は備品が古く子どもがかawaiiそうである。
- 保育園や学童クラブを利用しやすいように施設を増やしてほしい。
- 障害を持った子どもに専門の保育所があるとよい。

■交通安全対策について(29件)

- 安心して歩ける道路を整備してほしい。
- 歩道と車道を区切ってほしい。
- 自転車レーン（エリア）を作してほしい。

■地域での子育て支援について(22件)

- 学校と企業とでボランティア活動、体験を取り入れたり、高齢者とのふれあい、コミュニケーションを取る事業を実施することにより、人への優しさや相手への思いやりを養えると思う。
- 区、学校、各種団体、警察や病院等のつながりやサポート体制を強化すると良いと思う。
- 行政と地域が一体となった社会全体で子どもを育てると意識の向上を図る。

■一時保育等の子育て支援サービスについて(21件)

- 母親が孤独にならない体制を作ることが大切である。親身になってくれる人がいると悩みが軽減されると思う。
- 朝が早い仕事や日曜日に仕事がある場合、子どもを預かってくれるところがなく困った。
- 障害児への支援を拡充してほしい。区に療育を受けるところが無い。

■子育てと仕事の両立について(20件)

- 父親の就労時間を短くし、もっと早くか定期帰宅できるような社会を作っていないと、母親がどんどん孤立する。
- 子育て中のワークシェアリング等、職場での理解と一時的な仕事軽減が必要である。
- 共働きで子育てをするためには、企業の理解が必要である。育児休業等の制度を充実してほしい。

■子育てしやすい環境への要望(18件)

- ひとり親が増えてきている中で、相談や対応を増やしたほうが良い。
- 障害児に対する支援がまったくといってよいほど無い。
- 子どもの安全がしっかりと確保でき、子育て支援が充実すれば、子どもを産みたいという人が増えると思う。
- 若い人が住みやすいまちづくりを。

■住民意識・大人のマナーについて(13件)

- 子どもを育てる親にも自覚が必要だと思う。

■自然環境・環境美化について(13件)

- もっと自然を増やしてほしい。
- 墨田区は緑が少なく空気が汚いと思う。緑を増やしたほうが良いと思う。

■住環境について(9件)

- 地域全体で子どもを守る住環境となるようワンルームマンションに対して規制をしたほうが良いと思う。ますます地域のつながりがなくなると思う。

■交通機関の整備について(7件)

- バリアフリーな環境を整えてほしい。
- 区内循環バスを検討してほしい。
- 駅周辺の自転車置き場の整備。

■子育て情報の提供について(4件)

- 利用できるサービスについて、問い合わせないとわからない。
- 新しい計画が策定されても区報などでは目にする機会がないこともあるので、学校からプリントなどでもらえるとよい。

■幼稚園について(4件)

- 3年制の区立幼稚園の設置。
- 保育園に対して幼稚園の数が少ない。

■その他(15件)

- 墨田区に住んでいるが、良くなってきているという実感が無い。実感できるものがほしい。
- アンケートがどのように反映されるのか楽しみである。住みよく、安全で子どもをのびのびと育てられる墨田区になるように。